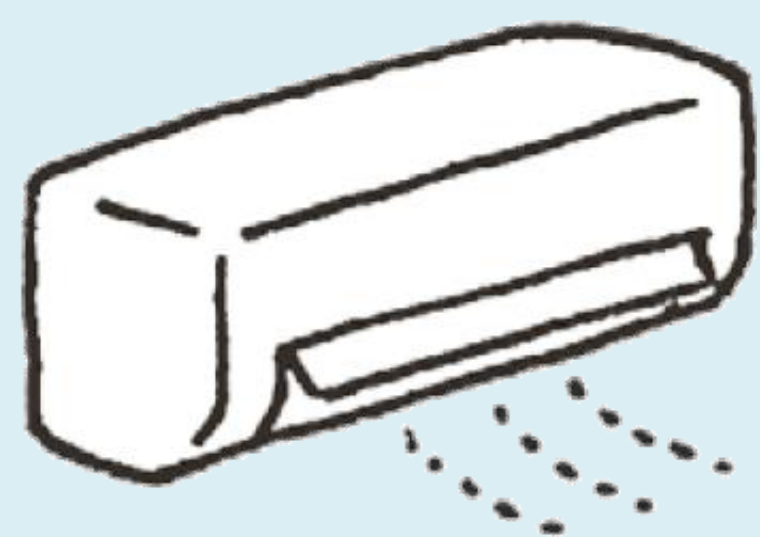
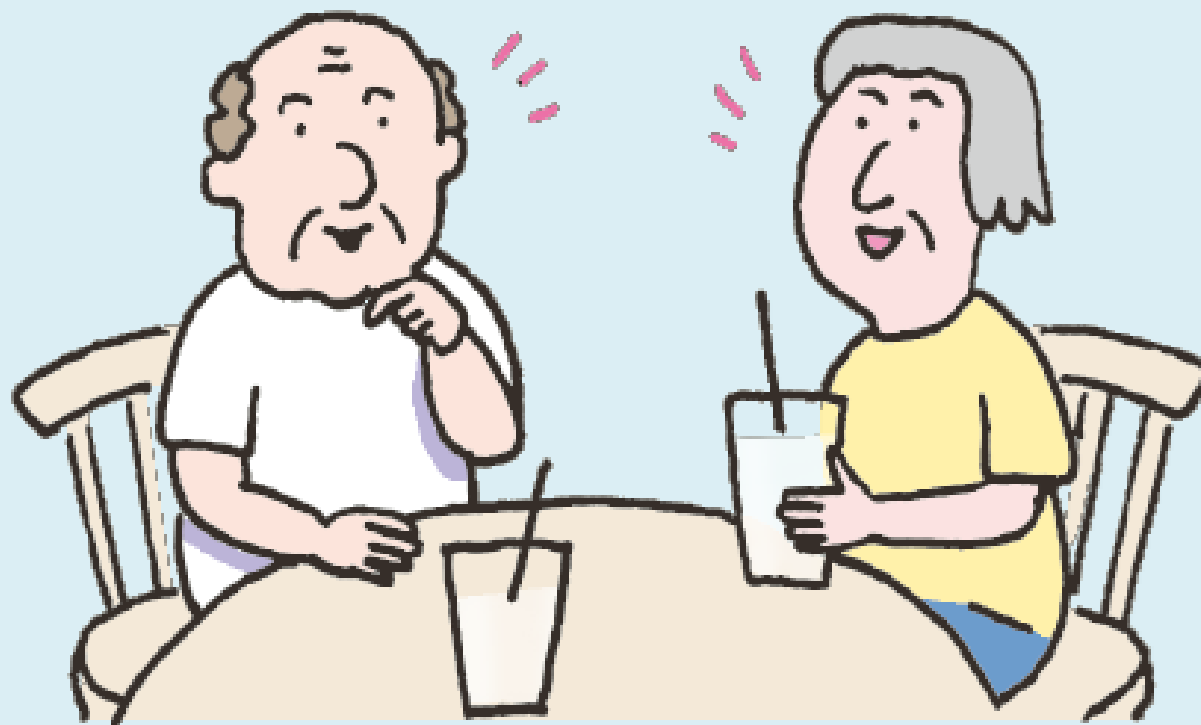




地域における 熱中症対策の先進的な 取組事例集



0 1. 連絡体制

6	静岡県焼津市	関係部署の洗い出し
7	福島県	プロジェクトチーム（PT）の設置
8	鳥取県鳥取市	担当者会議の設置
9	東京都豊島区	
10	神奈川県川崎市	ワーキンググループ（WG）の設置
11	神奈川県川崎市	地域一体型の熱中症対策
12	神奈川県川崎市	「更なる気温上昇に備える検討ワークショップ」
13	埼玉県熊谷市	
14	静岡県焼津市	「熱中症警戒アラート等のメール配信サービス」と庁内への情報伝達
15	石川県金沢市	熱中症対策庁内連絡会の設置
17	大阪府吹田市	
18	北海道札幌市	札幌版熱中症特別警戒アラート
19	佐賀県江北町	「江北町地域防災計画」／江北町独自の「熱中症注意情報」
21	愛知県小牧市	熱中症会計情報発表時の施設のキャンセル
22	コラム	WBGTに応じた注意事項
23	岐阜県	
25	愛媛県	愛媛県気候変動適応協議会の構成員への一斉配信
26	静岡県藤枝市	複数ルートから来る情報の一元化
28	奈良県奈良市	独自の施設利用・イベント実施に対する対応指針
29	千葉県いすみ市	行政防災無線の使用基準
30	神奈川県横須賀市	クーリングシェルトアの開館延長

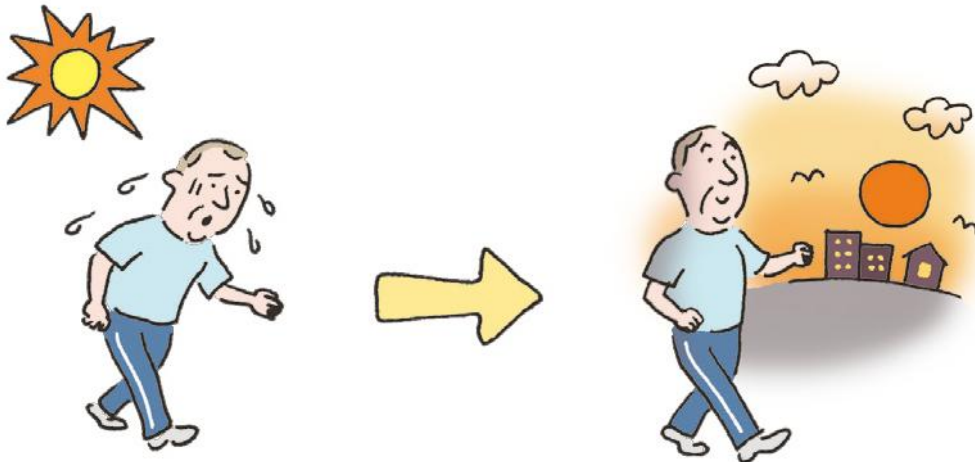
0 2. 熱中症のリスク評価

32	大阪府吹田市	熱中症救急搬送者数のデータを用いた中学校区別の分析
33	大阪府吹田市	WBGTの測定、気温の測定
34	神奈川県川崎市	
35	群馬県上野村	「熱中症スクリーニングシート」による評価リスクに応じた対策
37	コラム	ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ
38	コラム	熱中症の応急処置フロー
39	コラム	救急隊に伝える情報
40	コラム	熱中症のリスク評価に関する事例

本事例集では、熱中症対策に関する内容をわかりやすく整理し、各事例を横断的に理解できるよう、同一又は類似の意味を持つ用語について、表記及び文言を統一しています。

本事例集における用語の取り扱いについて

- （例）
- | | | |
|-------------|---|---------------|
| 熱中症（特別）警戒情報 | ➡ | 熱中症（特別）警戒アラート |
| 指定暑熱避難施設 | ➡ | クーリングシェルトア |
| 暑さ指数 | ➡ | WBGT |



03. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

42	福島県楢葉町	環境イベント「サステナmeeting」の開催
43	埼玉県熊谷市	わたしのあつさいたいさくコンテスト
44	広島県府中市	小学生による発表大会
45	兵庫県神戸市	日傘の体験型イベント
46	長崎県	気候変動適応セミナー（～高齢者の熱中症予防のための「暑さ対策セミナー」～）
47	東京都墨田区	川柳コンテスト
48	鳥取県鳥取市	介護予防運動教室、健康教育を通じた普及・啓発
49	高知県	高知県立大学による「熱中症予防教室」
50	高知県	高知県立大学による「熱中症カレンダー」
52	埼玉県熊谷市	自動販売機のデジタルサイネージ
53	岐阜県多治見市	ケーブルテレビ・コミュニティラジオの活用
54	長崎県	～あなたの地域の熱中症事情～
56	広島県府中市	「老人大学」での講演資料
59	大阪府吹田市	「熱中症対策ハンドブック」の制作
62	島根県	多言語リーフレットの制作
64	静岡県焼津市	多言語リーフレットの制作
65	コラム	厚生労働省による多言語リーフレット
66	コラム	農林水産省による多言語リーフレット
67	コラム	厚生労働省による障害のある方向けリーフレット
68	福岡県宗像市	むなかた健康まつり
69	福岡県宗像市	熱中症予防タイムライン（マイタイムライン）の作成
70	青森県	YouTubeバンパー広告・Instagram広告等を活用した普及啓発
72	秋田県	県内新聞3紙での普及啓発
73	コラム	時季に応じた情報発信・普及啓発
75	コラム	暑熱順化
76	コラム	情報発信の手段・媒体や機械に関する事例

04. 熱中症要配慮者への見守り・声かけ

78	石川県小松市	社会福祉協議会、民生委員と地域福祉推進員による、水・チラシの配布
79	鳥取県鳥取市	保健所と民生委員による、温湿度計・アンケート票・チラシの配布
80	東京都豊島区	見守り支援事業担当職員による、独居高齢者訪問と高齢者実態調査
81	神奈川県川崎市	神奈川県川崎市 温度計付きチラシの使い方ガイド

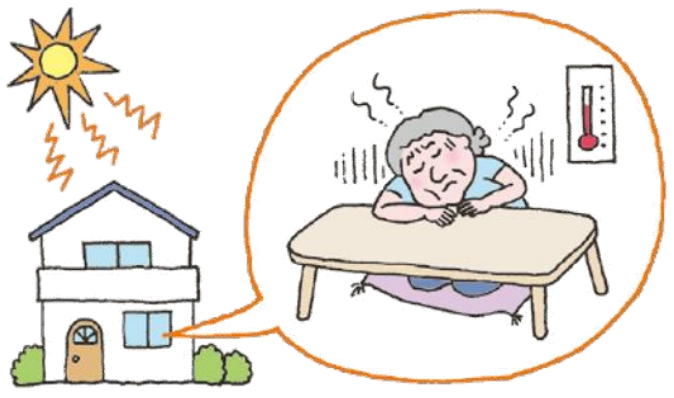
05. 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

83	青森県むつ市	むつ市立図書館での「クーリングシネマ」
84	石川県金沢市	クーリングシェルター指定施設ごとの特色ある熱中症対策の取組
88	静岡県美容業生活衛生同業組合（静岡県静岡市ほか）	加盟店舗の指定
89	訪問看護ステーションあっと（京都府八幡市）	事務所の指定
90	栃木県矢板市	矢板市クーリングシェルター募集要項
91	徳島県美馬市	民間施設クーリングシェルター指定要領
93	北海道札幌市	地下歩行空間（チ・カ・ホ）の指定
94	福井県若狭町	「駅」の指定
95	御坊市社会福祉協議会（和歌山県御坊市）	「TUNAGARUカフェ」の指定
96	Orange Heart Laundry 松岡店（静岡県富士市）	コインランドリーの指定

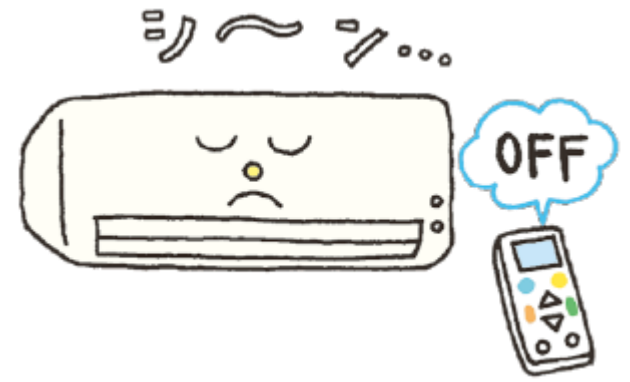


06. 涼み処		
98	千葉県いすみ市	「涼み処」
99	福島県	「ふくしま涼み処」
102	東京都世田谷区	「お休み処」

07. 地域で活躍する団体や企業等との連携		
104	埼玉県	公益社団法人埼玉栄養士会との連携
105	埼玉県	
106	東京都墨田区	一般社団法人墨田区薬剤師会との連携
107	東京都大田区	産官学（3者連携）による“大田区熱中症対策コンソーシアム”
110	群馬県	“ぐんま熱中症予防サポーター企業”の登録
112	大阪府吹田市	プラットフォームによる組織運営
113	兵庫県加古川市（消防本部）	お弁当宅配事業者との連携
114	広島県府中市	宅配サービス業者との連携
115	新潟県南魚沼市	移動販売車による買い物弱者支援事業
116	長野県駒ヶ根市	「ななや整体」による熱中症予防サービス
117	福岡県北九州市	熱中症対策普及啓発協力団体
119	『「ラーメンの聖地、山形市」を創る協議会』」（山形県山形市）	「山ラー街の給水所」プロジェクト



08. さまざまな熱中症の取組事例		
121	滋賀県長浜市	エアコンの購入・設置、修理への補助
122	愛媛県宇和島市	避難所・自宅避難者への訪問
123	鳥取県	ドローンを活用した巡視
124	東京都渋谷区	小学校での暑さの「見える化」
125	静岡県焼津市	小中学校での熱中症対策
126	新潟県南魚沼市	運動後の選手の熱中症予防
127	長崎県長崎市	式典（イベント）での熱中症対策
128	神奈川県横浜市	南消防団外国人防災指導チームによる多言語での熱中症予防啓発
129	東京都	Tokyowater Drinking Station
130	株式会社 PLANT（石川県川北町ほか）	徹底した職場の熱中症対策とクーリングシェルトアの両立
131	青森県、弘前大学、（一社）避難所・避難生活学会	「2025年度あおもり酷暑期避難所演習」
132	愛知県蟹江町	小学校への冷凍庫導入
133	東京都大田区	区民体育館におけるWBGT値表示システム導入
134	神奈川県横須賀市	市立中学校・高校へのWBGT計測システム導入
135	開成町	小さい町ならではの総ぐるみでの熱中症対策

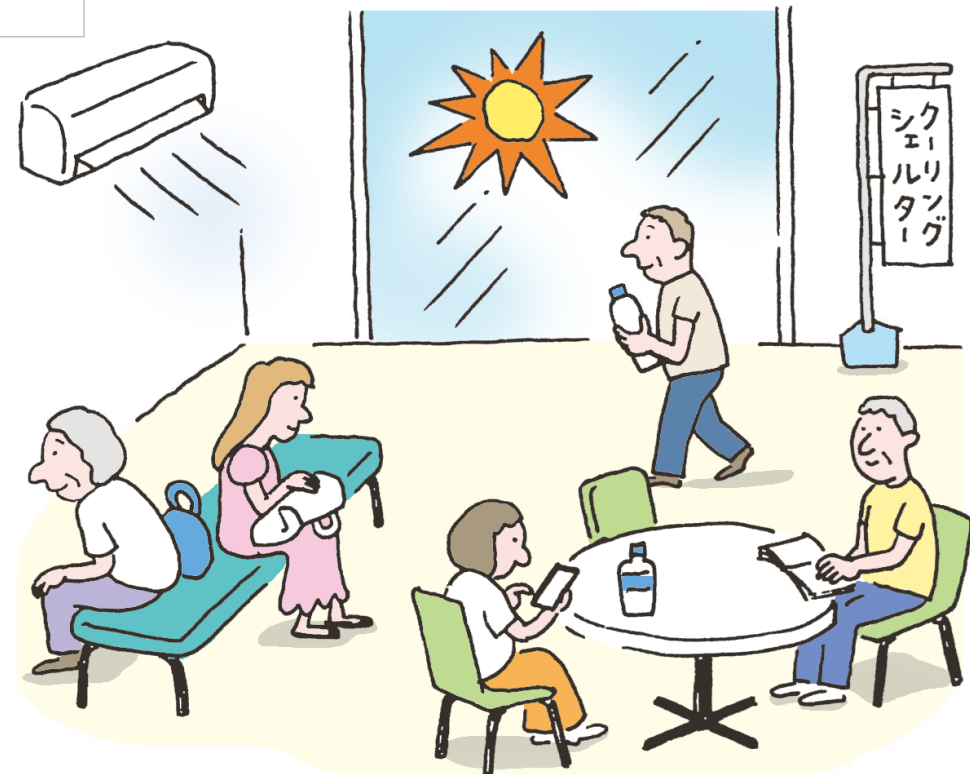


09. 海外における熱中症対策の取組事例

137	スペイン	連携体制
138	ドイツ	実施体制
139	カタルーニャ州（スペイン）	連携体制
140	バーデン＝ヴュルテンブルグ州（ドイツ）	連携体制
141	スペイン	警戒アラートの運用
142	ドイツ	警戒アラートの運用
143	カタルーニャ州（スペイン）	独自アラートの運用
144	バルセロナ市（スペイン）	クーリングシェルターと涼み処
145	ルートヴィヒスブルク郡（ドイツ）	クーリングシェルターと涼み処
146	ルートヴィヒスブルク郡（ドイツ）	暑熱対策実行計画の策定
147	バルセロナ市（スペイン）	市民への熱中症対策

参考になるサイト・コラム

148	環境、温暖化対策、脱炭素などの部局による事例
150	保健、健康、福祉などの部局による事例
152	防災や消防本部、消防署による事例
153	こども、家庭などの部局や教育委員会による事例
155	救急安心センター事業 # 7119
156	緊急医療情報キット
158	参考となるサイト（ガイドライン、技術資料等）





CHAPTER

01

連絡体制

地域の熱中症リスク評価

熱中症予防行動の効果的な情報発信

熱中症要配慮者への見守り・声かけ

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

涼み処

地域で活躍する団体や企業等との連携

さまざまな熱中症対策の取組事例

海外における熱中症対策の取組事例

静岡県焼津市 関係部署の洗い出し

- 庁内の関係部署について①熱中症になりやすい・重症化しやすい「**対象者から**」、②熱中症が発生しやすい「**シーンから**」、③情報伝達や事業実施の「**手段から**」という3つの視点から洗い出しを行う。

対象者から	高齢者	障害者	外国につながる市民	子ども
	高齢者福祉担当部署	障害者福祉担当部署	国際交流担当部署	保育所・幼稚園担当部署
				小学校・中学校担当部署
				放課後児童クラブ担当部署
シーンから	就労	市民活動		
	商工担当部署	生涯学習担当部署		
	農政担当部署	スポーツ振興担当部署		
手段から	訪問活動	広報	分析・とりまとめ	
	民生委員担当部署	広報広聴担当部署	環境担当部署	
	老人クラブ担当部署	防災担当部署	健康担当部署	
		公共施設等担当部署		

■苦勞した点

- ・国の通知等も参考に、まず関係部署の洗い出しを行いました。

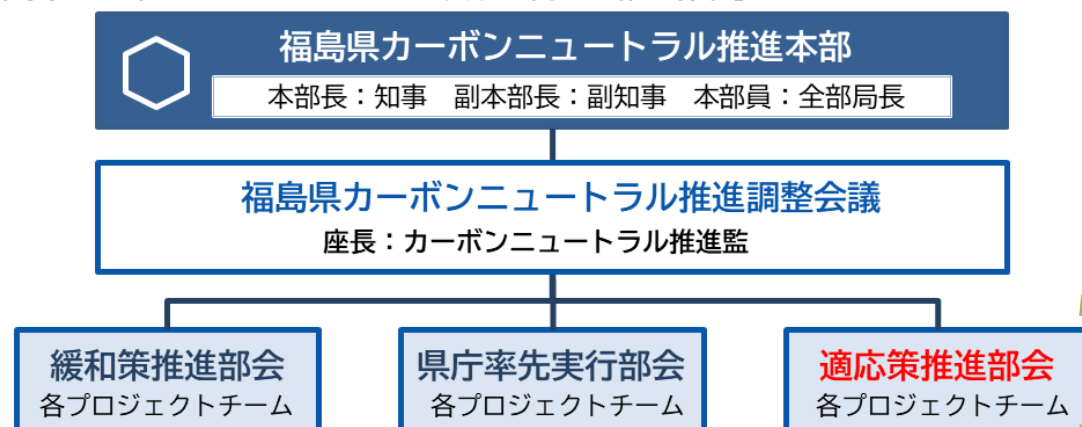
■工夫した点

- ・ピックアップした関係課のうち、独自に熱中症の取組を行いうる部署に参加を呼びかけ、8部14課からなるプロジェクトチームを設置しました。

福島県 プロジェクトチーム（PT）の設置

- 知事を本部長とする「福島県カーボンニュートラル推進本部」を新たに設置し、地球温暖化対策の2つの柱である「**緩和策**」と「**適応策**」を両輪に総合的かつ横断的に施策を推進
- カーボンニュートラル推進監を座長とする、「福島県カーボンニュートラル推進調整会議」により、施策全体の進捗管理や総合調整を実施
- その下部に3つの「部会」、「プロジェクトチーム（PT）」を組織し、具体的な施策について実務者による協議を実施

【福島県2050年カーボンニュートラル実現に向けた推進体制】



熱中症・感染症対策PT

熱中症や感染症リスク抑制に向けた適切な情報収集及び対策などについて協議

関係部局

危機管理部、生活環境部、保健福祉部、こども未来局、農林水産部、土木部、教育庁

自然災害対策PT

頻発化・激甚化する災害に関する情報収集及び防災・減災対策などについて協議

関係部局

危機管理部、生活環境部、農林水産部、土木部

農林水産業対策PT

農林水産業への影響等に関する情報収集及びそれを踏まえた対策について協議

関係部局

生活環境部、農林水産部

■ 苦労した点

- ・ 適応7分野の範囲が広く、関係部局・課室の数が多いため、関係課との調整に苦労した。
- ・ また、必ずしも全ての関係課が適応を「自分事化」している訳ではないので、適応策推進にあたり、引き続きの機運醸成が必要

■ 工夫した点

- ・ 知事を代表としたカーボンニュートラル推進本部の中で、緩和と適応を両輪として進めることとする組織体制とすることとした。
- ・ また、福島大学と連携して、福島県における気候変動の影響予測を公表することで、関係課へ適応策の必要性を示した。

鳥取県鳥取市 担当省会議の設置

- 令和5年4月28日 第1回担当省会議（**9部署対象**）：夏季に向けて各課の取組を確認及び事業連携の呼びかけ
- 令和5年10月24日 第2回担当省会議（**11部署対象**）：今夏の取組の振り返り及び課題や来年度に向けた取組等の共有

事務局 保健総務課

秘書課広報室

鳥取市公式LINEやラジオ放送、CATV放送などのメディア媒体による熱中症予防の呼びかけや注意喚起

協働推進課

地区公民館のクールシェルターの提供や、各イベントの際の熱中症予防啓発など、地域コミュニティの中における熱中症対策

生活環境課

気候変動の影響に対する適応策の観点から、**熱中症警報**（※）やWBGT等の情報提供など、熱中症の予防法の普及啓発や取組の推進
（※）熱中症警報：鳥取県独自に発令する警報

中央包括支援センター

熱中症救急搬送者の約半数を占める高齢者宅への訪問や健康教育等における予防啓発の取組

健康・子育て推進課

地域で行う健康指導の場における熱中症予防対策の呼びかけ

観光・ジオパーク推進課

観光施設におけるクールシェルターの取組推進。また、近年増加する鳥取砂丘での観光客の熱中症救急搬送に対する予防対策の強化

まちなか未来創造課

中心市街地エリアにおける商業施設のクールシェルターの取組の強化

生涯学習・スポーツ課

スポーツ大会運営における熱中症予防対策をはじめ、民間スポーツ団体や個人スポーツ活動での熱中症の事故を未然に防ぐための予防対策

学校保健給食課

熱中症警報等発令の際の各小・中・義務教育学校への周知や学校活動時における熱中症予防対策の推進

危機管理課

令和6年度より新設・施行される「熱中症特別警戒情報」を含め、熱中症警報発令時や熱中症警戒情報発表時における災害の観点による対策の強化



▲担当省会議の様子

■ 苦労した点

- ・事務局である保健総務課からの一方的な情報発信が多く、最終的に関係機関や一般市民へ啓発や注意喚起がされているか、各部署の現状を把握していくことに尽力した。

■ 工夫した点

- ・本会議を通して、事業取組の情報共有だけでなく、課題解決や新たな事業連携へ展開していくことを目指し取り組んだ。

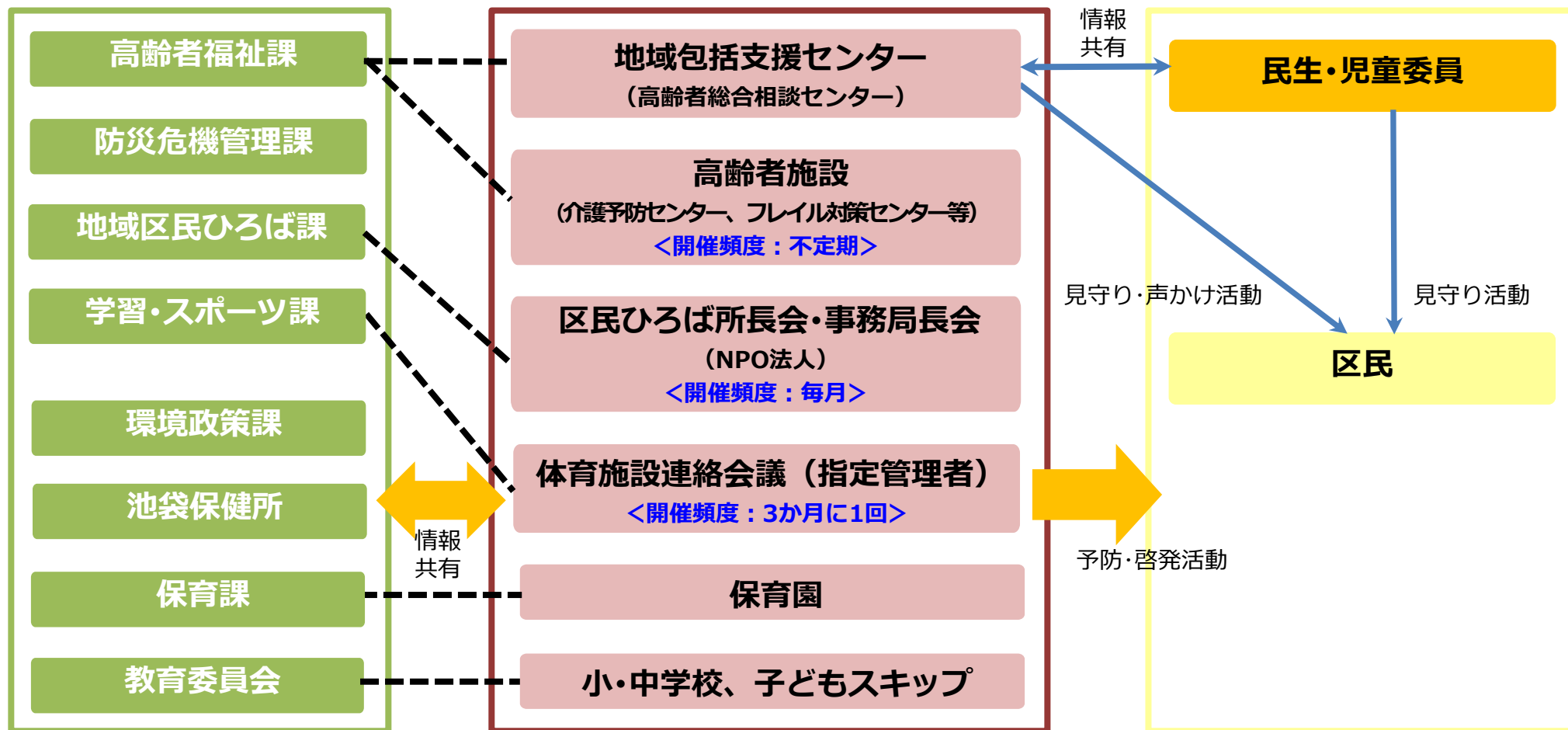
東京都豊島区

- 熱中症データの分析結果等をふまえ、**区民**や**来館者**に対して地域別の特徴等を周知→区民への意識啓発
- 各課（各施設）の事業において熱中症データの利活用等を図る→全庁的に熱中症予防を推進

庁内（関係課で共有）

庁外（区施設）

庁外（区民等）



神奈川県川崎市 ワーキンググループ（WG）の設置

- **環境局**を事務局として、令和5年度から新たに「**気候変動適応法改正に伴う熱中症対策検討WG**」を立ち上げ、関係部局と連携して気候変動適応法の改正に伴う熱中症対策について検討を行う。

川崎市環境行政・温暖化対策推進会議（各局局長級）

川崎市環境行政・温暖化対策推進会議幹事会（各局企画課長）

気候変動適応法改正に伴う熱中症対策検討WG（課長級）

総務企画局（企画調整課、公共施設総合調整室、行政改革マネジメント推進室）

市民文化局（区政推進課）

環境局（企画課、脱炭素戦略推進室、◎環境総合研究所）

◎：事務局

健康福祉局（企画課、健康増進担当）

危機管理本部（危機管理部）

消防局（救急課）

教育委員会事務局（教育政策室）

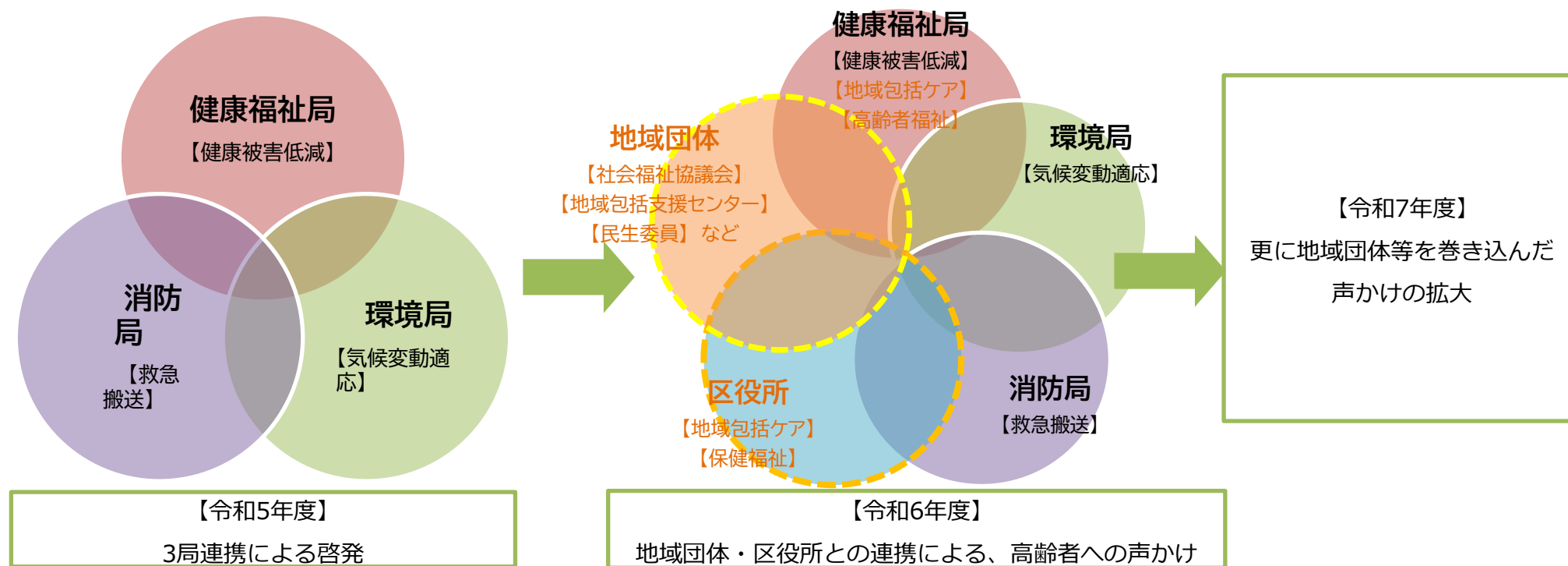
※制度の詳細が明らかになった時点で必要な部署を適宜追加

■工夫した点

- ・令和5年度当初は、改正法の詳細がわからない部分が多かったことから、WG構成員は最小限の関係課としたが、法改正に伴う取組を進めていく中で、総務企画局及び市民文化局の協力が必要となったことから、令和6年1月にこれらの部局を構成員に追加した。

神奈川県川崎市 地域一体型の熱中症対策の推進

- 熱中症による救急搬送者の半数を占める高齢者への熱中症対策が急務であり、地域の声かけによる啓発を展開するため、①令和5年度以前は川崎市3局（健康福祉局、健康福祉局、消防局）連携体制を構築し、②令和6年度は健康福祉局 地域包括ケア推進室や高齢者在宅サービス課等との協力・連携体制の構築を行った。
- 令和7年度では、NPO、ボランティア団体や民生委員・児童委員協議会等との更なる協力・連携体制を拡充していく予定である。



■ 苦労した点

- ・ 高齢者を対象とする施設や活動、地域で活動する団体・ひと（点）とのつながりを線をつないでいく作業
- ・ 地域に存在する多数の点を把握することから始まり、会合などに出向いて、関係づくりをすることにより線で結ぶことに大変苦労した。

■ 工夫した点

- ・ まずは、既存の人脈から点を線で結んでいき、そこから紹介等を通じて、他の点を線で結んでいくことを行った。
- ・ 既存で活動しているひとたちの過度な負担とならないよう、依頼事項を絞ってなるべく簡素で分かりやすい取組とした。

神奈川県川崎市 「更なる気温上昇に備える検討ワークショップ」

- 環境局（環境総合研究所）が中心となって『更なる気温上昇に備える検討ワークショップ』を2回開催
講義（①改正気候変動適応法の概要、②川崎市内の熱中症発生状況）30分、ワークショップ90分の構成
- ・令和7年1月27日：健康福祉局の職員対象、25名参加
- ・令和7年1月31日：区職員対象、危機管理本部や消防局含め17名参加

第1回

更なる気温上昇に備える 検討ワークショップ

令和7年1月27日（月）
14:30～16:30

シナリオ

2 気温上昇が進んだかわさき

- 20XX年7月
- ・梅雨明けから20日連続で熱中症警戒アラートが発令されている。
 - ・熱中症による救急搬送者は過去最高のペースとなり、既に救急中はパンク状態。
 - ・国は連日会見を開き、不要不急の外出を控えるようアナウンスをしている。
- 8月10日
- ・3日後に熱中症特別警戒アラートの発令が予想された。
 - ・本市においても市長から各局に対し、熱中症特別警戒アラートの発表に備えるよう指示が出された。
- 8月12日 午後
- ・13日の熱中症特別警戒アラートが発令された。
 - ・本市においても、市民に対し「不要不急の外出を控え、涼しい室内で過ごす」ようアナウンスを行う。
 - ・市長からは、自宅にエアコンがない人等が暑さから避難できる場所を開設するよう指示が出された。



▲第2回ワークショップの様子

テーマ

4～5名のグループに分かれ、3つのテーマに対し、それぞれ議論15分程度＋発表を行う。

テーマ 1

暑さから避難できる場所
（いわゆるクーリングシェルター）は、
どのような施設が適切か。
また、どのような機能が必要か。

テーマ 2

熱中症特別警戒アラートが
発表される様な状況の時、
各業務で影響が出るものは
どのような事が考えられるか。

テーマ 3

熱中症特別警戒アラートの発表に備え、
今からできる取り組みはどのようなことがあるか。

■ 苦労した点

- ・年度末の繁忙期に、数多くの職員に参加してもらうべく、担当課長会議の場や個別訪問による依頼等、何度も繰り返しお願いをして、気温上昇への備えの重要性を理解してもらうよう努めた。

■ 工夫した点

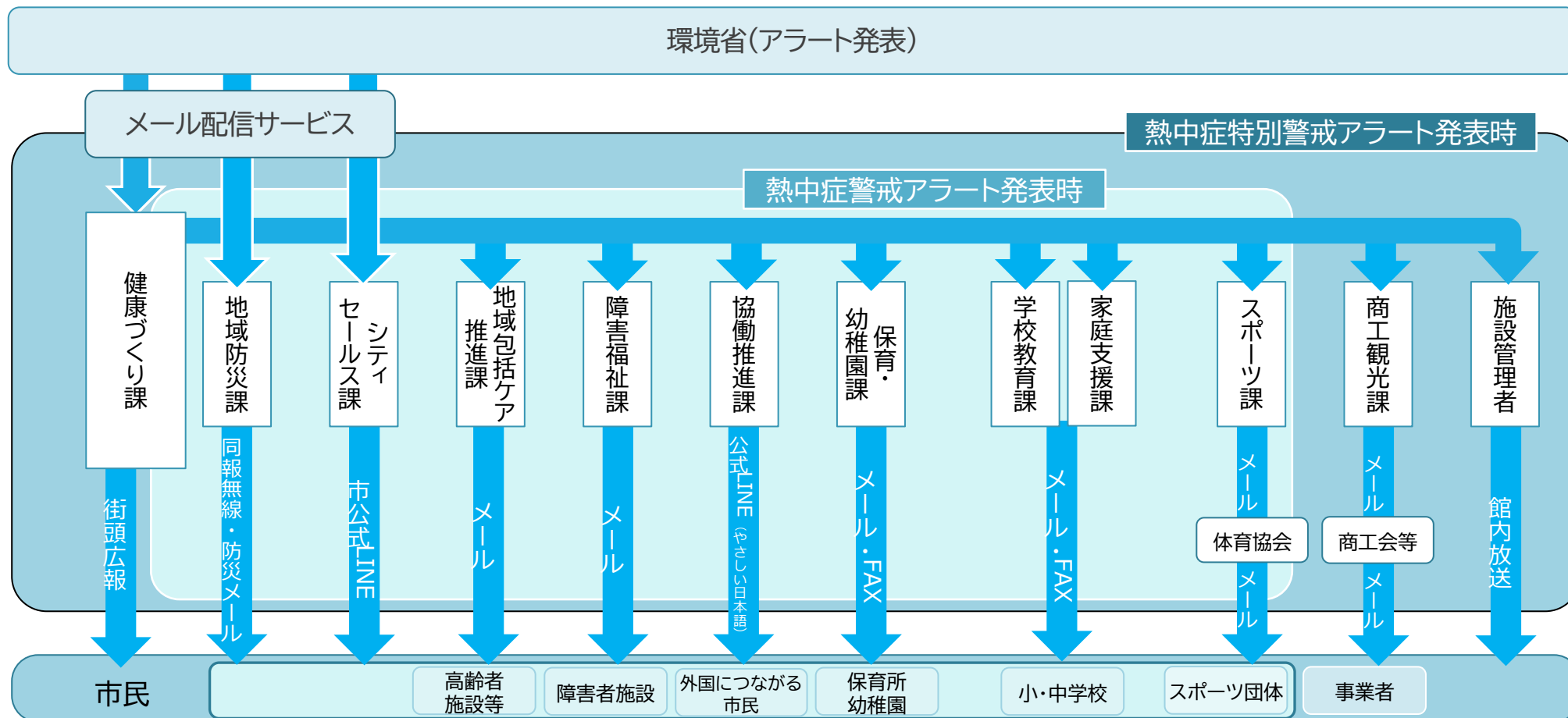
- ・今回は、係長級以下を中心とした「現場」第一線の職員に声をかけた。
- ・ワークショップで話し合われた意見や課題などは、今後の気候変動適応への施策に反映させるとともに、今夏の熱中症対策にも活かしていく。

埼玉県熊谷市

部局名	対象者	情報伝達手段	取組
環 境 政 策 課	担 当 課 職 員	・全庁掲示板（庁内ネットワーク）に当日始業前までに掲載	・関係機関へメール、FAX、電話連絡
↓ ↓			
市有施設管理課	市 役 所 来 庁 者 公 共 施 設 利 用 者	・庁内放送、館内放送 ・窓口に啓発チラシ設置 ・ポスターの掲示	・広報広聴課、各行政センターへ館内放送を依頼
指定管理担当課	指 定 管 理 施 設 利 用 者	・メール、FAX	・指定管理者に連絡、指定管理者は園内放送や旗、看板の掲示等
教 育 総 務 課 保 育 課	小 中 学 校 ・ 幼 稚 園 保 育 所 （ 市 立 ・ 私 立 ） 児 童 館 ・ 学 童 ク ラ ブ 等	・一斉FAX ・学校メール ・ほいくメール	・教育委員会から小中学校、幼稚園へメール、FAX送信 ・保育所、学童クラブ、保護者等へメール送信
こ だ も 課	地 域 子 育 て 支 援 拠 点 施 設 利 用 者 （ 親 子 ） 児 童 養 護 施 設	・FAX	・地域子育て支援拠点、児童養護施設にFAX送信
ス ポ ー ツ タ ウ ン 推 進 課	ス ポ ー ツ 少 年 団	・メール	・スポーツ少年団にメール送信
長 寿 い き が い 課 障 害 福 祉 課 危 機 管 理 課	高 齢 者 施 設 障 害 者 施 設	・メール ・聴覚障害者用FAX	・社会福祉法人（高齢者施設、障害者施設）にメール送信 ・登録者にFAX送信
営 繕 課	高 齢 者 世 帯	・電話連絡（期間中1～2回）	・市営住宅の高齢者世帯へ電話連絡
環境美化センター 消 防	市民全体 ・農業従事者 ・建設現場等屋外作業者	・巡回広報	・環境美化センター、消防による巡回広報
健 康 づ く り 課		・防災行政無線	・危機管理課、消防本部（土日祝日）へ放送を依頼
		・熱中症予防情報メール ・メール配信サービス（メルくま）	・登録者にメール送信 （メール配信サービスは防災行政無線と同時）
		・ケーブルテレビ ・地域FM	・災害応援協定を締結しているメディアに情報発信を依頼
		・HP、デジタルサイネージ	・広報広聴課へHPとデジタルサイネージへの掲載を依頼

静岡県焼津市 「熱中症警戒アラート等のメール配信サービス」と庁内への情報伝達

- 基本的には各課で「熱中症警戒アラートメール配信サービス」へ登録しているが、さらに健康づくり課から情報を伝達する流れを構築



工夫した点

- ・ 漁業や水産加工業がさかんでもあり、外国につながる市民も増えているため、LINEではやさしい日本語を用いている。
- ・ 同報無線・防災メール（地域防災課）や市公式LINE（シティセールス課）等、休日にも放送や配信を行っている部署には、市民から直接サービスに登録してもらい、アラートの発表状況を見ながら対応する。

石川県金沢市 熱中症対策庁内連絡会の設置

- 熱中症対策を強化するため、関係する各課所等と連携し協力体制の整備と積極的な取組の推進を行うことを目的として、新たに「**熱中症対策庁内連絡会**」を設置、庁内関連部署24課で構成

局	課	関連業務
都市政策	企画調整課	局内に関する対応
	広報広聴課	広報に関する対応（ホームページ・LINE等）
総務	総務課	局内に関する対応、庁舎管理に関する対応
文化スポーツ	文化政策課	局内に関する対応、文化・芸術施設に関する対応
	スポーツ振興課	スポーツ関連施設等に関する対応
経済	産業政策課	局内に関する対応
農林水産	農業水産振興課	局内に関する対応、農林・水産に関する対応
市民	市民協働推進課	局内に関する対応、町内会・市民団体に関する対応
福祉健康	福祉政策課	局内に関する対応、高齢者等に関する対応
	生活支援課	救護施設等に関する対応
	介護保険課	介護施設等に関する対応
	障害福祉課	障害者施設等に関する対応
	福祉健康センター総務課	福祉健康センター業務に関する対応
こども未来	子育て支援課	局内に関する対応
	保育幼稚園課	保育園、幼稚園等に関する対応
環境	環境政策課	局内に関する対応
	ゼロカーボンシティ推進課	脱炭素、地球温暖化対策に関する対応
都市整備	都市計画課	局内に関する対応
土木	道路建設課	局内に関する対応
教育委員会	教育総務課	局内に関する対応
	学校指導課	小中学校に関する対応
危機管理	危機管理課	熱中症による被害発生時の対応
病院	市立病院	熱中症患者の対応
消防	警防課	熱中症患者の救急搬送に関する対応

事務局

健康政策課

熱中症対策の全体統括、健康管理等

第1回熱中症対策庁内連絡会を開催

（令和6年6月27日）

- 気候変動適応法の主な改正内容（熱中症特別警戒アラートの新設、クーリングシェルの指定等）の確認
- 市民や関連団体への熱中症予防の周知・啓発等に各部局が連携して取り組むことができるよう役割や熱中症警戒アラート及び熱中症特別警戒アラートに係る発表時の体制を確認

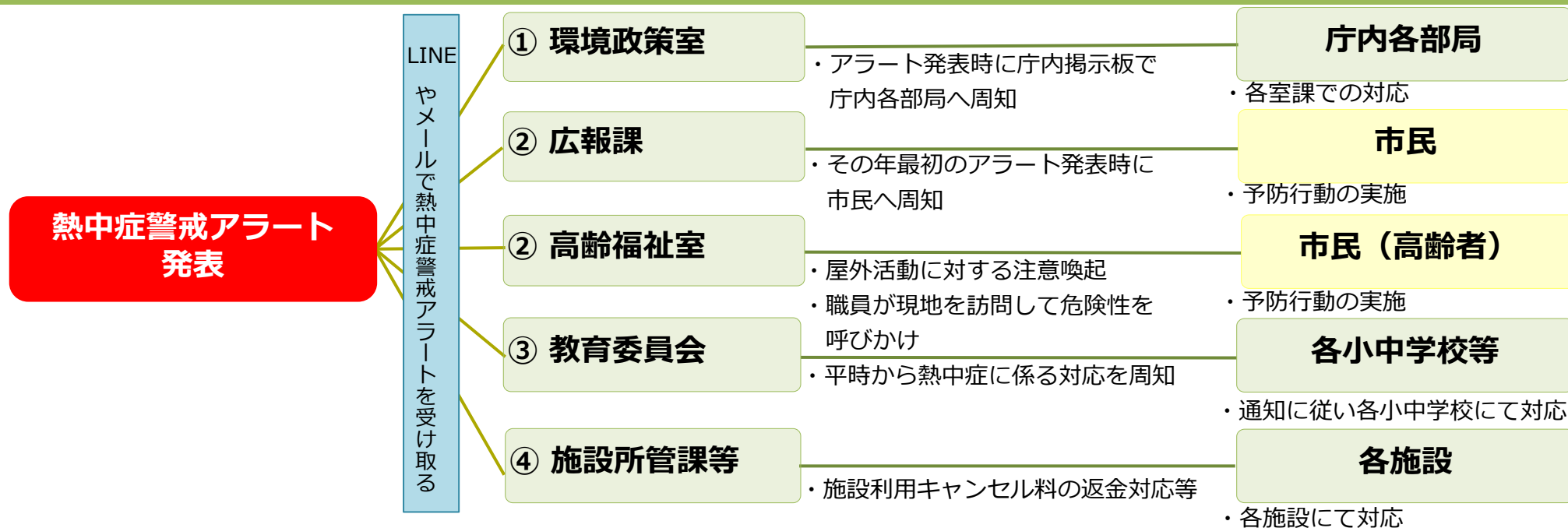
石川県金沢市 熱中症対策庁内連絡会の設置

会議体制の設置基準

- ① **熱中症警戒アラート**が頻繁に発表される場合：「**熱中症対策庁内連絡会**」を開催
- ・健康被害が拡大しないよう、各部署の役割を確認
 - ・市民や関係団体等へ注意喚起や情報提供を実施
- ② **熱中症特別警戒アラート**が発表された場合：「**安全安心政策会議**」を開催
- ・市民や関係団体等への注意喚起
 - ・部活動やイベント開催に伴う熱中症対策の確認・徹底（状況に応じて中止・延期等の判断実施）

事態レベル	判断基準	会議体制
1	熱中症警戒アラート が頻繁に発表	[新設]熱中症対策庁内連絡会
2	熱中症特別警戒アラート の発表時	安全安心政策会議
3	熱中症特別警戒アラート の発表後、 大規模な健康被害が発生（切迫）し、 災害応急対策の必要がある場合	金沢市熱中症対策本部

大阪府吹田市



番号	部局名	対応
①	環 境 政 策 室	○アラートが発表された際には、庁内電子掲示板「事務なび」にて職員へ周知、及び市民へはSNSを活用し、注意喚起及びアラートの登録を呼びかけ
②	各 室 課	○関係する市民へ通知 [例] 広 報 課：その年最初のアラート発表時に市SNSへ掲載、市SNSでアラート登録の呼びかけを実施 [例] 高 齢 福 祉 室：屋外で実施する体操教室において、アラートのレベルに応じ、体操時間の短縮または中止を推奨。また、職員が現地に訪問し、アラート登録や熱中症の危険性を市民へ呼びかけ
③	教 育 委 員 会	○各小中学校にて教育委員会の通知に従い、それぞれ対応
④	施 設 所 管 課 等	○各施設にて熱中症の呼びかけや対応等を実施 [例]各スポーツ施設にて、アラート発表日に熱中症対策（予防）を理由にキャンセルをした場合には、キャンセル料がかからない措置を7月から9月まで実施

北海道札幌市 札幌版熱中症特別警戒アラート

- 札幌市では、環境省が発表するWBGTの予報と熱中症警戒アラート等の情報に基づき、**市内における熱中症の危険度が高くなると予想された場合**、札幌市のLINE公式アカウントを活用して、市民に熱中症の注意喚起をする仕組みを運用
- 環境省の「熱中症特別警戒アラート」の発表基準には満たないものの、札幌市内において危険な暑さが予測される場合には札幌市独自の「**札幌版熱中症特別警戒アラート**」を発表し、注意喚起を行う。

札幌市が札幌版熱中症特別警戒アラートを発表した場合、環境省から熱中症警戒アラートや熱中症特別警戒アラートが発表された場合には、札幌市のLINEによる注意喚起を行います。

環境省の予報・アラート		札幌市の対応 (LINEによる注意喚起)
熱中症警戒アラート 石狩・空知・後志管内の いずれかでWBGT33以上	翌日のアラート：17時に発表 当日のアラート：7時に発表	翌日のアラート：18時までに投稿 当日のアラート：9時30分までに投稿 ※前日に、翌日のアラートが発表された場合は当日の投稿なし ※札幌版熱中症特別警戒アラートを発表した場合は投稿なし
札幌版熱中症特別警戒アラート 札幌市内のすべての地点 (札幌・山口) でWBGT35以上	各日6時の予報で、 7時に翌日のWBGT予測値を メール配信	翌日のアラート：14時までに投稿 ※当日のアラート発表なし
熱中症特別警戒アラート 北海道内すべての地点で WBGT35以上	翌日のアラート：14時に発表 ※当日のアラート発表なし	翌日のアラート：15時までに投稿 ※当日のアラート発表なし

北海道には、WBGT情報提供地点が約**160地点**あり、エリアによって気候も異なっている。

札幌市内には2地点（札幌と山口）に、WBGT情報提供地点がある。

札幌版熱中症特別警戒アラートを発表したり、環境省から**熱中症警戒アラート**や**熱中症特別警戒アラート**が発表された場合には、LINEにより注意喚起を行う。

札幌市ホームページ <https://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/hyperthermia/hyperthermia.html>

■ 苦労した点

- ・ 土日など閉庁時に注意喚起を行う職員体制の確保

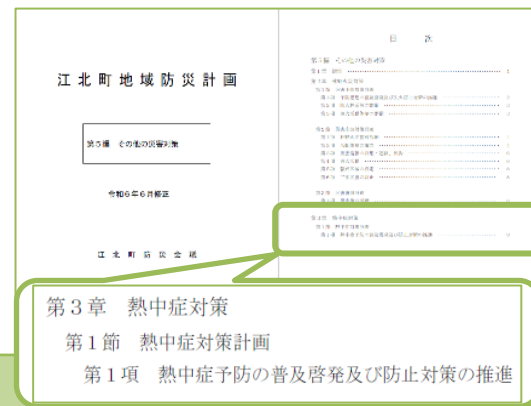
■ 工夫した点

- ・ 以前は、札幌市のLINE公式アカウントへの投稿の権限を有する広報部門を介して投稿を行っていたが、LINE投稿システムの機能拡大などにより熱中症対策部門から直接投稿を行えるようにした。

佐賀県江北町 「江北町地域防災計画」

- 熱中症を災害の一部として捉え、『江北町地域防災計画』の第5編「その他の災害対策」にて、熱中症警戒アラート発表時における体制や動き等について定めている。

- ・「**災害対策連絡室**」：佐賀県に**熱中症警戒アラート**が発表された場合
総務政策課安全安心係に設置する。室長は総務政策課長
- ・「**災害対策本部**」：佐賀県に**熱中症特別警戒アラート**が発表された場合
庁舎2階に設置する。本部長は町長、副本部長は副町長、議長、団長



所属課	所属係	所掌事務
総務政策課	安全安心係	・ 配備職員の登庁要請 ・ 災害対策連絡室/災害対策本部の運営 ・ 指定暑熱避難施設との連絡調整 ← 【例】 区長（自治会長）への連絡など ・ 被害状況の取りまとめ
	企画情報係・財政係	・ ホームページ、フェイスブックによる情報発信 ・ 防災無線による災害情報発信 ← 【例】 音源の登録、設定など ・ 広報車両による広報
健康福祉課	介護保険係・福祉係	・ 民生委員・児童委員との連絡調整 ・ 避難行動要支援者（高齢者、要介護者）の援護措置
基盤整備課	土木係・耕地係	・ 管理施設の巡回 ← 【例】 公園など
こども教育課	学校教育係・生涯学習係	・ 学校教育施設等との連絡調整 ・ 社会体育施設等との連絡調整 ← 【例】 野球場、ソフトボール場、テニスコート、弓道場など

▲ 災害対策連絡室と災害対策本部設置時の担当部局と所掌事務

江北町地域防災計画(令和6年6月修正) <https://www.town.kouhoku.saga.jp/bousai/kiji0031368/index.html>

佐賀県江北町 江北町独自の「熱中症注意情報」

- 江北町では、環境省の熱中症警戒アラート発表よりも低い基準による「熱中症注意情報」の発信・運用を実施。防災行政無線やホームページなどを通して発表され、エアコンの活用のほか、水分や塩分の補給などの対策を呼びかけている。

江北町の「熱中症注意情報」の発表基準

(下記3項目のいずれか1つでも該当する場合に発表)

- ① WBGT予測値について、**31以上となった場合**
- ② WBGT予測値について、**25以上が6時間以上継続した場合**
- ③ WBGT予測値について、**25以上であり、かつ、その最高値と最低値の差が6以上ある場合**

【参考】

環境省におけるアラート発表基準

「熱中症警戒アラート」

府県予報区等内において、いずれかのWBGT情報提供地点における、翌日・当日の日最高WBGTが33（予測値）に達する場合に発表

「熱中症特別警戒アラート」

都道府県内において、全てのWBGT情報提供地点における、翌日の日最高WBGTが35（予測値）に達する場合等に発表



- ◀「指定暑熱避難施設および熱中症避難所」
令和5年は公共施設4か所だった「熱中症避難所」を、各区の協力を得て地区集会所や公民館など計20か所（令和6年7月現在）に拡大。
暑さからの“避難所”であるとともに、特別警戒アラート発表時にはクーリングシェルターとして活用される。

■工夫した点

- ・江北町では2021年からの3年間、県内で熱中症により救急搬送された人と当時の「暑さ指数」を分析した結果、**WBGTが31以上**になると30以下の日に比べて1.7倍増加していたこと、また**WBGT25以上が6時間続いた場合**や**最高値と最低値の差が6以上ある場合**にも増加していることが判明したため、独自の「熱中症注意情報」を創設しました。

愛知県小牧市 熱中症警戒アラート発表時の施設のキャンセル

●キャンセル条件

- ・利用日に**熱中症警戒アラート**が愛知県で発表されていること
- ・**利用開始時間までに施設窓口**に熱中症予防を理由としたキャンセルを申し出ていること

※空調設備が設置されている施設は対象外

熱中症警戒アラート発令時の スポーツ施設のキャンセルについて

危険な暑さの中、施設利用について無理することがないように、熱中症警戒アラート発令時において、利用前に熱中症予防を理由とした施設利用キャンセルの申し出があった場合は、施設使用料を徴収しないこととします。なお、施設使用料の支払いが済んでいる場合は、後日還付することとします。

還付条件 利用日に**熱中症警戒アラート**が愛知県で**発令**されており、**利用開始時間までに施設窓口**に**熱中症予防を理由とした**キャンセルを申し出ていること

適用期間 熱中症警戒アラート情報提供期間(右のQRコードからサイトを参照してください)

申出方法 各利用施設に**利用開始時間までに**電話いただくか、もしくは窓口にお申し出ください。

対象施設

- ・パークアリーナ小牧(サッカーグラウンド)
- ・総合運動場(野球場、多目的運動場)
- ・南スポーツセンター(グラウンド、武道館)
- ・さかき運動場(野球場、テニスコート)
- ・大輪体育館

※空調設備が設置されている施設は対象外



環境省「熱中症予防情報サイト」



(公財)小牧市スポーツ協会

▲(公財)小牧市スポーツ協会による案内例



▲パークアリーナ小牧(サッカーグラウンド)

“WBGTの予測が31以上”を
無料キャンセル条件に挙げる自治体も

コラム

WBGTに応じた注意事項等

WBGTによる 基準域	注意すべき 生活活動の目安 (※ 1)	日常生活における注意事項 (※ 1)	熱中症予防運動指針 (※ 2)
危険 31以上	すべての 生活活動でおこる 危険性	高齢者においては 安静状態でも発生する危険性が高い。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には注意すべき。
厳重警戒 28以上 31未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇 を注意する。	厳重警戒 (激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や 持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給 する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
警戒 25以上 28未満	中等度以上の 生活活動でおこる 危険性	運動や激しい作業をする際は 定期的に充分に休憩を取り入れる。	警戒 (積極的に休憩) 熱中症の危険性が増すので、積極的に休憩を とり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をと る。
注意 25未満	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働 時には発生する危険性がある。	注意 (積極的に積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性があ る。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合 間に積極的に水分・塩分を補給する。

(※ 1) 日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4」(2022年)

<https://seikishou.jp/cms/wp-content/uploads/20220523-v4.pdf>

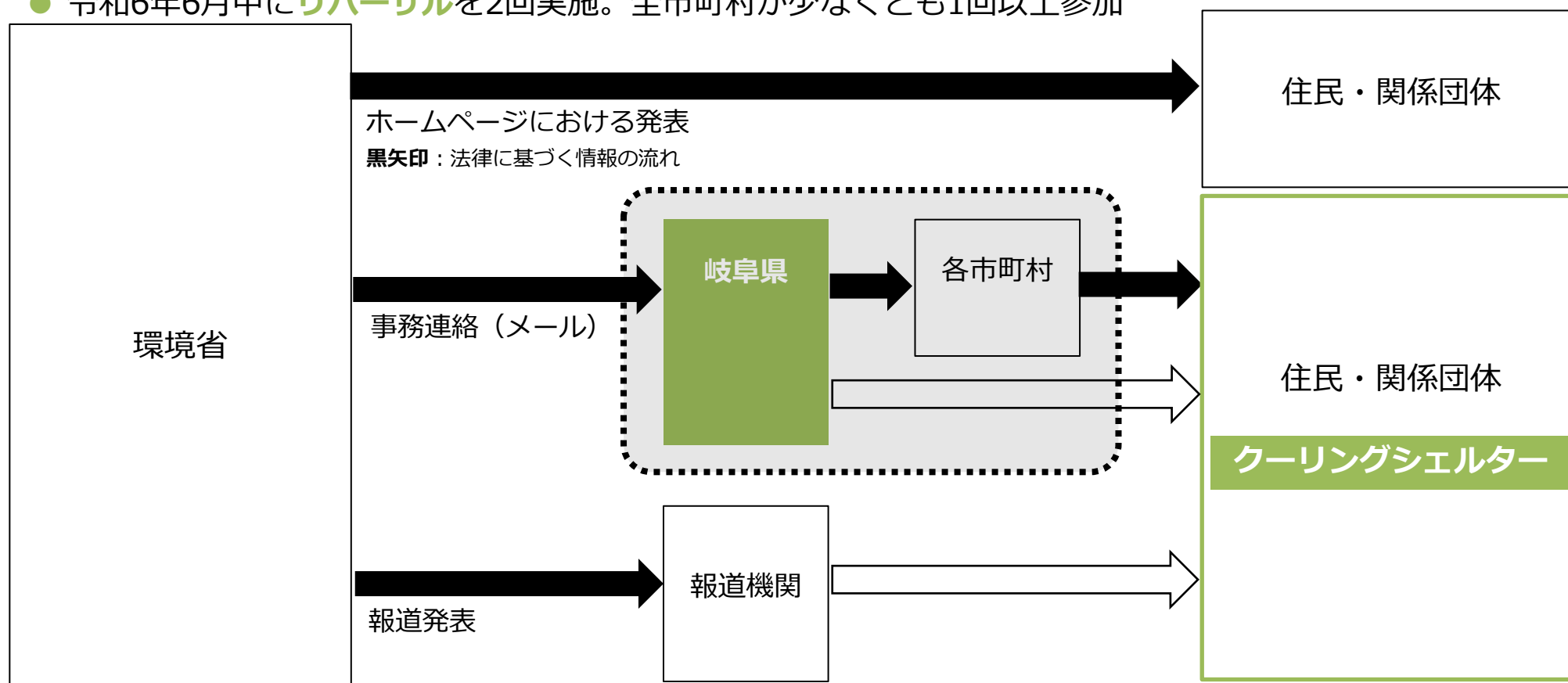
(※ 2) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019年)

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/nechusho_yobou_guidebook_2018.pdf

「熱中症環境保健マニュアル2022」(p.15)

岐阜県

- 令和6年6月3日 **市町村担当者説明会**の実施
 - ・ 改正気候変動適応法の概要と取組事例（中部地方環境事務所／環境再生保全機構）
 - ・ クーリングシェルター、熱中症特別警戒アラート発表時の専用連絡網及びリハーサルに関すること（県担当者）
- 令和6年6月中に**リハーサル**を2回実施。全市町村が少なくとも1回以上参加



岐阜県

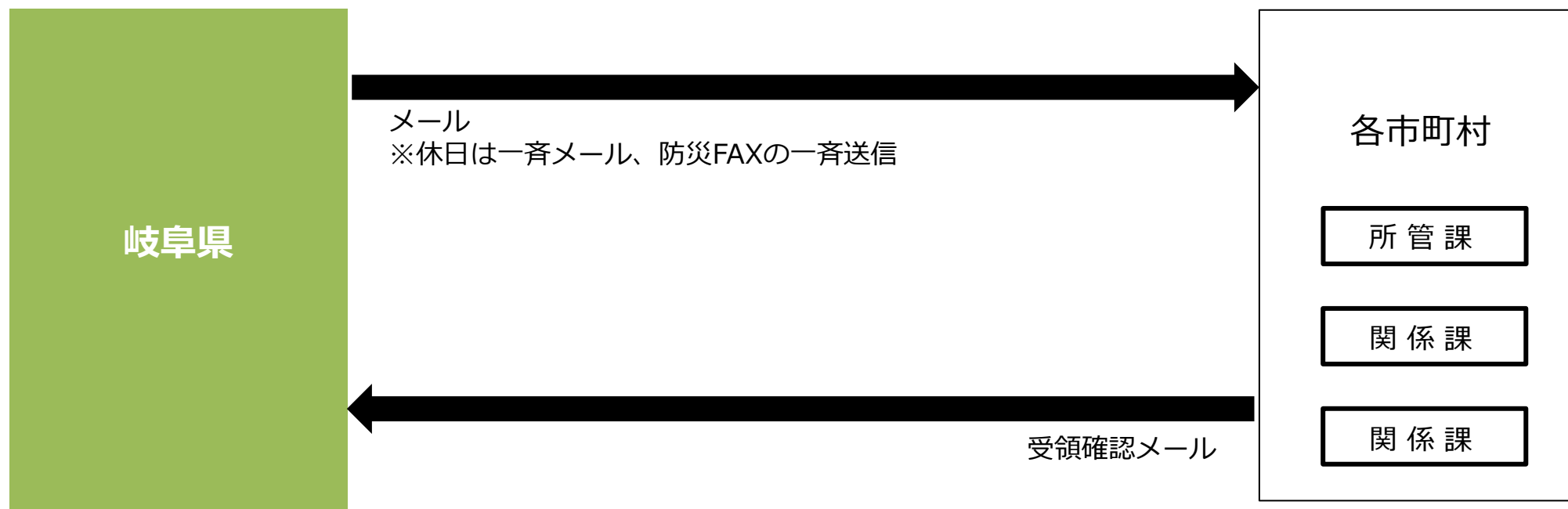
●県から市町村へ

優先順位を問わず、登録されたメール送付先へ伝達

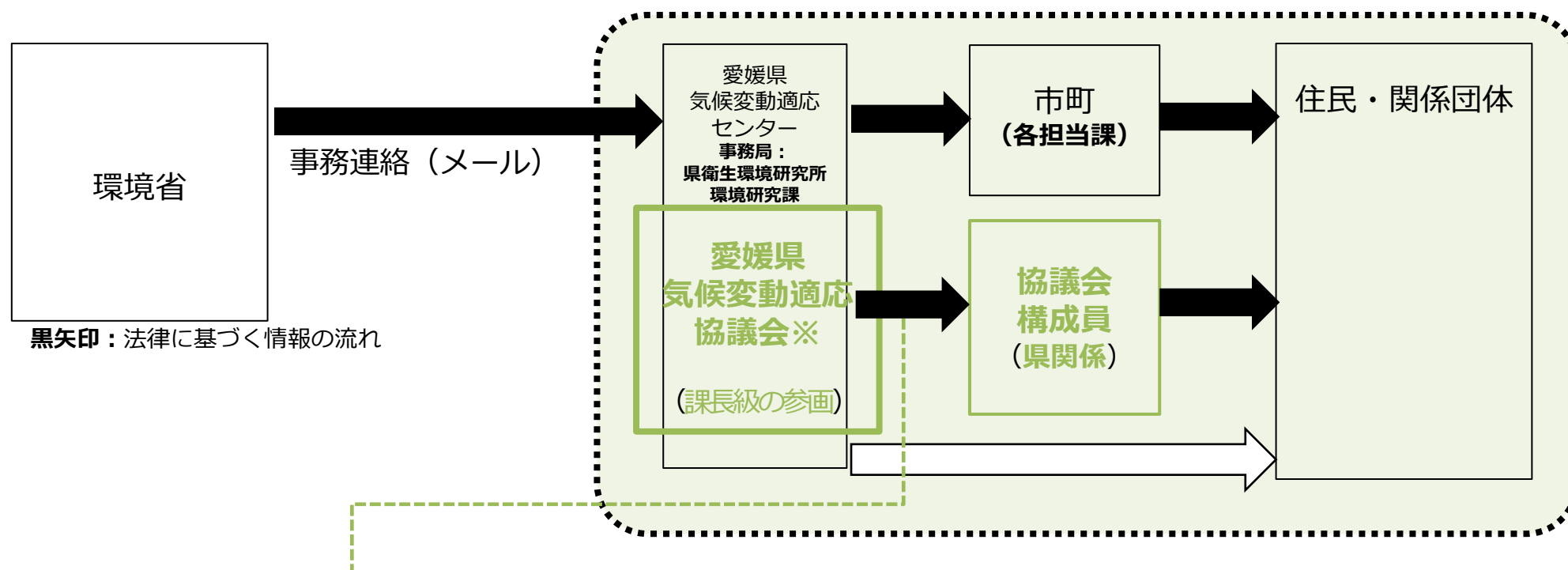
休日は、休日用に登録されたメールアドレスへの一斉メールと、**防災情報通信システムFAX（防災FAX）**の一斉送信

●市町村から県へ

市町村（関係課のうち1か所）から、県へ**受領確認のメール**を送信する。これがない場合、県から優先順位の高い連絡先へ**受領確認の架電**をする。



愛媛県 愛媛県気候変動適応協議会の構成員への一斉配信



【愛媛県気候変動適応協議会の構成員への一斉配信】

愛媛県立衛生環境研究所環境研究課（県担当課）＝愛媛県気候変動適応協議会事務局 という構造

熱中症対策は、関係する部局が多岐にわたることから、各部局が主体的かつ積極的に情報共有等を図れるよう、環境省からの事務連絡を当協議会構成員（県関係）で共有し、市町や各部局の関係する機関や団体等に連絡する体制を構築

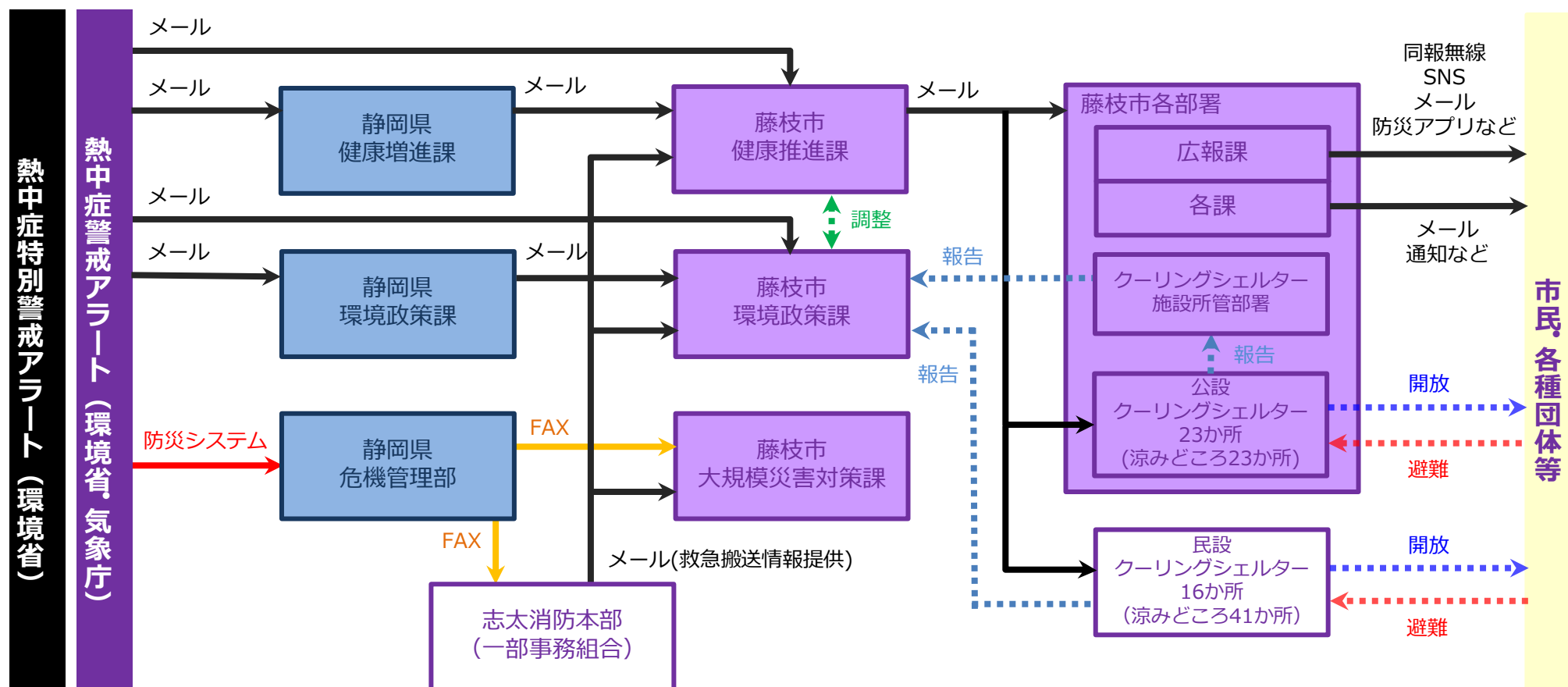
※愛媛県気候変動適応協議会

県における効果的な気候変動適応策の推進に向け、関係者間で気候変動に係る情報を共有し、必要な協議を行うことを目的とする。構成員は、国関係機関や大学等の他、県の各部の主管課や教育委員会、研究機関の課長級が参画する。

静岡県藤枝市 複数ルートから来る情報の一元化

【体制づくりに向けた手順】

- これまでの**熱中症警戒アラート**の体制を確認
(どこの部署にどこからどのような通知がどのような方法で届いて、どこにどのように通知・転送しているか)
- 熱中症特別警戒アラート**についてもこれまでの警戒アラート同様の対応で可能か確認
(他部署含め、他部署の上位機関についてもそれぞれ確認)
- 志太消防本部**とは、これまで熱中症という観点での情報共有を図っていなかったが、年度途中から熱中症に関する特設ページを開設し、管内における搬送者数を掲載したことに伴い、市内の搬送者に関する情報を共有することにした。
また、藤枝市からも各課の取組など情報を共有している。



静岡県藤枝市 複数ルートから来る情報の一元化

第1号様式（第4条関係）

藤枝市「クーリングシェルター（涼みどころ）」指定申請書

年 月 日

藤枝市長 宛

申請者 施設名
施設住所
管理者名

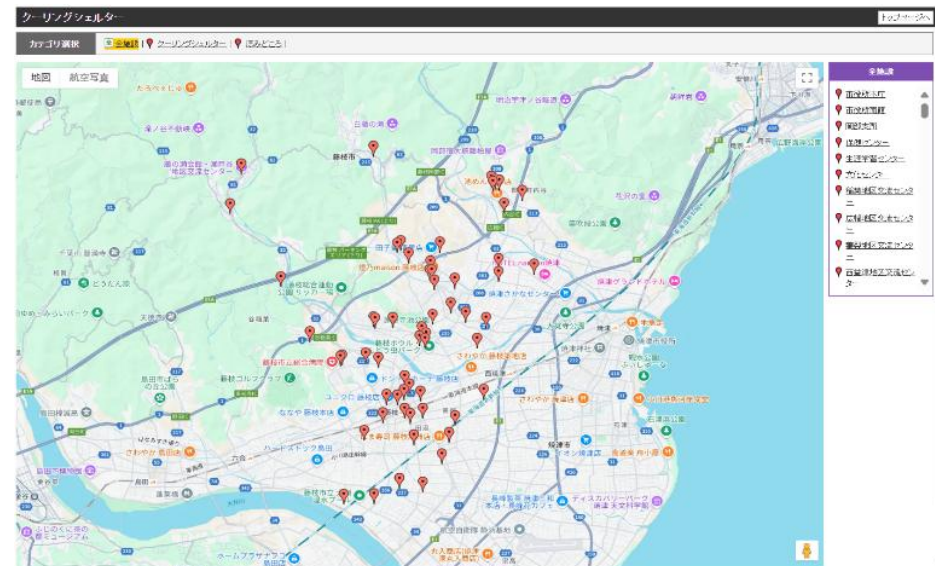
藤枝市の熱中症対策として、藤枝市「クーリングシェルター（涼みどころ）」の指定等に関する要綱第4条の規定により、次のとおり申請します。

開放可能日時	
受入可能人数	
開放場所	1. 椅子又はベンチ（ ） 2. テーブル（ ） 3. その他（ ）
担当者名	
担当者連絡先	電話番号 メール
備考	希望する開設方法に○をしてください。 クーリングシェルター ・ 涼みどころ 必要な数を記入してください。 のぼり旗（ ）、電石（ ）、ポール（ ）



◀のぼり旗

◀クーリングシェルター（涼みどころ）指定申請書



▲クーリングシェルターのマッピング
「涼みどころ」も網羅している。

■苦勞した点

- ・国（環境省環境保健部）に対応する市の組織がないため、組織内の調整に苦慮した。
- ・現状における、熱中症に伴う各部署の情報の全体像の把握
（どこの部署に、どこからどのような通知がどのような方法で来て、どこにどのように通知・転送等しているか。また、広報課においては、どのタイミングでどのような手段で市民に伝えるか。など）

■工夫した点

- ・同様の通知が複数通知されるなどの情報の混乱を招かないよう、複数のルートから来る情報を**健康推進課で一元化**し、とりまとめた上で、各部署に発信した。
 - ・情報発信の役割分担を明確化したことにより、迅速な情報伝達を図ることが可能となった。
 - ・クーリングシェルター・涼みどころ指定申請にメールアドレスを記入してもらうことで、熱中症警戒アラート発表時等の情報をメールで即時に提供することができる体制を構築した。
- ※クーリングシェルターと涼みどころの「指定申請書」を同一化している。
- ※涼みどころとは、藤枝市独自に6月から9月までの間、熱中症警戒アラート発表に関係なく、市民に涼をとる空間を提供する施設で、内64か所（令和6年9月30日現在）

奈良県奈良市 独自の施設利用・イベント実施に対する対応指針

- 奈良市内2か所（奈良・針）の観測地点で、翌日のWBGT予測値「35」が出た場合、
 - ・ 周辺地域の学校・バンビーホーム（※1）・保育園・幼稚園・こども園における臨時休業等、
 - ・ 屋外の公共施設利用・屋外イベントの原則中止を決定
- さらに早い段階から現実的な対策を講じるため、上記2地点いずれかで14時時点に発表される翌日のWBGT予測値（最高値）が「31」「33」「35」に達した場合に、その周辺地域に対し以下の対応を行う。

WBGT31以上の熱中症予防方針（学校・バンビーホーム・保育園・幼稚園・こども園以外）

暑さ指数	危険度	公共施設		イベント	
		屋内（※3）	屋外	屋内	屋外
35以上	過去に例のない危険な暑さ	使用可能 （原則、外出しないように注意喚起）	使用中止 （原則）	暑さ対策が困難な場合、市主催は原則中止する。 市以外主催は中止を求める。（※2）	市主催は原則中止する。 市以外主催は中止を求める。
33以上	熱中症による健康被害のおそれ	使用可能 （原則、外出しないように注意喚起）	使用中止 （要請）	暑さ対策が困難な場合、市主催は原則中止する。 市以外主催は中止を求める。（※2）	暑さ対策が困難な場合、市主催は原則中止する。 市以外主催は中止を求める。（※2）
31以上	高齢者は安静状態でも熱中症発生のおそれ	使用可能 （注意喚起）	使用可能 （注意喚起）	主催者や参加者に対し注意喚起	主催者や参加者に対し注意喚起

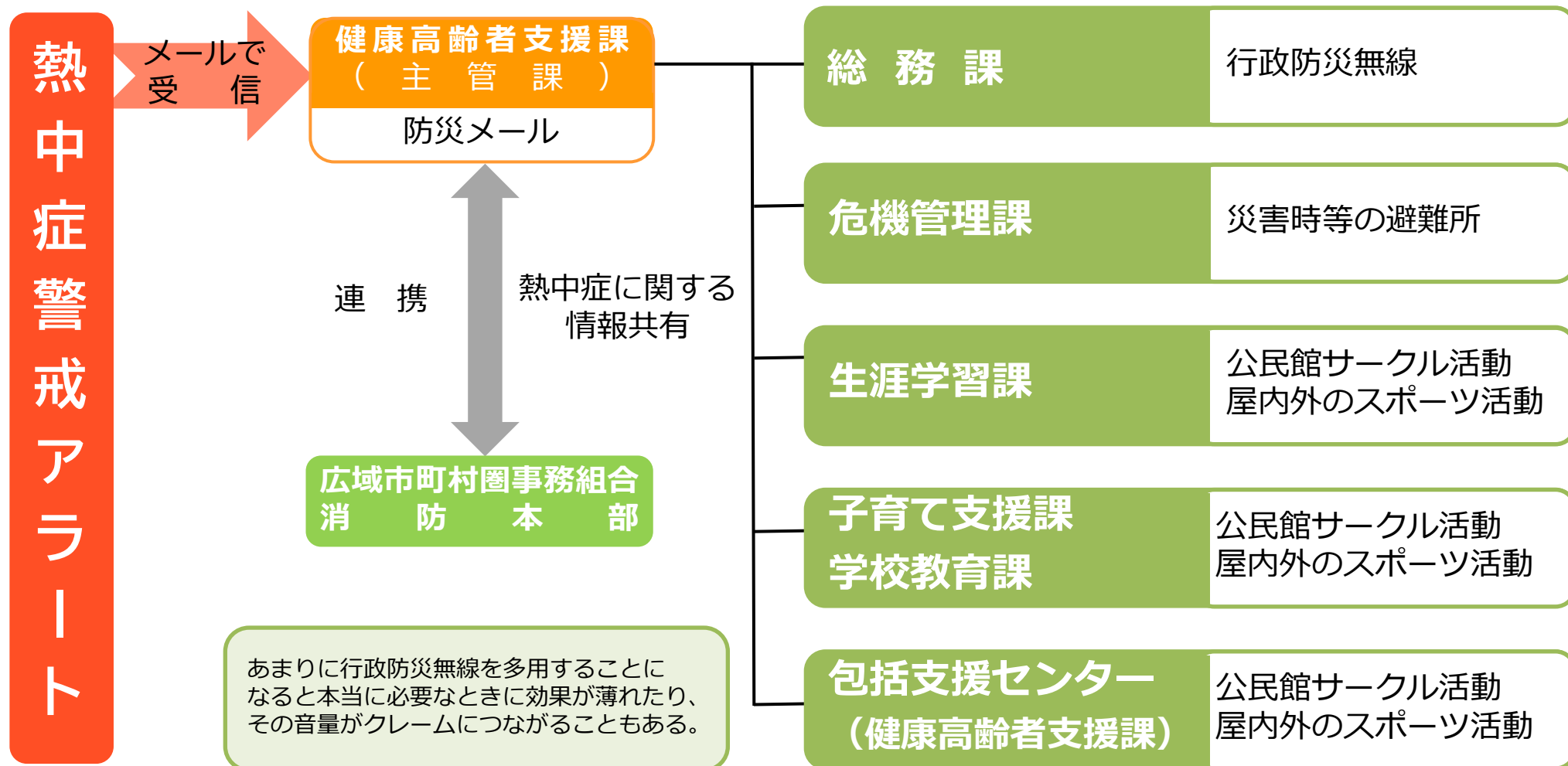
（※1）バンビーホーム：放課後児童クラブのこと。児童館はその機能上、バンビーホームと同様の対応とする。

（※2）開催する場合、市から熱中症予防の指導等を徹底し、必要に応じ説明を求める。

（※3）エアコン等の暑さ対策設備がない場合は、屋外施設と同様の対応とする。

千葉県いすみ市 行政防災無線の使用基準

- 熱中症警戒アラート発表時には「いすみ市防災メール」において広報・周知
- 熱中症特別警戒アラート発表時あるいは最高気温が38℃以上となる気象予報の場合に「行政防災無線」を活用した広報・周知を行うことで調整



神奈川県横須賀市 クーリングシェルターの開館延長

- **熱中症特別警戒アラート発表時**には、横須賀市が指定するクーリングシェルター19か所のうち下記の9か所について通常は17時閉館のところ**開館時間をそれぞれ延長**することに決定

施設名	所在地	開放時間	開放日	収容可能人数
追浜行政センター	横須賀市夏島町9	8時30分～ 21時	全館休館日以外	20人
田浦行政センター	横須賀市船越町6-77	8時30分～ 21時	全館休館日以外	12人
逸見行政センター	横須賀市東逸見町2-29	8時30分～ 21時	全館休館日以外	9人
衣笠行政センター	横須賀市公郷町2-11	8時30分～ 21時	全館休館日以外	20人
大津行政センター	横須賀市大津町3-34-40	8時30分～ 21時	全館休館日以外	27人
浦賀行政センター	横須賀市浦賀5-1-2	8時30分～ 21時	全館休館日以外	8人
久里浜行政センター	横須賀市久里浜6-14-2	8時30分～ 21時	全館休館日以外	24人
北下浦行政センター	横須賀市長沢2-7-7	8時30分～ 21時	全館休館日以外	15人
西行政センター	横須賀市長坂1-2-2	8時30分～ 21時	全館休館日以外	23人

※行政センターのしごとは、センターのある地域のいろいろな団体や組織に関わるしごとと戸籍・住民票等に関わるしごとに大きく分かれ、それぞれ「地域コミュニティ係」と「地域窓口サービス係」が分担してしごとを受け持っています。

横須賀市健康増進課 熱中症ホームページ https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3130/heat_stroke.html

■ 苦労した点

- ・ 熱中症特別警戒アラートについての説明
- ・ クーリングシェルターの理解

■ 工夫した点

- ・ 関係部課長を中心とした熱中症対策連絡会議の開催



CHAPTER

02

連絡体制

地域の熱中症リスク評価

熱中症予防行動の効果的な情報発信

熱中症要配慮者への見守り・声かけ

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

涼み処

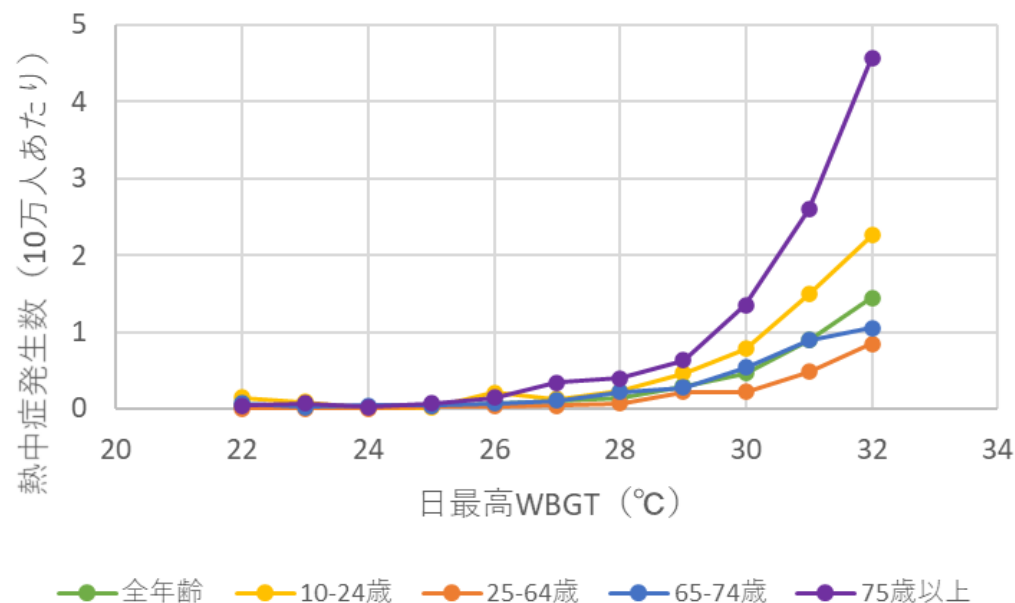
地域で活躍する団体や企業等との連携

さまざまな熱中症対策の取組事例

海外における熱中症対策の取組事例

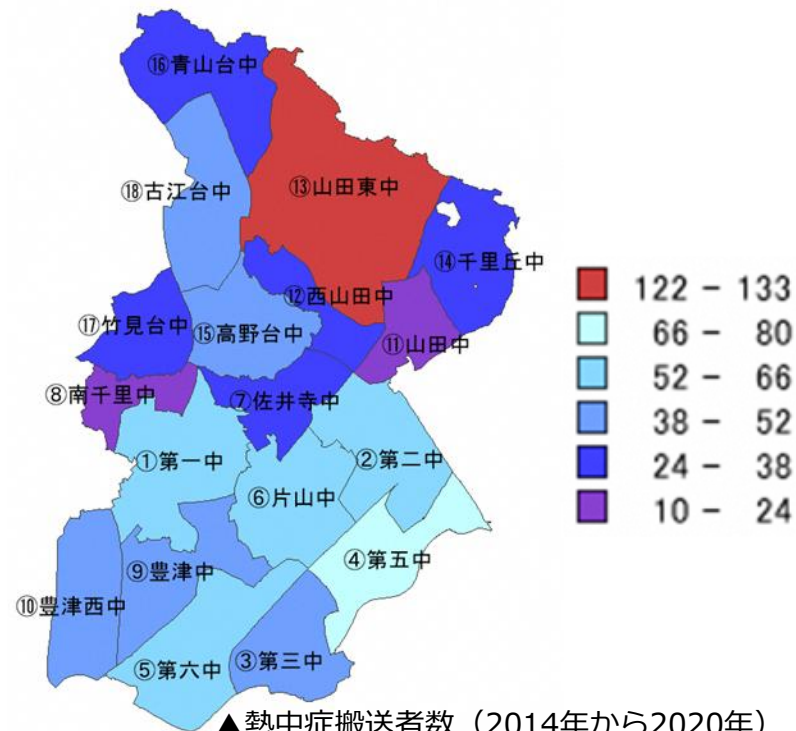
大阪府吹田市 熱中症救急搬送者数のデータを用いた中学校区別の分析

- 熱中症救急搬送者数のデータを用いて中学校区別の分析をし、熱中症の危険性が高い年齢層や場所を把握
- WBGTとの関係や地域分布を地図化するなど他のデータと組み合わせた分析を実施



▲年齢層別・日最高暑さ指数（WBGT）別の熱中症発生数

- ・ 日最高WBGT30を境に熱中症発生数が増加しているが、特に後期高齢者の発生数の増加が顕著になっている。次いで10-24歳の若年層が多くなっている（曜日別の分析では、若年層は著しく土日に多く発生している）



▲熱中症搬送者数（2014年から2020年）

- ・ スポーツ施設の多い万博記念公園が所在する、山田東中学校区の熱中症発生数が多い傾向

■工夫した点

- ・ 熱中症の救急搬送者数、地域関係機関のヒアリング結果をもとに高リスク対象を抽出するとともに、地域関係機関などから構成され、地域住民参加型の熱中症対策を協議するための会議体（プラットフォーム）について検討を行いました。
- ・ さらに、高リスク集団として抽出された学生、アスリート、高齢者に対する熱中症予防の行動化に向けた効果的な情報提示の方法をプラットフォームにおいて検討しました。プラットフォームにて議論をすることで、問題点を速やかに共有することができ、問題解決に効果的と考えられる対策の抽出にいち早く辿り着くことができました。

大阪府吹田市 WBGTの測定、気温の測定

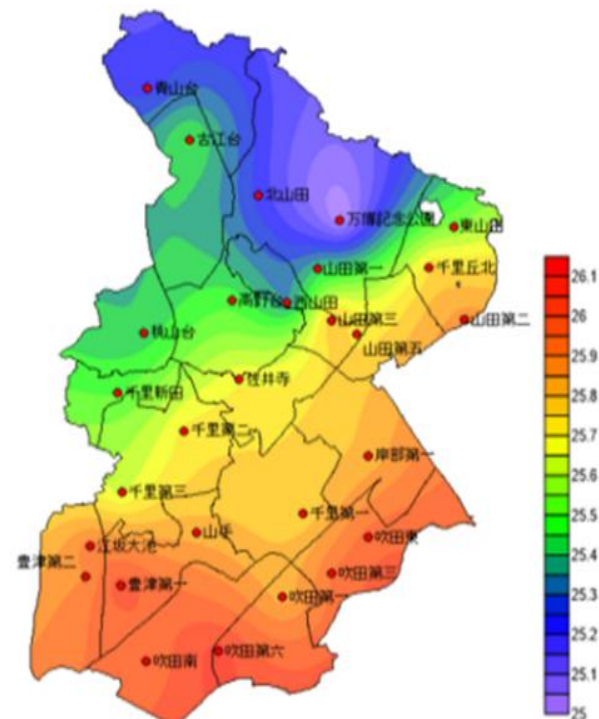
- 市内各所における気温等調査を実施し、**熱中症リスクの高い場所や時間帯**を把握
(市内の代表地点2か所でWBGTの測定及び市内36か所で温度の測定)



▲温度計（万博公園）



▲WBGT計（北消防署屋上）



▲解析データ〔例〕
2022年7月26日（5時）のWBGT分布

■ 苦労した点

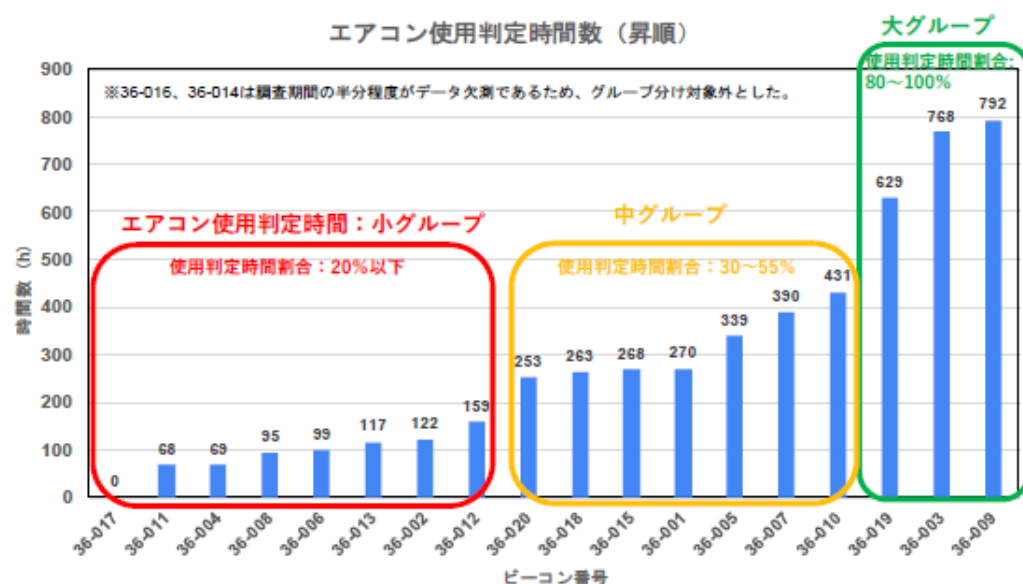
- ・ 温度調査については日照や雨などの影響で測定値が大きく変化するため、小学校の百葉箱を活用

■ 工夫した点

- ・ 小学校の百葉箱を活用するにあたって、小学校との調整
- ・ 百葉箱の場所や劣化状況の把握
- ・ 市内小学校等の30か所の百葉箱へ温度計の設置や回収、3か月に1回のデータ収集

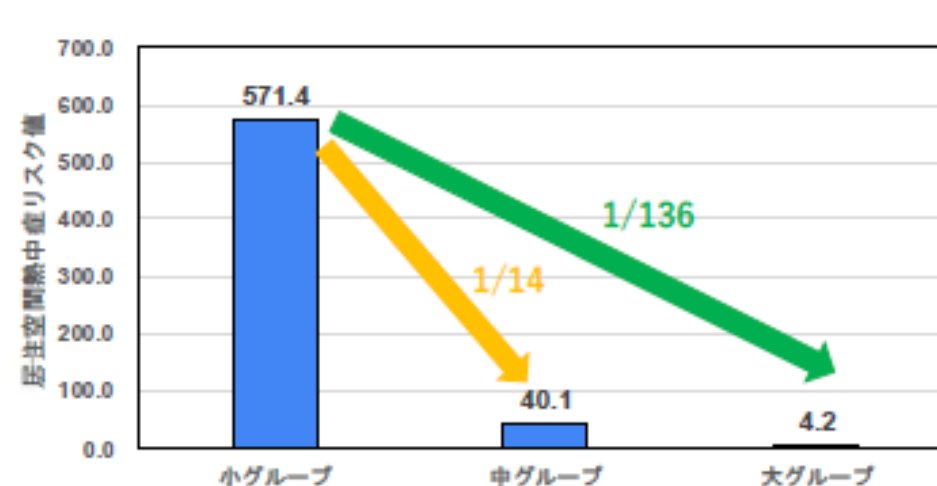
神奈川県川崎市

- 市内7区に分散させて高齢者の協力者を選定、7月末から9月上旬にかけて自宅で長時間滞在する場所に**小型気象センサー**を設置し、データは無線通信により逐次回収
- 20世帯分の1か月に及ぶ気温・湿度等の測定データと、市の大気・気象観測地点における同期間の気温等のデータをグラフにプロットし、エアコンの使用実態等を検証



調査期間総時間数：33日間×24時間＝792時間

▲エアコン使用判定時間数（昇順）



▲平均室温30℃台以上の時間数のグラフ

- ・最もエアコンの使用時間が少ない「小グループ」のリスクが著しく高い。居住空間の熱中症リスクに大きな影響を与える要素として、①エアコンの使用頻度、②窓・扉の開閉等の換気頻度、③建物構造（戸建て、集合住宅）があることがわかった。

■苦労した点

- ・データ解析に当たり、約600日（20世帯分の1か月）分の室温データと外気温データを比較し、外気温に対して室温が連動していないデータを目視で調べ、エアコンの使用判定を行ったことに苦労した。

■工夫した点

- ・エアコンの使用判定を行うことで、20世帯分のデータを対象に、エアコンの使用時間に応じたおおまかなグループ分けを行い、そのグループごとにおける室内での暑熱環境について解析を行うことができた。

群馬県上野村 「熱中症スクリーニングシート」による評価リスクに応じた対策

- 人的要因と環境要因を組み合わせた「**熱中症スクリーニングシート**」を作成し、上野村の高齢者各個人の熱中症リスクについて**スクリーニング評価**を行った。

＜熱中症スクリーニングシートの内容＞

人的要因：医療系専門職による監修

- ・「熱中症警戒アラートに対する受け止め」・「年齢」・「虚弱度」
- ・「簡易認知機能テストの結果」・「水分の補給方法」等

環境要因：総務部局関係者による監修

- ・「日照時間」、「エアコン設置状況」等

対 象 者：上野村のすべての65歳以上の高齢者（約500名）

調査方法：社会福祉協議会職員が高齢者宅でヒアリングを行い、結果をシートに記入（訪問面接調査法）

● 評価の結果

「**認知症高齢者の日常生活自立度**」を参考に医療系専門職の監修のもと熱中症リスクをハイ、ミドル、ローの3段階で評価

- ・合計点数（16点満点）の上位33名をハイリスク
⇒**ハイリスクアプローチ**を展開

- ・9点以上をミドルリスク、8点以下をローリスクと分類
⇒**ポピュレーションアプローチ**を展開

- 特定された**リスクに応じた対策**を講じる

～熱中症リスク スクリーニングシート～

対象者氏名：_____

○家族構成

・それ以外…0点

・高齢夫婦世帯…1点

・高齢独居世帯…2点

点

○上野村（自宅）に住んでいて熱中症になると思うか？

・思う…0点

・どちらとも言えない…1点

・思わない…2点

点

○夏の日照時間（自宅）※対象者の主観で判断

・短い…0点

・どちらとも言えない…1点

・長い…2点

点

○エアコンの使用

・よく使う…0点

・どちらとも言えない…1点

・使わない…2点

点

○水分の補給方法（方法を聞く）

・意図的に行っている…0点

・どちらとも言えない…1点

・行っていない…2点

点

○指輪っかテスト

・つかめない…0点

・適度につかめる…1点

・ゆるい…2点

点

○キツネ模倣テスト

・早くて正確…0点

・どちらとも言えない…1点

・できない…2点

点

○生年月日と現在の年齢

・早くて正確…0点

・片方正解…1点

・両方正解…2点

点

実施日 令和3年 月 日

<memo>

▲熱中症スクリーニングシート

令和3年度モデル事業

群馬県上野村 「熱中症スクリーニングシート」による評価とリスクに応じた対策

ハイリスクアプローチ (ハイリスク者への対応)

●ピンポイント支援の実施

<条件>

- ・「群馬県に熱中症警戒アラートの発表」
- ・「最寄りのアメダス（神流観測所）のWBGTが30超え」

●1回の支援時間は10分以内

- ・危険な暑さになっていることを伝える
(スマホで熱中症予防情報サイトを見せる)
- ・外出自粛の指導
- ・室内を冷やす（窓を開ける等）
- ・水分補給

●平日は訪問、休日は電話対応

※電話不通の場合は訪問支援に切り替える

●支援後は、ICTツールを使用して情報共有



ポピュレーションアプローチ (ミドルリスク者、ローリスク者への対応)

●筋力トレーニング

- ・職員の訪問もしくは利用者に通所してもらい提供
作業療法士、看護師が対応
- ・保水力の向上を目的とした筋力トレーニング情報を、
7分の番組として作成し、地元ケーブルテレビ（村内放送）で1日3回配信
訪問による運動指導を実施

●高齢者の特性を活かした広報、普及啓発活動

- ・挿絵や図、方言を多用したチラシを作成、
訪問して説明しながら配布



▲運動指導



▲チラシ

コラム

ハイリスクアプローチ と ポピュレーションアプローチ

●ハイリスクアプローチ

健康リスクの高い人を対象とする

健康リスクが高いとされる、右側の“山の一部を削る”ような取組み。

〔高血圧対策での例〕

健診で高血圧と判定された人に、医療機関での血圧管理（降圧剤での治療）が受けられるように支援したり、個別もしくは集団での栄養指導や生活指導を行う

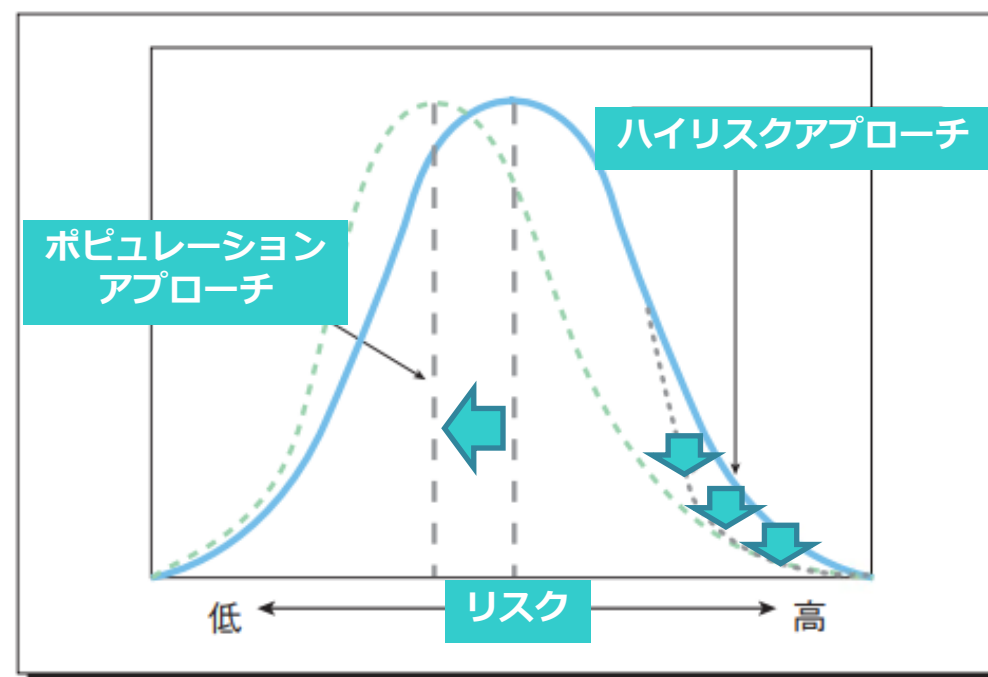
●ポピュレーションアプローチ

集団全体を対象とする

山全体をリスクの低いほうへ移動させることを目的とし、いわゆる“山を動かす”取組み。

〔高血圧対策での例〕

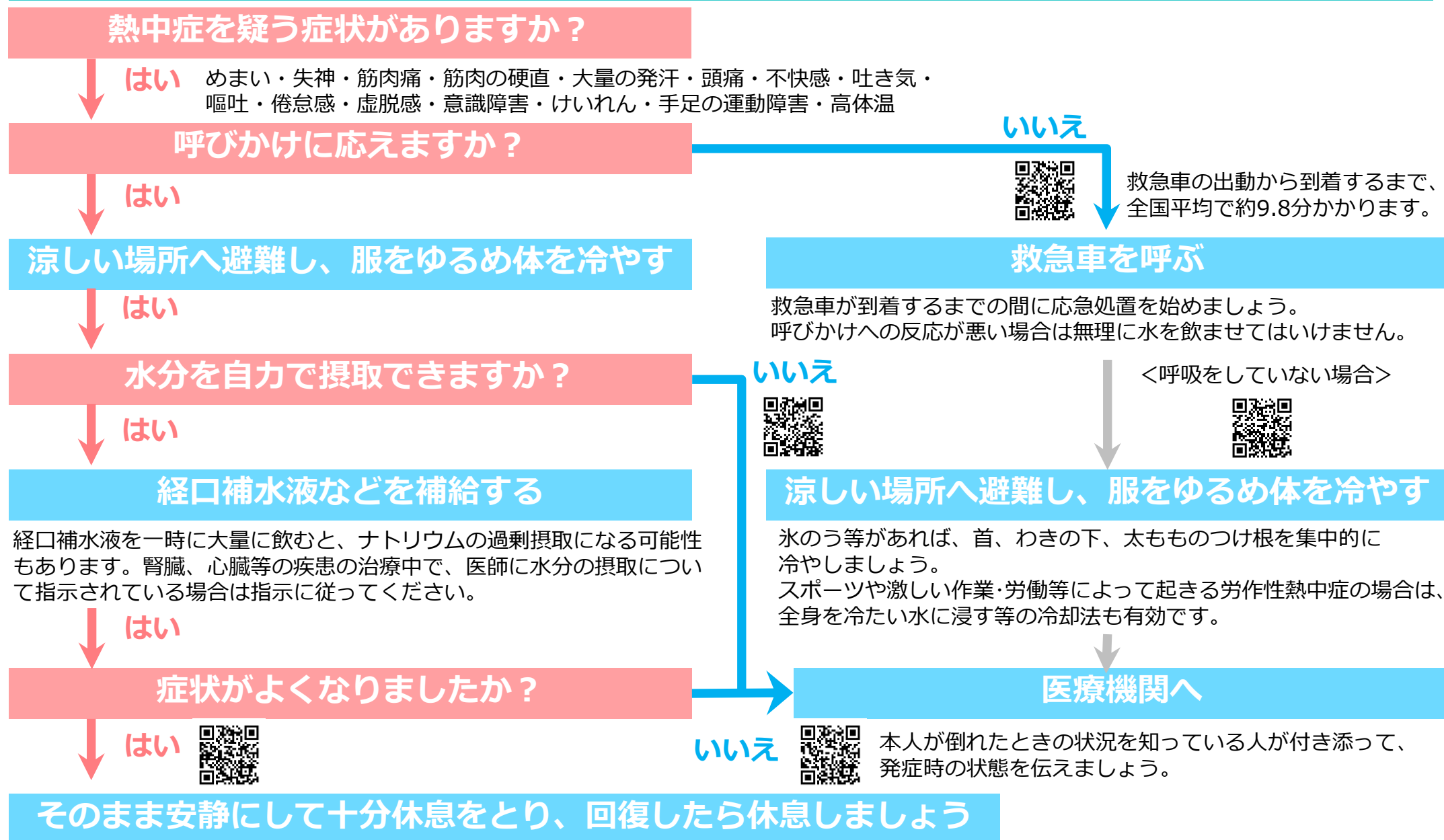
地域等の集団全体で減塩に取り組めるよう支援すること等



公益社団法人日本看護協会「わかる、できる 保健師のためのポピュレーションアプローチ必携」(平成30年3月)
p.8より抜粋、一部改変

コラム

熱中症の応急処置フロー



救急隊に伝える情報

<119番で聞かれる内容>

- ☐ 住所
- ☐ 状況（意識・呼吸の有無、年齢、性別など）
- ☐ 通報者の情報（氏名、連絡先）

<救急隊／病院が知りたい主な情報>

- ☐ 発生状況（いつ／どこで／何を／どうなった／行った処置）
- ☐ 既往歴／アレルギー
- ☐ 内服薬／かかりつけの病院
- ☐ 家族への連絡
- ☐ 氏名／生年月日
- ☐ 身長／体重
- ☐ その他（症状・状況による）

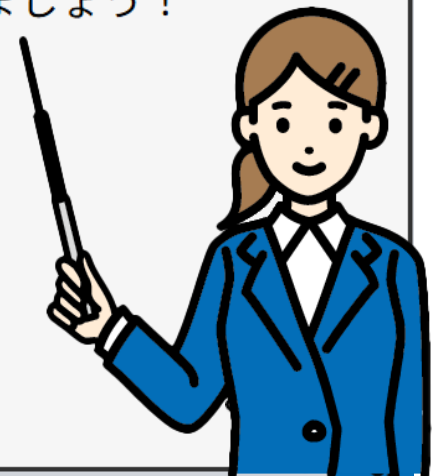
対応時には「いつ・何を」を記録しましょう！

【記録例】

14:07 発見

14:14 119番通報

14:18 衣服緩め



熱中症のリスク評価に関する事例

- 熱中症のリスク評価に関する方法はさまざまで、代表的な例としては以下のようなものがある。

① 熱中症救急搬送者数と、気温もしくはWBGTとの関係

＜分析の視点[例]＞

- ・ 区別（政令市の場合）、中学校区別、大字（おおあざ）別
- ・ 年齢階級別
- ・ 男女別
- ・ 曜日別
- ・ 時刻別・時間帯別
- ・ 活動別
- ・ 発生場所別
- ・ 傷病程度別
- ・ 既往症の有無
- ・ 月別の最高気温、平均気温
- ・ 日別の最高気温、平均気温
- ・ 搬送時の気温
- ・ 経年推移

② 熱中症要配慮者に対する“個人ごと”のリスク評価

＜どのような人が（熱中症に）なりやすいか＞

- ・ 脱水状態にある人
- ・ 高齢者、乳幼児
- ・ からだに障害のある人
- ・ 肥満の人
- ・ 過度の衣服を着ている人
- ・ 普段から運動をしていない人
- ・ 暑さに慣れていない人
- ・ 病気の人、体調の悪い人

③ 住民へのアンケート

- ①や②で得られたデータと、住民の意識・感覚と乖離がないか、といった活用ができる。



CHAPTER

03

連絡体制

地域の熱中症リスク評価

熱中症予防行動の効果的な情報発信

熱中症要配慮者への見守り・声かけ

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

涼み処

地域で活躍する団体や企業等との連携

さまざまな熱中症対策の取組事例

海外における熱中症対策の取組事例

福島県楡葉町 環境イベント「サステなmeeting」の開催

- 地球温暖化、熱中症と脳の健康について、「見て」「聞いて」「味わう」みんなが楽しめる環境イベント

<当日イベントの詳細>

13:00～ ステージ

- ならはっ子による「エコたい肥を利用した夏野菜栽培の活動発表」
- 熱中症と脳年齢の関係が解き明かされる「トークセッション」

トークセッション▶

- ならはっ子、職員による「SDGs劇場」

15:00～ ホワイエ

- ならはっ子×食生活推進委員会
「エコたい肥野菜の熱中症予防メニュー」のふるまい
- 簡単！表情の変化を読み取って「脳の健康状態測定」
- 手回し発電で走らせよう！「鉄道模型コーナー」
- 指を挟むだけ「自律神経活性度・バランス・ストレス度チェック」
- 地元農家さんによる「新鮮野菜販売」、おからを使ったエコな「お菓子とお茶の販売」

■工夫した点

- ・毎年環境イベントを開催しており、今年は熱中症対策をテーマにした。
脳科学の専門家と理学療法士を招き、それぞれの観点からディスカッションをしていただいた。



3rd サステなmeeting
7月6日(土) 12:30 開場
@楡葉町コミュニティセンター

～熱中症に負けないカラダ～

【ステージ】13:00～

- ならはっ子によるSDGs活動発表
給食から出た生ごみを使ったエコ堆肥で野菜を育てるプロジェクト！
- 熱中症から身を守れ！
熱中症と脳の年齢や健康状態との関係が明らかに？！
熱中症から身を守る術を学ぼう！
- Dr. ヨコタの地球温暖化講座
地球温暖化の原因は何か、それがどのような影響を及ぼすのか、Dr. ヨコタが徹底解説！
- SDGs劇場
ならはっ子からは「教育」、そして町職員からは「熱中症」をテーマとした寸劇をお送りします！

ステージ終了後

- 【ふるまい】
＜食改・ならはっ子＞
エコ堆肥野菜のひんやりメニュー
- 【出店】
＜楡葉町の農家さん＞
野菜販売
＜ふたばの里＞
おからの菓子とお茶
- 【体験コーナー】
＜ブレインインパクト＞
脳の健康状態測定
あなたの表情の変化を読み取り脳の健康状態を計測！
＜明治安田生命＞
ベジチェック
あなたの野菜摂取量を測定！
＜Panasonic＞
手回し発電機で
鉄道模型を走らせよう

楡葉町くらし安全対策課 TEL: 0240-23-6109

▲チラシ

埼玉県熊谷市 わたしのあつさたいさくコンテスト

●小学生向けの訴求・関心づくりのイベントとしてスタート

(株)伊藤園、アズ熊谷(駅ビル)、商店街や熊谷駅と連携してさまざまな層へ周知を図る。

第2回からは全国へも本格的に展開

熊谷市在住の小学生対象

第2回 わたしのあつさたいさくコンテスト

しつぷり/2023年7月24日(月)

伊藤園賞 (各部門1名) 伊藤園の健康ミネラルむぎ茶を1年分プレゼント!	熊谷市賞 (各部門1名) やわらか ノーサイド たまご	熊谷市賞 (各部門1名) ノーサイド たまご
ご応募いただいた中から抽選で30名様にnikoのウェッキーBOXをプレゼント!	サツマイモ収穫機	熊谷市賞 ベアチケット

※応募資格は熊谷市在住の小学生(市外の方は全国版にご応募いただけます。)

応募できる人 熊谷市在住の小学生 (市外の方は全国版にご応募いただけます。)

応募部門 低学年の部 (1・2・3年生) 高学年の部 (4・5・6年生)

決まり事 詳しくは、応募フォーム内の応募規約をご確認ください。

応募用紙 応募フォームからダウンロード可能です。

応募方法 下記の手順でご応募ください。

- 1 アイデアを考えよう
あなたの考えたあつさたいさくのアイデアを応募用紙に「文字」「イラスト」で書いておくれ。
- 2 裏面の応募シート全体を撮影
ポイント1 応募シート全体が写るように、写真の中心に、応募シートを入れて撮影しよう。
ポイント2 写真の中心に、応募シートを入れて撮影しよう。
- 3 応募フォーム
応募事項を写真のとおりにご入力ください。

【主催・実行委員会】 一般社団法人星川エリアマネジメント (メール) info@kumagaya-hoshiikawa.com



小学生に意識をもってもらうことで、本人やその友達はもちろん、両親、祖父母まで含めた啓発を視野に入れることができる。祖父母は「孫の言うことなら聞く」との声も。

広島県府中市 小学生による発表大会

- **小学生による発表大会**では、手書きのはがきと塩タブレットを一緒にして配布し、孫世代による地域密着型の情報発信を実施
- **老人大学**（高齢者が自らの生きがいを求めて学習することにより充実した生活を送るとともに、地域のリーダーとして積極的に社会参加をしていくことを目指す）において、生活習慣病の予防も意識した、高齢者でも無理なく取り組める地元のエクササイズを紹介
“座学”ばかりでなく参加者全員で身体を一緒に動かす時間も設けている。



▲小学生による発表大会



▲手書きのはがきと塩タブレット



▲老人大学での普及啓発講座の様子

■工夫した点

- ・「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両輪で取組みを進める**コミュニティスクール**の一環として、小学生が熱中症を学び(大塚製薬(株)が講師として協力)、自らが対策を考えて発表する場として、市内4小学校で地域の高齢者や保護者を招いた発表大会を実施し、熱中症対策の必要性を発信した。

兵庫県神戸市 日傘の体験型イベント

- 普段日傘を利用したことがない市民を対象に、イベントにブース等を出展し、**日傘の体験型イベント**を実施
アンケートやヒアリングを行い、今後の日傘の普及に向けた検討も実施
- 熱中症だけでなく環境問題に対する意識を高める啓発も実施



日傘

- ・ 軽量の日傘、ファンつき日傘、遮熱効果の高い日傘、熱の放射性が高い日傘などの体験



工夫した点

- ・ 日傘体験イベントの実施は、神戸市内の農産物・加工品等を販売する地産地消のイベント「EAT LOCAL KOBEファーマーズマーケット」と開催日・場所を合わせ、集客を図った。
また、日傘に関するアンケートに回答いただいた方には、ファーマーズマーケットで買い物できるチケットを先着順で配布し、アンケート回答者を増やした。日傘体験イベントとファーマーズマーケット開催を連携させることで、情報発信力も高まり、相乗効果があった。

長崎県 気候変動適応セミナー（～高齢者の熱中症予防のための「暑さ対策セミナー」～）

- 長崎県気候変動適応センターが、主に高齢者に関わる方（介護福祉関係を対象に、気候変動と熱中症の関係、県内の発生状況、熱中症の予防と対策方法についてセミナーを開催

長崎県気候変動適応セミナー

～高齢者の熱中症予防のための「暑さ対策セミナー」～

13:00 主催者代表あいさつ
長崎県気候変動適応センター長 **本多 雅幸**

13:05 気候変動と私たちの暮らしへの影響
国立環境研究所 気候変動適応センター
気候変動影響観測研究室長 **岡 和孝氏**

13:25 長崎県の熱中症発生状況と地域の特徴
長崎県気候変動適応センター

13:40 熱中症の予防と対策
大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部
九州第一支店 長崎出張所 課長補佐 **森岡 剛氏**

日時 令和6年 7月11日(木) 13:00～14:20

会場 Web開催(Webex)
サテライト会場(県庁3階 317会議室)
※サテライト会場は先着18人までご参加いただけます。
申込時にサテライト会場での参加を希望してください。
サテライト会場はモニターでの視聴となります。

対象 高齢者に関わる方(どなたでも参加できます)

参加費 無料

申込方法
下記アドレス又は右のQRコードから申込みページへアクセス。必要事項を入力後、URLを返信しますので、当日12:30以降にご利用ください。
https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=4718



セミナーに関するお問合せ

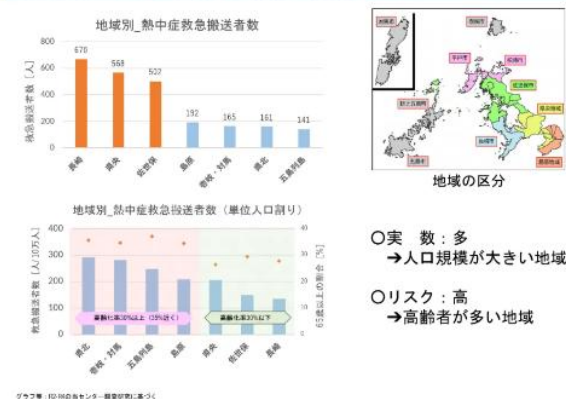
長崎県気候変動適応センター TEL 0957-48-7560 (担当/企画・環境科 前田・船越)
(長崎県環境保健研究センター内) メールアドレス nagasaki-iccac@pref.nagasaki.lg.jp

主催：長崎県

▲チラシ

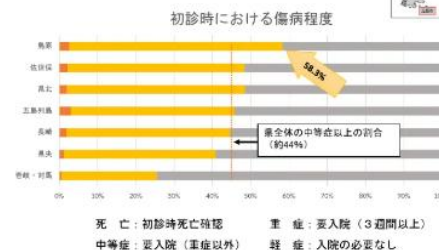
令和6年度ヒアリング

地域別の熱中症救急搬送者数



傷病程度からみた地域の特徴①

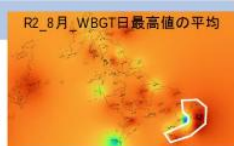
○島原地域では入院(中等症以上)となるケースが多く特に注意が必要※
※R2-R4のデータです。



グラフ等 R2-R4の当センター調査研究に基づき

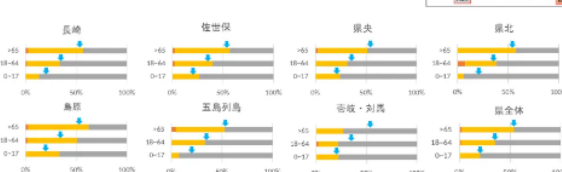
県内の暑さの特徴

○島原地域(島原市、南島原市)が特に暑い!
○杵岐・対馬・雲仙岳は比較的涼しい傾向



傷病程度からみた地域の特徴②

○65歳以上で見ると、半数以上が中等症(要入院)以上!
※杵岐・対馬除く

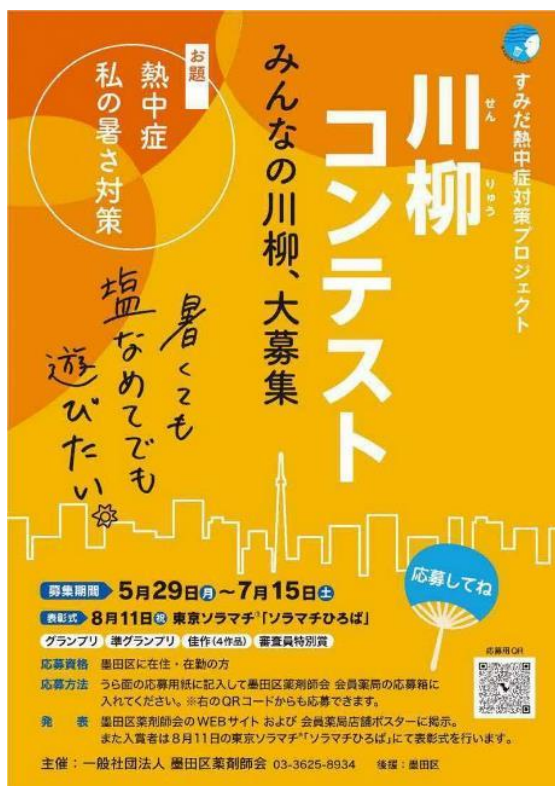


グラフ等 R2-R4の当センター調査研究に基づき

- ・都市部など人口の多いところでは、熱中症による救急搬送者数の実数は多いものの高齢者の多いところの割合が高いということを改めてセミナーで参加者に向けて発表。
- ・特に島原地域が暑く、またデータにも特徴があることから、この地域にて重点的に講演・研修を開催。普及・啓発資料も作成、配布した。

東京都墨田区 川柳コンテスト

- 区内在住・在勤者を対象に「熱中症 私の暑さ対策」をお題とした川柳を募集（楽しみながら熱中症対策を考える）
- 大人の部、小学生以下の2部門募集、それぞれで表彰作品を選定



▲チラシ

- ・ 墨田区薬剤師会会員薬局に設置されている応募箱、専用webページから応募
- ・ 区内小学校にも周知依頼
- ・ 応募総数 749件
- ・ 地元の大手消費財化学メーカーである花王からの寄付・協力の申し出があり、想定以上の事業実施に結びつく



▲川柳コンテスト入賞作品

鳥取県鳥取市 介護予防運動教室、健康教育を通じた普及・啓発

- **介護予防運動教室、健康教育の場**で熱中症予防について注意喚起
参加者に直接的な啓発を行うことで、参加者自ら熱中症予防の大切さに気付いてもらい、日々の生活に予防行動を取り入れてもらう。

熱中症を予防しましょう！

- 暑さを避ける
こまめに休憩を取り、帽子や日傘、風通しの良い服装で熱や日差しから守りましょう
- 室内を涼しくする
冷房や除湿機・扇風機などを適度に利用。風通しを良くしたり、日差しを遮る工夫をしましょう
- こまめに水分をとる
のどが渇く前に水分を取りましょう
大量の汗をかいたときは、スポーツドリンクや塩分、塩分も一緒に補給しましょう
- 丈夫な身体をつくる
バランスの良い食事や、しっかりとした睡眠をとりましょう
- 天気予報・熱中症警報に気を付ける
地域で声をかけあって皆で熱中症を防ぎましょう！
気温や湿度が高い日、雨が強い日は、十分な熱中症対策を取りましょう

体調がわるいときは無理をしない！

- こんなときは熱中症になりやすいので、無理をしないようにしましょう。
◆食事が十分とれていないとき
◆寝不足のとき、二日酔いのとき
◆風邪気味など体調がすぐれないとき

クールシェルターをご利用ください！

外出時に暑さで疲れを感じたら、「クールシェルター」でひと休みしましょう

御協力いただいている民間施設や一部の公共施設を暑さを避ける一時休憩所として開放しています。年配の方、小さなお子さん連れの人など、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

このステッカーが自印です！

情報を活用して危険な暑さを避けましょう！

鳥取県 熱中症予防情報サイト
QRコード
熱中症警戒アラート発表時に登録者に情報が配信されます。

鳥取県 あんしんトリビュートメール
QRコード
熱中症警戒アラートなどの発令時に登録者に情報が配信されます。

熱中症に特に注意が必要な人

○高齢者
年齢を重ねると体温調節能力が低下するため、暑さに対する体の調節機能が低下するため、自覚症状がなくても熱中症になる危険があります。のどが渇かなくても水分補給をしましょう。上手に室内温度を調整することも大切です。

○幼児
体温調節機能が十分発達していない上、身長が低い（地面に近い）ので大人が感じる以上に暑い環境にいます。夏の車内はすぐに高温になり非常に危険です。わずかな時間でも車内に残したままにしないようにしましょう。

家族やお友達など、身近にいる人の様子や体調にも配慮、注意をしましょう。

【お問い合わせ】
・鳥取市保健所保健総務課（企画課連携）0857-30-8521
・鳥取東保健センター（国庫）0857-30-8659
・各総合支所市民福祉課
（福部）0857-30-8664（国庫）0858-71-1724（用賀）0858-71-1894
（佐治）0858-71-1914（気高）0857-30-8674（直野）0857-30-8684
（西谷）0857-30-8694
※国庫のお問い合わせは鳥取東保健センターです。

こんな日は熱中症に注意

気温が高い 湿度が高い 風が弱い 急に熱くなった 熱帯夜の翌日

熱中症の症状と重症度

重症度	症状	対応
軽症	・めまい ・立ちくらみ ・筋肉痛 ・大量の発汗	●涼しい場所で安静に ●衣服をゆるめ、体を冷やす。 ●水分や塩分を補給する。 ●自力で水分補給ができないときは、速く病院へ！
中等症	・頭痛 ・吐き気・おう吐 ・体のだるさ ・虚脱感	●すぐに救急車（119番）を呼ぶ。 ●救急車の到着までに応急処置（涼しい場所へ避難し、服をゆるめ、水のう等で首や脇の下、足の付け根を冷やす）をしましょう。
重症	・意識がない ・けいれん ・真っすぐ歩けない ・呼びかけへの返答がおかしい	

2023年6月作成
鳥取市保健所

▲鳥取市で配布しているチラシ

健康教育の様子▶



高知県 高知県立大学による「熱中症予防教室」

- 高知県は全国と比較して熱中症による救急車での病院搬送数は多く、その半数は65歳以上の高齢者であることから、高齢者への熱中症発生対策は喫緊の課題であった。
そこで、**看護学部・社会福祉学部・健康栄養学部の教員、健康長寿研究センター職員からなる“熱中症予防教育チーム”**を立ち上げ、教職協働で教育内容や教室開催プログラムを検討し、高齢者の集いの場に出向き啓発活動を行う事で、日々の暮らしの中に「熱中症予防行動」が根付くことを目的とした。
- 熱中症予防教室には、3学部の学生も参加し、教室の運営や体操デモンストレーションをサポートした。熱中症予防教室が若者と高齢者との世代間交流の場となり、参加している高齢者にとっては大学生から活力を得ることができ、大学生にとっては将来対人関係の専門職となるための実践力を身に付ける場となった。
- 令和5～6年の2年間で、宅老事業宅老所5か所、高齢者サロン2か所、老人会2か所、福祉施設1か所、社会福祉協議会1か所、公民館2か所の計13か所にて開催し、合計302名の参加があった。
高知市内やその近隣の地域だけでなく、高知県中央部から離れた中山間および沿岸部でも開催した。
- 教室の開催と同時に、参加した高齢者に対し普段の熱中症予防行動についての実態調査（※1）も行った。
調査結果について地域包括支援センターと共有し、教室に参加していない高齢者に対する熱中症予防の啓発にも役立てられている。

（※1）「非都市部在住高齢者の熱中症予防行動の実施状況」、四国公衆衛生学会誌、69巻1号、121-128、2024.

高知県 高知県立大学による「熱中症予防教室」



▲熱中症予防カレンダー説明の様子



▲学生による熱中症クイズの様子▲



■参加者の声

- ・「熱中症にならないための知識を分かりやすく教えていただき、県立大の皆様の思いが嬉しかったです、感謝」
- ・「とても分かりやすく、楽しい説明でした」…といった、**楽しく学べた**という感想だけでなく、
- ・「温度計をかまえて部屋の温度を気にかけたい」
- ・「保冷剤を買います、水を入れたペットボトルを持ち歩きます」
…など、**熱中症予防に向け、自己が取り組む課題**もあげられた。
- ・「今日は暑いから外出は控えようね」と住民同士で声かけを行うなど、**地域全体で熱中症対策に対する意識が高まっていた。**

▼参加者の様子



参加者全員に
カレンダーを
配布し、説明した



■工夫した点

- ・既存の集いの場を活用し、高齢の参加者の集中力や疲労を考慮し、講義時間は30分と短めに設定した。
- ・講義の間に熱中症に関するクイズを取り入れ、楽しみながら学べるようにした。
さらに、日頃取組んでいることなどを紹介いただく時間を取り入れ、参加者同士お互いが学びあい意欲を高める場となるようにした。
- ・自宅でも継続して熱中症予防行動をとることができるように、居室や冷蔵庫など、高齢者が毎日目にする場所に掲示できる「熱中症予防カレンダー」を作成し、参加者に配布した。
- ・カレンダー仕様にすることで、居室や冷蔵庫など、高齢者が毎日目にする場所に掲示することを可能にした。

高知県 高知県立大学による「熱中症予防カレンダー」

- 「熱中症予防教室」での配布だけでなく、ホームページでのダウンロードにも対応
<https://www.u-kochi.ac.jp/site/wlrc/0033440.html>
- 令和6年度は、高知県立大学だけでなく、高知学園大学・高知学園短期大学の教員も研究協力・参画

令和5年度 熱中症予防カレンダー



令和6年度に大幅リニューアル

令和6年度



毎月、日々の暮らしの中で活かせる**ちょっとした工夫**を掲載しています



熱中症予防教室に参加した高齢者は自宅でカレンダーをめくり眺めながら、熱中症予防教室で学んだことを再確認するとともに、集いの場の仲間との学び合いを思い出すことでこれからの日々の予防行動の動機づけにつながっていると考える。

■改善点

- ・ 令和5年度のカレンダーは3か月分を1枚に掲載していたが、令和6年度は1か月毎とし、自身の予定などを書き込みできる欄を追加した。

この変更により、カレンダーにはスケジュールはもちろんのこと、年間目標や、日々の体調などを書き込み、日常的に活用できるようにした。

- ・ 使用する高齢者が飽きないように料理写真や文字を大きくし、見やすいレイアウトを意識した。

■工夫した点

- ・ 熱中症予防の意識を高めるために、カレンダーのページ構成は7月はじまり、翌年6月終わりとした。
- ・ 夏以外も熱中症に注意が必要なため、**冬の熱中症対策ポイント**も掲載した。
- ・ 毎月、熱中症予防に関するコラムや、季節に応じた暮らしの豆知識を掲載して、無理なく続けられる体調管理を提案した。
- ・ 毎月の料理レシピ（健康栄養学部の教員が考案）は、高知県産食材を簡便な調理法でかつ美味しく食べられるレシピとした。また、高齢者における筋肉量の減少と脱水症との関連に着目し、筋肉量維持に向けたタンパク質摂取と運動の重要性についての説明を加えた。
- ・ 異なる専門分野（看護・栄養・福祉）を持つ教員らによりカレンダーに掲載する専門的知識を厳選し、一般市民が興味・関心が持てる表現にした。

埼玉県熊谷市 自動販売機でのデジタルサイネージ

- 伊藤園と連携し、自動販売機に**デジタルサイネージ**を組み込み、**高齢者の利用が見込まれる施設や多くのひとが行きかう場所に設置**する。

デジタルサイネージでは、熱中症予防に関する動画や画像を放映、暑さ対策の取組紹介や情報発信、クーリングシェルトアの告知など**暑さ対策の案内**を積極的に行う。

	上部設置型	中腹設置型	サイネージ型
設置期間	令和5年6月1日（木）～9月30日（土）		令和5年8月1日（火）～継続
設置台数	4台	5台	1台
設置場所	・有限会社横山酒店前 ・元気玉前 ・熊谷駅東口階段下 ・熊谷駅南口第一駐車場	・八木橋百貨店地下入口 ・中央公園 ・伊勢町ふれあい公園 ・荒川公園 ・タイムズ熊谷星川	・熊谷駅連絡通路
写 真	 ▲有限会社横山酒店前	 ▲タイムズ熊谷星川	 ▲熊谷駅連絡通路(2階)

岐阜県多治見市 ケーブルテレビ・コミュニティラジオの活用

- インターネットサイト閲覧に結びつきにくい高齢者にも情報を届けるべく、**地域ケーブルテレビ**及び**コミュニティラジオ**と連携、熱中症対策に取り組む店舗を訪問する番組等を制作し夏季に放送

▼ケーブルテレビ① 高校生の暑さ対策（放送日：8/6～12）



▼ケーブルテレビ② まちなかの暑さ対策（放送日：8/13～19）



▼ケーブルテレビ③ みんなの暑さ対（放送日：8/27, 28, 9/10）



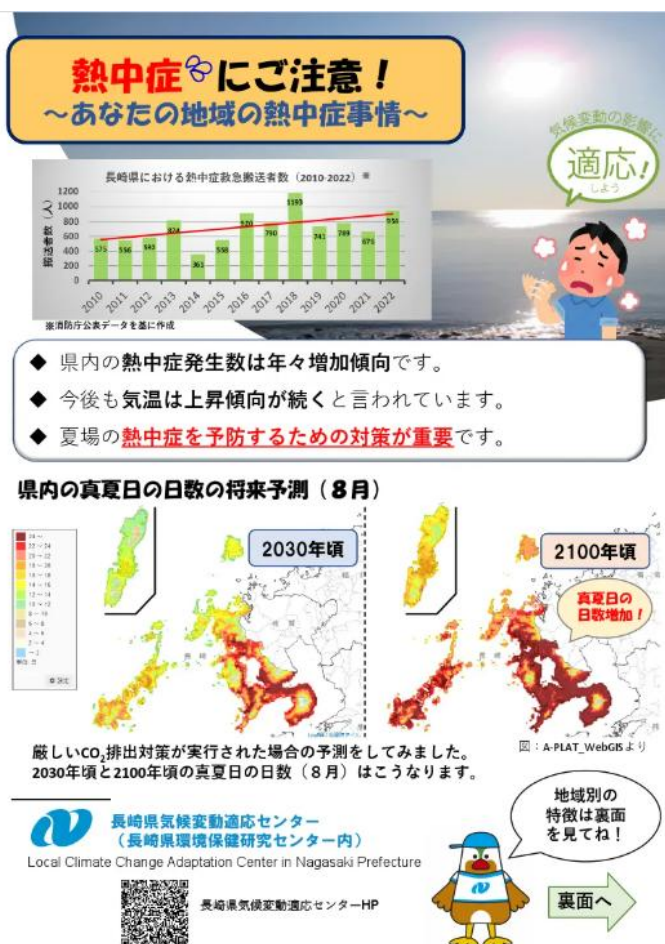
コミュニティラジオ

- ・ 7月中旬以降、毎週木曜日12：40～12：50
- ・ イベント告知、ケーブルテレビ参加者を招いた取組紹介など、高校生を招いて番組を制作している様子



- **長崎県環境保健研究センター**が、令和2～4年にかけて県内を7地域（**長崎、佐世保、県央、県北、壱岐・対馬、五島列島、島原**）に分けて地域ごとに分析を実施し、その結果について普及啓発資料として作成・公表
- 特にリスクが高いとされた**島原地区**については別途**詳細版**を作成・公表
- 島原地域の高齢者を対象とした出前講座や主催又は出展イベントで配布、県民に対する普及・啓発に活用

(表面)

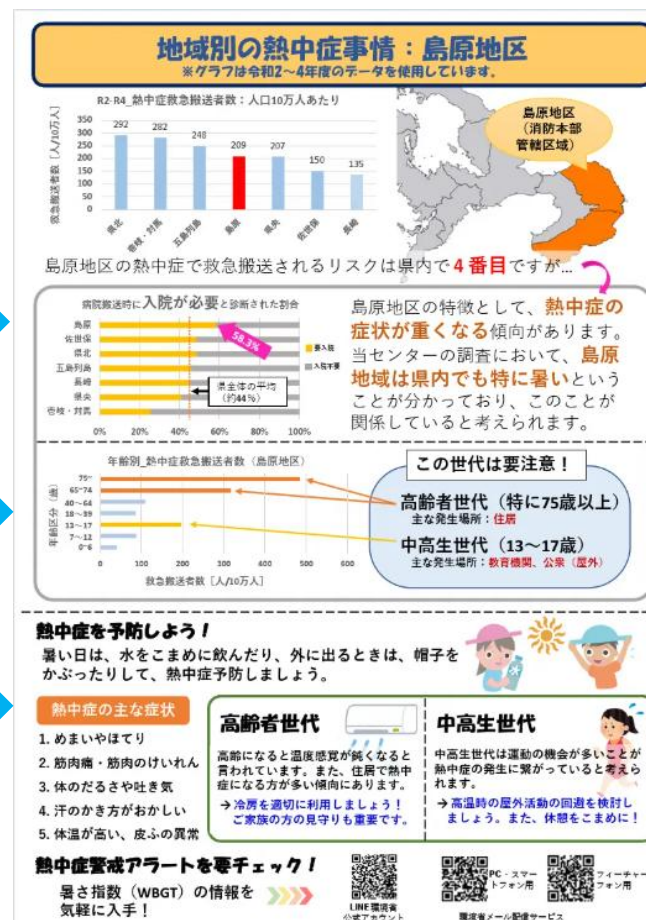


(裏面)

地区ごとの
特徴を記載

要注意となる 世代を記載

要注意世代の 予防ポイント



長崎県 ～あなたの地域の熱中症事情～

詳細版 (島原地域)



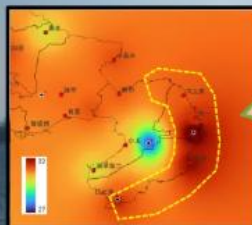
▲県内で比較的暑く、熱中症リスクが高いとされる島原市、南島原市にて一般住民を対象とした講演を実施

写真は「あかね会」（ひとり暮らし高齢者食事会（島原市））での講演の様子

この他、市広報紙に研究成果に基づく啓発記事も掲載

表面

熱中症⚡にご注意！ ～島原地域の暑熱事情～



【はじめに】

県内においても、年平均気温は上昇傾向にあり、熱中症発生数も増加傾向にあります。当センターでは熱中症に関する地域特性を把握するために、令和2年度から令和4年度まで県内各地で温度・湿度の気象観測を行い、熱中症と県内の暑熱環境に関する調査・研究を行いました。その結果、**島原地域では暑熱環境及び熱中症の発生に関して、地域的な特徴が見られています。**

Point!

←図は令和2年8月の暑さ指数(WBGT)の日最高値平均

県内でも**島原半島の一部(東側)は暑さが厳しい地域と考えられます。**
※気象庁の協力のもと環境省が公表している暑さ指数のデータ(2018年～2022年)においても、観測点「島原」及び「口之津」の値が県内で高い傾向にあることを確認しています。

Point!

←図は救急搬送者が初診時に要入院と診断された割合
島原地域は病院に搬送された方の6割近くが「要入院」となっています。



長崎県気候変動適応センター
(長崎県環境保健研究センター内)
Local Climate Change Adaptation Center
in Nagasaki Prefecture



長崎県気候変動
適応センターHP

裏面

熱中症救急搬送者数と暑さ指数の関係

※グラフはR2～4年度のデータを使用しています。

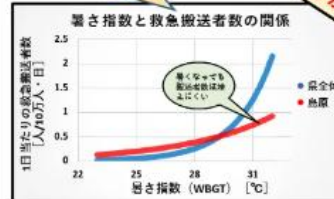


島原地区は暑い！
夏場に暑さ指数(WBGT)が30℃以上となった日の日数が県内最多です！

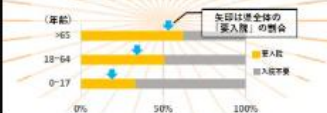
搬送者数はそこまで多くない…
暑さと高齢化率の高さ(約35%)から見て搬送者数は少ないと言えます。
※高齢化率が高い地域は搬送者数が多い傾向にあります。



実際、暑さ指数(WBGT)と熱中症救急搬送者数の関係を見ると、**島原地区では、暑さが厳しくなっても救急搬送者数が増えにくいことが分かります。**



熱中症の症状は重くなりがち！



【まとめ】

- **島原地区は県内でも比較的暑い地域のため、住民の皆さんは暑さに慣れている可能性があります(救急搬送者数少)。**
- **熱中症になると、その暑さのため、症状が重くなる可能性が高いと考えられます(要入院患者数多)。**

熱中症警戒アラートを要チェック!

暑さ指数(WBGT)の情報を気軽に入手!



長崎県ホームページ <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kikouhendo/heatstroke/>

■ 苦労した点

- ・ 県内のWBGT調査のために、最大70地点(小学校)に温度・湿度を記録するデータロガーを設置したため、各種調整やデータの回収、整理、分析に苦労しました。

■ 工夫した点

- ・ 県民に「自分事」と捉えていただくために、県下全域ではなく、地域別(7地域)の啓発資料として作成しました。

広島県府中市 「老人大学」での講演資料

暑さを避けましょう

室内では…

- ・我慢せずに扇風機やエアコンを利用
- ・部屋の温度をこまめに確認
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ・のどが渇く前に水分・塩分を補給する



エアコンの使い方

- ・「室温28℃」は冷房の設定温度のことではない
- ・温湿度計で室温をこまめにチェックする
- ・エアコンの冷気流が直接体に当たらないように風向きを調整する
- ・エアコンは朝までつけっぱなしに

●“のどが渇く前に”を具体的なタイミング、イベントで例示

- ・朝 起きたら
- ・朝食時
- ・食間
- ・昼食時
- ・食間
- ・夕食時
- ・入浴前後
- ・夜 寝る前に …など、コップ1杯を1日8回程度

➡ 「1時間に1回、コップ1杯」という伝え方も

●“「室温28℃」は冷房の設定温度のことではない”を周知

- ★「クールビズ」で呼びかけている「室温28℃」は冷房の設定温度のことではありません。冷房の設定温度を28℃にしても、室内が必ずしも28℃になるとは限りません。そのような場合は設定温度を下げることも考えられます。

「熱中症環境保健マニュアル2022」(p.31)

広島県府中市 「老人大学」での講演資料

暑さに負けない体づくり

夢体操をしましょう♪

座ったままでも
立つのもOK!

- **生活習慣病の予防**も意識した、高齢者でも無理なく取り組める、**地元のエクササイズ**を紹介
“座学”ばかりでなく参加者全員で身体を一緒に動かす時間も設けている。

5分休憩

水分摂取をお願い!

- エクササイズのあと、**水分補給**のための**休憩**を確保
話題は水分補給の重要性へ

こまめな水分補給

お酒と塩分には注意が必要!

◆ お酒は水分摂取にはなりません

適量… **1日1合** **週に2日の休肝日!**

ビール500ml

焼酎・日本酒180

酎ハイ520ml

◆ 塩分は取り過ぎに注意

広島県の目標値… **1日8**



熱中症予防のための食事

バランス良く!

ビタミンB1

豚肉、大豆製品、モロヘイヤ、玄米など

ビタミンC

赤ピーマン、ブロッコリー、キウイなど

クエン酸

酢、レモン、グレープフルーツ、梅干しなど

・高齢者で水を飲みにくい方は、水分が多く含まれている
フルーツや野菜を食べるようにする
・生野菜が食べづらい場合は、漬物にする



- 水分補給から、お酒と塩分の摂り過ぎへの注意喚起へ

- さらに食事の話題へ
「きゅうりをつくっているなら、浅漬けにするといいよ」など
聴き手にわかりやすい具体例を示す。同時にバランスの大切さと
「これだけで十分というわけではない」という注意喚起も

★類例 梅こぶ茶、おにぎりに梅干し、すいか塩 など



広島県府中市 「老人大学」での講演資料

経口補水液

・脱水症に用いる飲料

・スポーツドリンクに比べて、
塩分や糖分をバランスよく
含み、効率よく吸収できる

・市販の経口補水液を
準備しておく



- それでももし**脱水症状**になってしまったら…として**経口補水液**の
つくりかたを紹介
- “実際につくってみました”として小さなカップで**試飲**を実施

★経口補水液のつくりかたは、検索すると数多くヒットします。
ただし、**家庭で夏場につくるようなものと腐りやすい（メーカーのような高度な衛生管理下で製造されたものではない）**には
注意が必要です。
また、ゴクゴク飲むものではなく、あくまで緊急時に飲むもの
であることにも注意が必要です。

自分の体の状態を知る機会に



- ◆後期高齢者健診
- ◆70歳以上の
 - ・胃がん検診
 - ・肺がん検診
 - ・大腸がん検診
 - ・乳がん検診
 - ・子宮頸がん検診

なんと**無料**

- さらに**後期高齢者健診**のお知らせへ

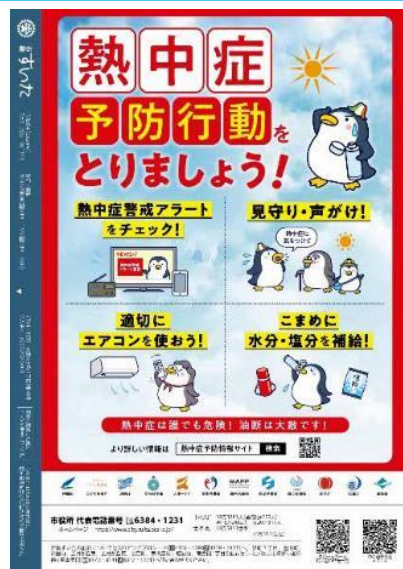
■受講してみても（感想）

- ・全体的な話題からはじまり、個別のテーマや地域性のある内容などを含め、すべてひとつの流れとして構成されていたように感じました。内容も具体的でわかりやすかったです。
- ・この他、参加者に問いかけたり、手を挙げていただいたり、立った座ったり、試飲してもらったり…と随所に飽きさせない工夫があり、非常に実り・学びの多い講習会だと感じました。

大阪府吹田市 「熱中症対策ハンドブック」の制作

全体対象

熱中症予防行動リーフレットを活用した啓発



◀熱中症予防行動リーフレット
市報6月号背表紙に記載

▲自治会で回覧するほか、掲示板でも掲示

全体 / 元気な高齢者対象

- ケアマネジャー・ヘルパー、在宅訪問を行う医療関係者（看護師、管理栄養士、理学療法士等）に「熱中症予防行動リーフレット」（A5版）を約2,500部配布。リーフレットと併せてマグネットも配布し、高齢者宅の冷蔵庫等に貼り付けていただいた。
- 同上の方々に温湿度計を約100個提供し、訪問の際に高齢者宅の室温を視覚的に示しながらエアコンの使用を呼びかけていただいた。

令和5～6年度モデル事業

協力団体・機関	A4版	A5版
吹田市社会福祉協議会		150
吹田市立高齢者生きがい活動センター	100	
吹田市生きがい教室	250	
吹田市シルバー人材センター	10	30
西山田ふらっとサロン	50	
南正雀まるっと。	2	100
百歳体操コスモス	40	
大阪府済生会千里病院		1,000
吹田市健康づくり推進事業団	100	100
ウエルシア薬局(ドラッグストア・調剤薬局)		1,000

大阪府吹田市 「熱中症対策ハンドブック」の制作

介護を必要とする高齢者対象

表紙

高齢者をサポートする方へ 熱中症対策ハンドブック



救急搬送者を 一人でも減らすために

高齢者は熱中症の発症リスクが高いため
効果的な熱中症予防行動の支援が必要です



check!
熱中症警戒アラート

ケアマネジャー・ヘルパーに聞きました！

中面

ケアマネジャー・ヘルパーの「現場のアイデア」

●室温管理に工夫！

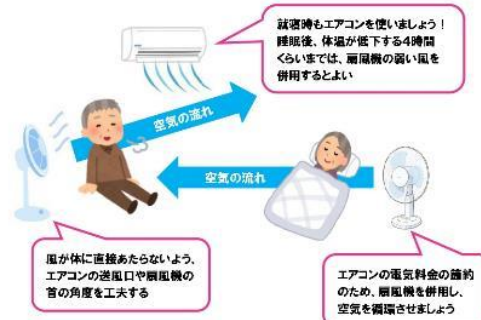
- ・エアコンの設定温度を1℃上げてみたところ、エアコンを切ってしまう頻度が減った。
- ・日中はショートステイを活用して、室温管理がされている場所まで送るよう工夫した。

●声かけに工夫！

- ・エアコンの電気料金と、熱中症で入院した場合の治療費を説明し、経済的な観点からもエアコンを使用するよう声をかけた。
- ・ケアマネジャー、ヘルパー、訪問看護士が連携して、エアコンを使用するよう声をかけた。
- ・エアコンの使用状況を詳しく尋ね、就寝時もエアコンを使用するよう声をかけた。
- ・室温計を持ち寄り、室温が高いことを視覚的に示してエアコンを使用するよう声をかけた。

●体感温度に注意！

- ・暑い外から入ってきたり、汗だくになって作業をすると28℃は暑く感じるが、室内で寝たきりだと28℃は寒く感じるので、高齢者との体感温度の違いを認識するよう心がけた。
- ・エアコンの風が直接当たらないように、ベッドの位置を動かして調節した。



4

実践編 エアコン

- 室温計で部屋の温度や湿度を確認する
- エアコンが壊れていないか、暖房運転になっていないかを確認する
- 室温28℃を目安に適切な温度にする
★必要に応じて、エアコンの設定温度を低めにしましょう
- 就寝時もエアコンを使用する
- 冷気が気になる時は、エアコンの風向きを上向きに固定することや、扇風機を併用する

Check!

室温計で室温を
こまめにチェック！



エアコンの電気料金と入院費の比較

熱中症が重症化した場合、合併症や後遺症を発症しやすく、死亡する場合があります。
全国の救命救急センターを対象にした調査によると、高齢者は熱中症で平均12日間の入院が必要で、死亡率は15%以上にもなるとされています。また、入院生活によって筋力の衰えや認知機能の低下が起こることがあり、入院生活の間に、自立していた人が寝たきりになるという事例もあります。
「点検をうけてすぐに修理する」といったような考えではなく、熱中症を発症しないように、エアコンの電気料金をケチらず予防行動をとることが重要です。

エアコンを1日使用した場合の
電気料金 数百円
熱中症で1泊入院した場合の
治療費 数万円



エアコンの電気料金は
入院の保障代！

(参考) 熱中症対策ネットワーク



エアコンの設定温度ではなく
室温計で室温管理を
しましょう。

高齢者の筋肉量は、10日間の寝たきりで、
健康者が約1割、重症患者で約2割も
減少します。



3

吹田市 熱中症対策ホームページ <https://www.city.suita.osaka.jp/sangyo/1018079/1022170/1017669.html>

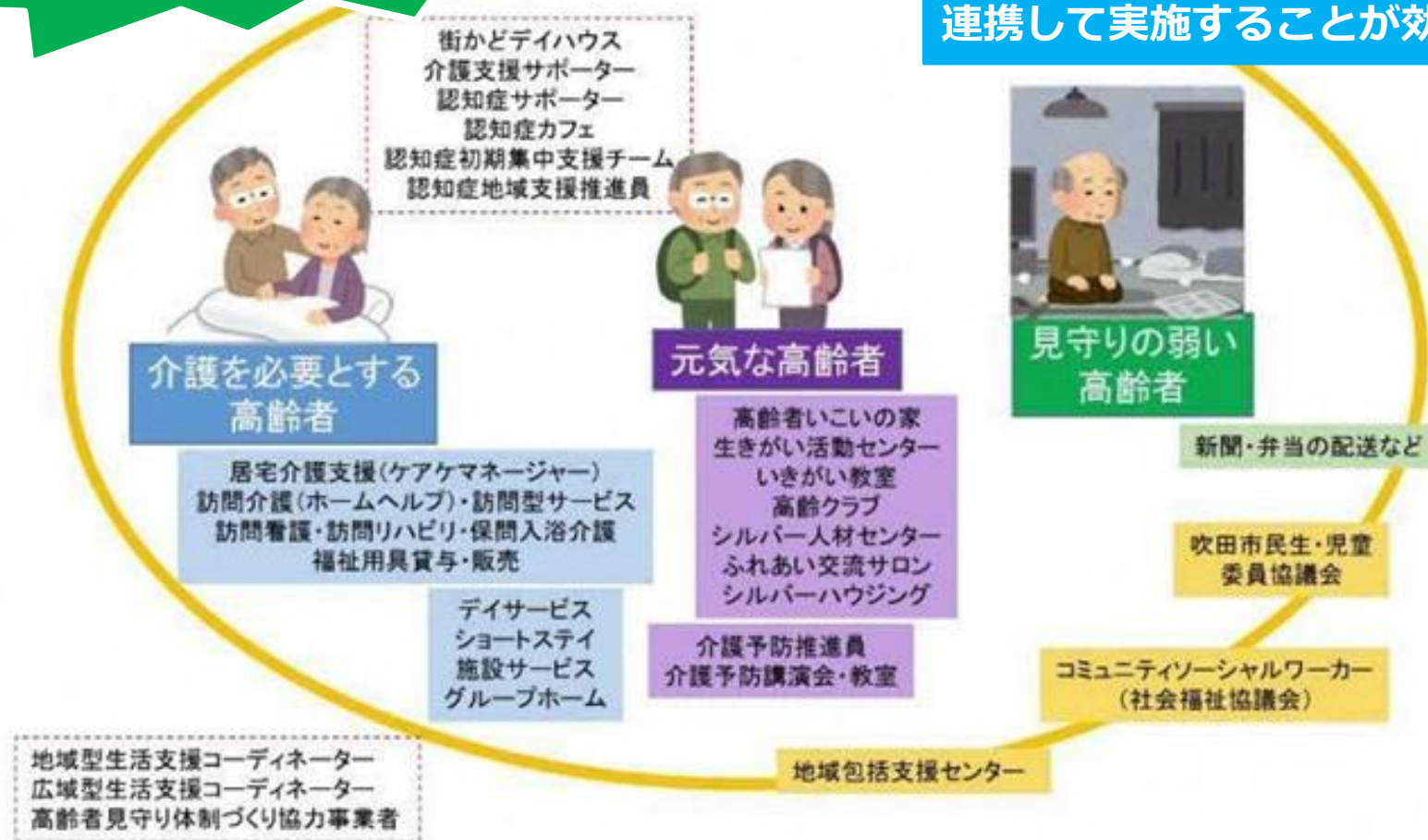
■工夫した点

- ・高齢者の生活実態（令和5年度モデル事業成果）を踏まえた、自宅で暮らす高齢者をサポートする方々向けの「熱中症対策ハンドブック」（B5版12ページ）を作成した。
- 7月に試行的にケアマネジャー、ヘルパー等に配布し、居宅介護サービスを受ける高齢者に適切な熱中症対策を行う際の参考にしていただいた。
- ハンドブックを活用した際の改善点について意見を収集した他、ケアマネジャー、ヘルパーに対して、意見交換を別途行い、ハンドブックのブラッシュアップに取り組んだ。

大阪府吹田市 「熱中症対策ハンドブック」の制作

「高齢者」とひとくくりにはしない!!

様々な状況の高齢者の生活実態に応じた対策を、それぞれの関係者と連携して実施することが効果的



島根県 多言語リーフレットの制作

- 熱中症について多言語（やさしい日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語）のリーフレットを制作し、ホームページで公開

やさしい日本語版

漢字には
ふりがなを記載

(表面)

熱中症に気をつけましょう

熱中症とは？

温度と湿度が高い時、体の中の水分・塩分（水・塩の量）のバランスがくずれたり、体温（体の温度）の調整ができなくなる体の不調です。建物の外だけでなく、部屋の中でもなります。

熱中症の症状

軽いとき	めまい、立ちくらみ（立ち上がった時にクラクラする）、筋肉痛、汗がとまらない
中くらいのとき	頭が痛い、吐き気、体がだるい
重いとき	意識がない、体温が高い、声をかけても返事がない、まっすぐ歩くことができない

熱中症は、防ぐことが大切です！

防ぐために・・・

水分を取る

- のどが渇いているときは、すでに体の水分が足りないとき、一日何回も水分を取る。
- 朝起きたときと寝る前には、水分を取る。
- たくさん汗をかけた時は、塩分も取る。

エアコンや遮光（光を遮る）カーテン、すだれを使う

- 部屋に温度計をおく。
- ときどき部屋の中の温度を測る。
- エアコンや扇風機を上手に使う。
- カーテンやすだれは太陽の光を遮るので、使う。

自分の体調を考えて服を決める。保冷剤（冷やすもの）も使う

- 通気性のよい（風や空気が通りやすい）、吸湿・速乾の（汗を吸い取りやすく、乾きやすい）服を着る。
- シャワーや保冷剤等を使って体を冷やす。

「自分は暑さに強い。大丈夫」と思わない

- 外で作業をする時は、特に注意する。
- 出かける時は通気性のよい服や、吸湿・速乾の服を着る。帽子や日傘も使う。
- 天気の良い日の午後すぐの外出は、なるべく少なくする。

「熱中症かな？」と思う人がいたら

- 1 涼しい場所に移す。
- 2 服を脱がせる。身体を冷やす。
- 3 水分・塩分を飲ませる。

自分で水を飲むことができない時や意識がない時は、すぐに救急車をよぶ（119）

(裏面)

小さな子ども、お年寄り、特に気をつけましょう

- 小さな子どもは体温の調整がうまくできません。注意してください。また、小さな子どもは地面に近いところにいます。直射日光で地面が熱くなり、大人より温度が高いところにいます。
- お年よりは、暑さを感じにくいので、体の熱を下げにくいので、熱中症になりやすいです。

熱中症を防いでいますか？ チェックしましょう

☐ 1日何回も水分をとっている	☐ エアコンや扇風機を使う	☐ シャワーや濡れたタオルで体を冷やす
☐ 部屋の温度を測る（温度を知っておく）	☐ 暑いときは、無理をしない	☐ 涼しい服を選び、外に出るときは帽子をかぶり、日傘を使う
☐ 部屋に風が通るようにする	☐ 靴下の汗や汗の跡の通気性をよくしておく	☐ 涼しい所・建物を利用する

熱中症の情報

- 「暑さ指数」（WBGT）（暑さを表す方法です。気温・湿度・日差しをもとに出します。）を参考にして、熱中症を防ぎましょう。暑さ指数は、環境省「熱中症予防情報サイト」に出ています。
<http://www.wbgt.env.go.jp/> (PC) <http://www.wbgt.env.go.jp/kt/index.php> (携帯)
- 島根県熱中症の情報
http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kenko/kenko/chouju_info/nettuyusyo.html

発行：島根県環境生活部文化国際課 島根県松江市殿町1 TEL 0852-22-6462

★環境省の「熱中症」に関する情報はありますか？「熱中症」の予防・対処法を参考に作りました。



ポルトガル語版

【熱中症に気をつけましょう】 図ルト三儿図

O que é HIPERTERMIA?

SINTOMAS DA HIPERTERMIA

Sintoma Grave Inconsciência, temperatura corpórea alta, não responde ao ser chamado, não consegue andar em linha reta.

É importante prevenir-se contra a Hipertermia!

O que fazer para prevenir...

Reposição de líquidos

- Sentir sede é sinal de que você está com insuficiência de água no organismo. Beber líquidos com frequência.
- Beber líquidos ao acordar e antes de dormir.
- Repor sais minerais quando transpirar excessivamente.

Escolha roupas adequada a sua condição física. Utilizar saquinhos de gel gelado

- Vestir roupas leves, que absorvem o suor e de secagem rápida.
- Tomar banho, usar saquinhos de gel gelado, etc. para abaixar a temperatura corporal.

Utilizar ar-condicionado, cortina, persiana de bambú

- Coloque um termômetro na sala e verifique a temperatura ambiente de vez em quando.
- Utilizar ar-condicionado e ventilador corretamente.
- Utilizar cortina e persiana para barrar o calor solar.

Não pense que está tudo porque é resistente ao calor

- Tenha cuidado principalmente quando trabalhar em local aberto.
- Quando sair, vestir roupas leves que absorvem o suor e de secagem rápida. Usar também chapéu e sombrinha.
- Evitar sair nos dias de muito calor.

「Será que é HIPERTERMIA?」 Caso tenha alguém

- 1 Leva-la para um local fresco e ventilado.
- 2 Tirar a roupa, esfriar o corpo.
- 3 Faze-la beber líquidos, repor sais minerais.

**Quando não conseguir
beber água sozinho,
estiver inconsciente,
chame a ambulância
imediatamente (tel 119).**

Localidade: Província de Simane, julho de 2012

【新中庭に食をつけましょう】 **バルトガル語**

Cuidado principalmente com as crianças menores e idosos

- Cuidado com as crianças menores pois tem mais dificuldade de controlar a temperatura corporal. Além disso, as crianças menores ficam próximos ao chão. O chão fica quente ao calor do dia e ficam no local onde a temperatura é mais elevada que os adultos.
- Os idosos tem facilidade de ficarem com HIPERTERMIA por terem uma redução na capacidade de sentir o calor e controlar a temperatura do corpo.

Está-se prevenindo contra a HIPERTERMIA? Vamos checar!

- ☐ Bebe líquidos várias vezes ao dia.

- ☐ Utiliza ar-condicionado
e ventilador

- ☐ Toma banho, passa toalha molhada para refrescar.

- ☐ Verifica a temperatura ambiente da sala.

- ☐ Nos dias de muito calor não faz estresse.

- Utiliza roupas frescas. P

- ☐
- Abre as janelas para

- ☐
- Tem telefone de contato para caso de emergência

- ☐ Usului de locați fresco,
estabilirea unor criticii

Informações sobre a HIPERTERMA

- Tenha como referência o Índice de calor (WBGT) (método de expressar o calor da temperatura, umidade e luz solar) e previna contra a HIPERTERMIA. O site de informações de prevenção contra a HIPERTERMIA do Ministério do Meio Ambiente oferece as informações de "Índice de calor".
<http://www.wbgt.env.go.jp/> (PC) <http://www.wbgt.env.go.jp/index.php> (celular)
- Informações da Província de Shimane sobre a HIPERTERMIA
http://www.pref.shimane.lg.jp/ife/kenko/kenko/chouju_info/infoetvnyu.html

- Emissão: Departamento Shimane-ken Kankyo Seikatsu Bu, setor Bunka Kokusai Ka
Shimane-ken Matsue-shi Tono-machi1, tel.0852-22-6462
*Dados de referência do Ministério do Meio Ambiente 「Será que você não está com
HIPERTERMIA?」 (Você sabe o que é HIPERTERMIA?)



島根県, 2019年10月1日

静岡県焼津市 多言語リーフレットの制作

- 熱中症について多言語（やさしい日本語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語、ベトナム語）のリーフレットを制作し、転入・母子手帳交付時やイベントの際に配付

（表面）

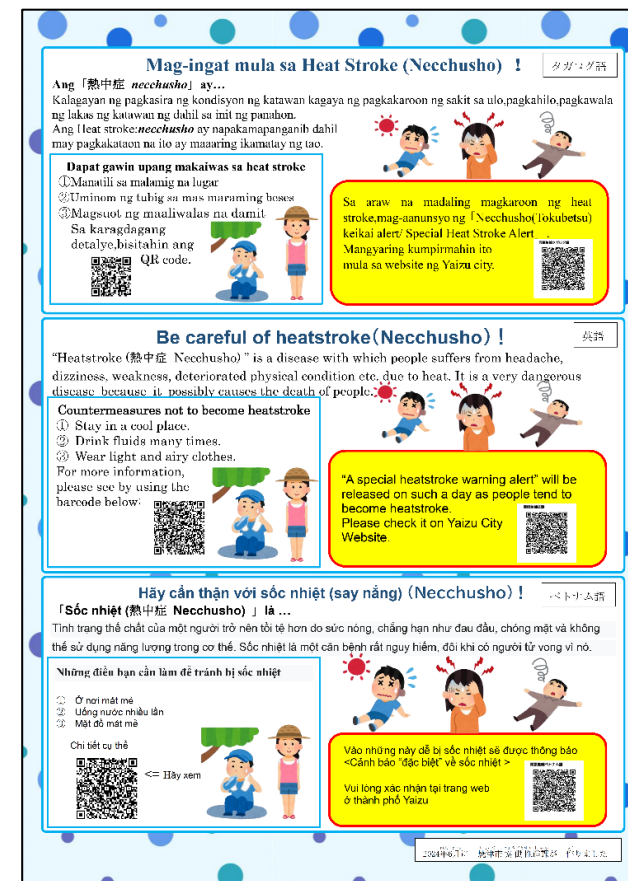


- ▲ 「やさしい日本語」の受信設定をしている方向けのLINE画面

■工夫した点

- ・ 多言語を1枚に収めることで、配布窓口での負担を軽減しました。
- ・ SNSにもアップし、利用しやすくしています。

（裏面）





厚生労働省による多言語リーフレット

- 英語のほか、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、イタリア語、インドネシア語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ドイツ語、ネパール語、フランス語、ベトナム語、ポルトガル語のリーフレットを制作

日本語版

(表面)

熱中症予防のために

暑さを避ける！

- エアコン等で温度をこまめに調節
- 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- 外出時には日傘や帽子を着用
- 天気の良い日は日陰の利用、こまめな休憩
- 吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用
- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

！ 『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給する！

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分を補給

熱中症とは

「熱中症」は、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも何もしないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

厚生労働省 熱中症

スマートフォンでも見られます

熱中症予防のための情報・資料サイト

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/

(裏面)

熱中症の症状

- めまい
- 立ちくらみ
- 生あくび
- 大量の発汗
- 筋肉痛
- 筋肉のこむら返り

病状がすすむと

- 頭痛
- 嘔吐
- 倦怠感
- 判断力低下
- 集中力低下
- 虚脱感

！ 応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)

- エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難
- 衣服をゆるめ、からだを冷やす(首の周り、脇の下、足の付け根など)
- 経口補水液を補給*

※経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる可能性があります。腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、指示に従ってください。

！ 自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、ためらわずに救急車を呼びましょう！

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

室内でも熱中症予防！

暑さを感じなくても室温や外気温を確認し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

高齢者や子ども、障害のある方は、特に注意が必要！

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているため、注意が必要です。子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。また、障害のある方には、体温調節が難しい場合やのどが渇いても気づかない、自分で水分がとれない等の場合がありますので、介助者やまわりの方は注意しましょう。

厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare



農林水産省による多言語リーフレット

- 農業者向けに、英語のほか、中国語、インドネシア語、クメール語、タイ語、ネパール語、ベトナム語、ミャンマー語、モンゴル語のリーフレットを制作

日本語版

(表面)

農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

農作業中の熱中症による死亡者数(月別)

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
死亡者数	2	7	9	14	111	109	6

過去10年の死亡者数計 259名

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7～8月に発生している一方で3～6月にも発生

* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業

こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給

単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う

熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用

そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!!

農林水産省

(裏面)

熱中症対策

もっと知りたい!!

* 熱中症対策アイテム *

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍

ファン付きウェア、ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際のリスクを回避したいときに活躍

ウェアラブル端末、応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩の質を高めたいときに活躍

ミストファン

* 熱中症警戒アラートとMAFFアプリの連携 *

熱中症警戒アラートとは?
熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に発表される注意喚起情報

STEP 1

MAFFアプリの入手

Android iOS

STEP 2

地域の設定

マイページ > プロフィール設定

STEP 3

PUSH通知ON

スマートフォン側の通知設定も確認

STEP 4

通知が届く

登録した都道府県にアラートが発生されると通知が届く

* 熱中症が疑われる場合には *

01 作業を中断

(代表的な症状)
・ 汗をかかない、体が熱い
・ めまい、吐き気、頭痛
・ 倦怠感、判断力低下

02 応急処置

・ 涼しい環境へ避難
・ 衣服をゆるめ体を冷やす
・ 水分・塩分を補給

03 病院へ

応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう!!



厚生労働省による障害のある方向けリーフレット

- 「障害のある方」「夏場の外出に慣れていない方」「介助者や周囲の方」「視覚障害のある方」「手足・体幹の障害のある方」「知的・発達障害のある方」と、それぞれの障害に応じた熱中症対策をわかりやすくまとめたリーフレットを作成



障害のある方
[PDF形式：1,459KB]
別ウィンドウで開く



夏場の外出に慣れていない方
[PDF形式：1,173KB]
別ウィンドウで開く



介助者や周囲の方
[PDF形式：1,161KB]
別ウィンドウで開く



視覚障害のある方
[PDF形式：1,529KB]
別ウィンドウで開く



手足・体幹の障害のある方
[PDF形式：1,192KB]
別ウィンドウで開く



知的・発達障害のある方
[PDF形式：1,209KB]
別ウィンドウで開く

福岡県宗像市 「むなかた健康まつり」

- 熱中症予防の知識を深め、健康的に夏を乗り切ることを目的に「暑さ対策と健康づくり」をテーマにしたイベントを開催
- 宗像市は官民合同の熱中症対策に関する協議会「熱中症対策コンソーシアム」を設置しており、これに参画している9つの地元企業・団体が「むなかた健康まつり」に出展
自社の専門性に基づく熱中症対策商品・サービスの紹介を交えながら参加者に対し熱中症予防の呼びかけを実施

・栄養教室

管理栄養士から食事からできる熱中症対策をレクチャー

・消防教室

宗像地区の熱中症の被害状況や、クイズ形式で正しい熱中症の知識を講義

・ウォーキング教室

暑熱順化（＝暑さに慣れること）に適した運動とされるウォーキングの正しい歩き方を学ぶ

・その他、健康チェック・商品紹介等

当日プログラム



▲栄養教室での様子



▲宗像市の熱中症対策ブース

- ・株式会社グローバルアリーナ
- ・第一生命保険株式会社
- ・株式会社エムエム西日本（乳製品を中心とした宅配事業等）
- ・株式会社グラノ24K（「ぶどうの樹」等）
- ・株式会社新生堂薬局
- ・株式会社はるやまホールディングス
- ・株式会社メディカルスポーツライフ研究所（「スポーツクラブ リフレ」等）
- ・神楽鍼灸整骨院
- ・宗像地区消防本部

出展企業・団体

■苦労した点

- ・庁内関係部署との調整に加え、民間企業との連携に苦労した。
「熱中症対策コンソーシアム」やその他、中小事業者組織との協力体制構築が必要だった。

■工夫した点

- ・熱中症予防に関係のある企業に出展いただき、企業の力を借りながら予防啓発をすることができた。民間企業連携により、行政だけでは入り込めない層にも接点を持つことができた。

熱中症ゼロを目指して！
夏を乗りぬろう
むなかた健康まつり
2025.7/2 水 10:00 - 13:00 参加費無料
「暑さ対策 × 健康づくり」をテーマにした健康まつりをグローバルアリーナで開催！
スポーツトレーナー、管理栄養士など専門家が、暑さに負けない体づくりや、夏を元気に乗り切るコツをわかりやすくお話しします。
栄養指導
ウォーキング体験
企業ブース など！
会場には、宗像市内の事業所・団体による「健康ブース」も登場！飲食特典もあります。詳しくは裏面をご覧ください。
大会場 トレーニングジム2階
〒811-4153 福岡県宗像市吉留4-6-1
【問合せ】 宗像市 脱炭素社会推進課 Tel: 0940-36-9875

福岡県宗像市 熱中症予防タイムライン（マイタイムライン）の作成

- 宗像市では、市民が普段の生活の中で熱中症予防をより身近に感じ、意識的に取り組むために**熱中症タイムライン（マイタイムライン）**を作成。宗像市ホームページに掲載し、自由にダウンロード可能に
- 本タイムラインは、1日の時系列に沿った予防行動を記載した「熱中症予防タイムライン」（参照用）と、ご自身の生活スタイルに適した予防行動を記入するための「熱中症予防のマイタイムライン」（記入用）の2つで構成

熱中症予防タイムライン（参照用）



視認性に優れたデザインにより、ユーザーが必要な情報を直感的かつスムーズに取得できる構成。

1日の中で特に気を付けてほしい内容を、分かりやすく時系列に沿って記載。掲示物としても活用可能な内容に整理。

熱中症警戒アラートの情報等を確認できるウェブサイトやLINEアカウントの二次元コードを記載。

熱中症予防のマイタイムライン（記入用）



実際に手を動かして考えてもらうことが重要と考え、記入形式で資料を作成。

熱中症警戒アラートの期間において開放される、お近くの涼み処をご自身で記入するためのスペースを用意。涼み処は二次元コードから簡単に検索可能。

本資料は、（独）環境再生保全機構の「令和7年度地方公共団体における効果的な熱中症対策の推進に係るモデル事業」の一環として作成しました。

宗像市ホームページ『マイタイムラインを活用して熱中症を防ごう』

<https://www.city.munakata.lg.jp/kiji0038618/index.html>

■ 苦労した点

- ・ 熱中症に関するマイタイムラインの前例がほとんどなく、参考資料や既存の枠組みが乏しい中で構成を考える必要があり、関係部署と内容を精査・構築していく必要があった。

■ 工夫した点

- ・ 災害時のタイムラインを参考にしながら、各フェーズで必要となる対応や判断ポイントを庁内関連部署へ同時並行で確認し整理。市の保健師にも監修依頼、実効性のある資料になるようにした。

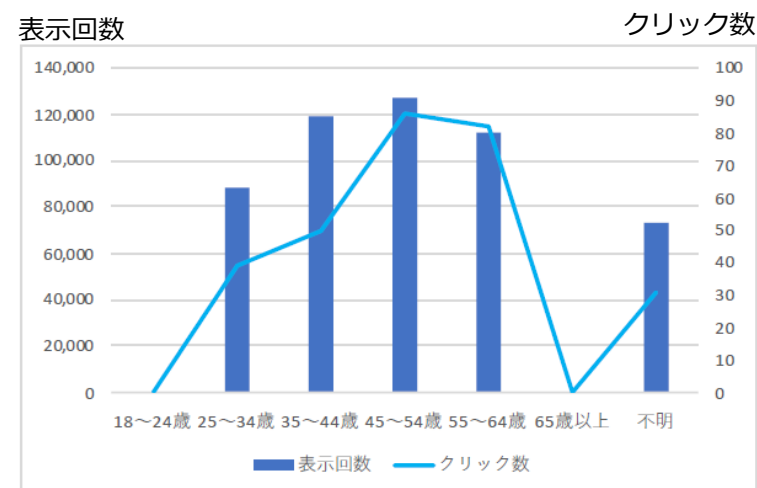
青森県 YouTubeバンパー広告・Instagram広告等を活用した普及啓発

- 県内の**高齢者の親がいる世代（30～50代）**に**対象を絞り**web広告を実施
8/8～9/30までの期間で、**YouTubeバンパー広告は 520,577回表示、Instagram広告は 192,789回表示（リーチ数：54,962回）**
- 他にも、普及啓発チラシ10,000部の配布、熱中症対策動画のHP公開、テレビCM、県広報誌、県ラジオ枠、県公式LINEや新聞広告など多方面からの**強力な普及啓発**を実施

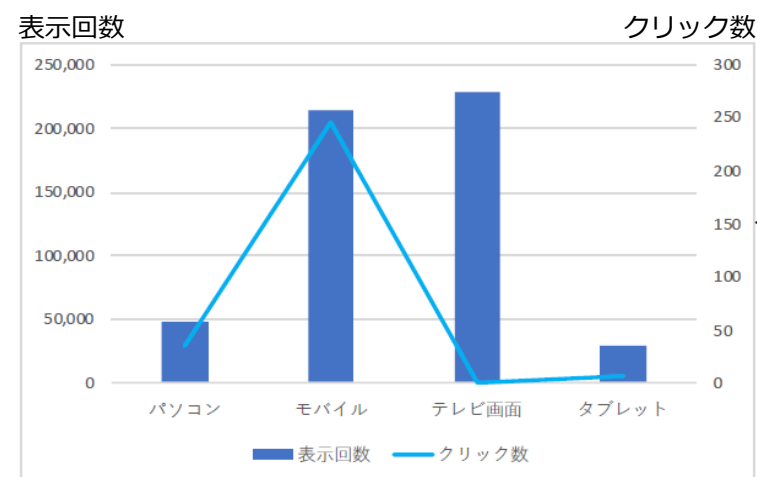


▲YouTubeバンパー広告（6秒でスキップ不可の広告）

- ・バンパー広告の課金方式は原則としてCPM（表示回数ごとに課金）
YouTubeの他の広告ではスキップ可能な数十秒～数分の広告、スキップ不可な数十秒の広告などがある。



◀ 青森県熱中症対策広告
年齢層別の表示回数・クリック数



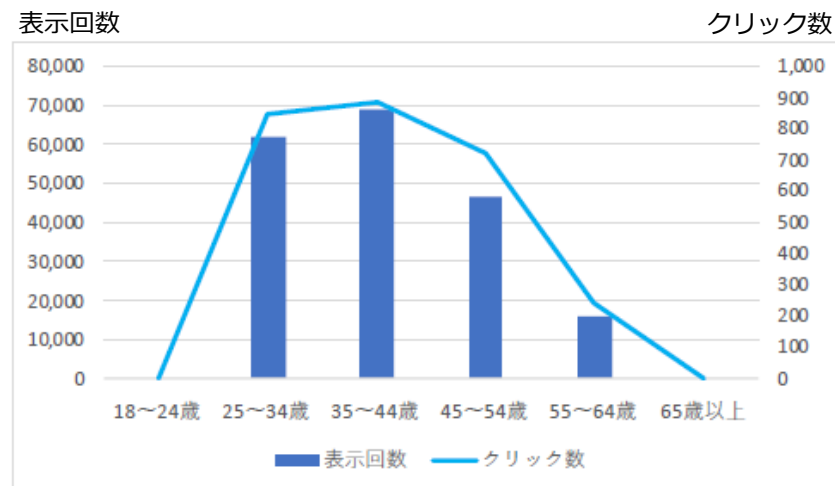
◀ 青森県熱中症対策広告
デバイス別の表示回数・クリック数

青森県 YouTubeバンパー広告・Instagram広告等を活用した普及啓発

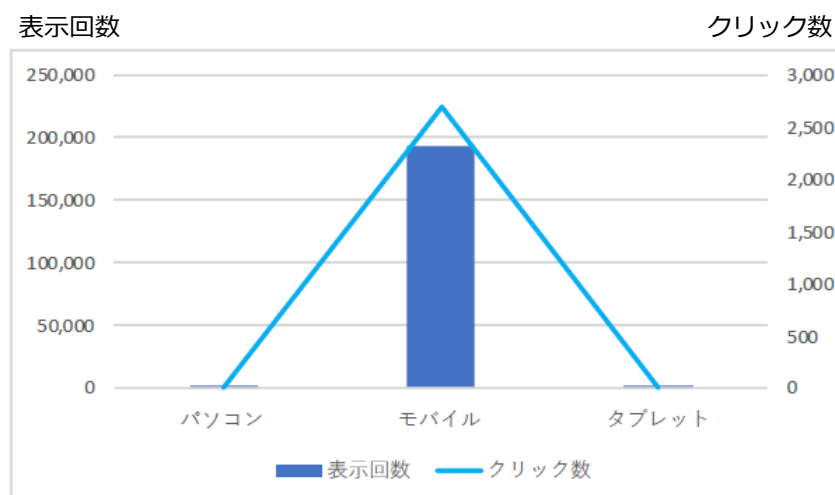


▲Instagram広告（静止画）

令和7年度モデル事業



◀ 青森県
熱中症対策広告
年齢層別の表示回数・
クリック数



◀ 青森県
熱中症対策広告
デバイス別の
表示回数・
クリック数

- モバイルでの閲覧が中心の広告であるため、**屋外でも短くわかりやすい視覚メッセージを伝えることができる**。農業従事者など屋外で活動する人や、その家族にとって有効な対策であると考えられる。
- 静止画の広告は動画広告に比べ、**低予算・短期間で制作可能**である。

秋田県 県内新聞3紙での普及啓発

- インターネット等の情報が得にくく、熱中症リスクを認知しづらい独居や高齢者のみの世帯をターゲットに新聞広告を活用してアプローチ
- 掲載日を統一し、**県内シェアの大半を占める地元新聞3紙**（秋田魁新聞、北鹿新聞、北羽新報）に掲載
合計約23万部を発行（県内世帯数約38万世帯）
- 5段全幅広告（縦：約17cm、横：約38cm）で予防行動のポイント等を周知
- **全戸配布する県広報紙**にも熱中症予防のページを設け、**紙媒体を活用した普及啓発**を実施

熱中症にご注意を！

油断大敵！
県内で熱中症救急搬送の
6割以上が高齢者

室内でもご用心！
適切に**エアコン**を使いましょう

県内の熱中症の発生場所は
4割以上が住居内

エアコンが使用できない時は
濡れたタオル等で体を冷やしたり
涼しい場所に避難しましょう

のどが渴いていなくても
こまめに**水分+塩分**を補給しましょう

1日あたり
1.2ℓ(12)を目安に

● 1時間ごとにコップ1杯が目安です
● 入浴前後や起床後もまず水分・塩分補給を

**水分と塩分を一度に補給できる
イオン飲料もおすすめです**

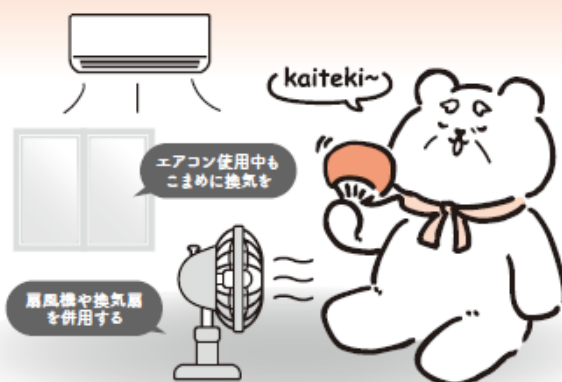
※心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの場合、
水分や塩分の摂取量はかかりつけ医の指示に従いましょう

家族や周囲の方へ

見守りや
声かけを
お願いします

熱中症が疑われる人を見かけたら…

- ✓ 涼しい場所へ
- ✓ からだを冷やす
- ✓ 水分補給




**熱中症予防啓発
キャンペーン開催**

アンケートやクイズに答えて
熱中症対策グッズが当たる
ガラポン抽選会など実施します！

会場

マックスバリュ 十文字南店… 7月 6日⑨ 10:00～14:00
イオンスタイル 広面… 7月12日⑨ 10:00～14:00
ザ・ビッグ たかのす店… 7月15日⑨ 10:00～14:00

お問い合わせ

秋田県生活環境部 温暖化対策課
TEL.018-860-1573

秋田県公式ウェブサイト
美の国あきたネット
**熱中症関連情報
について**



時季に応じた情報発信・普及啓発

4～6月頃：暑熱順化やエアコンの早期点検等の呼びかけ

暑くなるまでに…

- ・庁内外との連携、連絡体制の再確認・再構築
熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラートが発表されたときの体制準備
- ・広報誌面・紙面の検討、
- ・チラシ、ポスター等のデザイン確定、
- ・町内会、自治会等への展開準備

●経済産業省

「夏季を迎える前のエアコン試運転の重要性について」

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/air_conditioner/maintenance.html

「エアコンシーズン前点検パンフレット」

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/air_conditioner/air_conditioner_maintenance.pdf

- 一般社団法人日本冷凍空調工業会では、4月10日を『エアコン試運転の日』に制定し、夏までに、エアコンの試運転と確認を行うことを推奨している。

7月頃：梅雨明けに特に熱中症のリスクが高いことを国民へ注意喚起

- 高齢者、こども等の熱中症弱者のための見守り・声かけ強化
- 電力需給ひっ迫時も、節電にも配慮したエアコンの適切な使用の呼びかけ
- こまめに水分・塩分を補給
- イベント開催時の普及啓発
- 主要施設へのパンフレット、リーフレット、広報誌、チラシ等の配架
- テレビ、ラジオ、大型ビジョン等での放映
- 広報車の展開



時季に応じた情報発信・普及啓発

8 月 頃：盛夏における熱中症対策の一層の呼びかけ

- 高齢者、こども等の熱中症弱者のための見守り・声かけ強化
- 電力需給ひっ迫時も、節電にも配慮したエアコンの適切な使用の呼びかけ
- こまめに水分・塩分を補給
- 「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」を参考にした対策の検討・実施
https://www.wbgt.env.go.jp/sp/heatillness_gline.php

[例]

- ・大規模な路上、公園等での集団演舞イベント、夏祭り
- ・音楽イベント
- ・花火大会
- ・マラソン大会
- ・大規模広域スポーツイベント
- ・野外団体活動

6 月～9 月：災害時における熱中症の注意喚起

- インフラ障害、物資の不足
 - ・停電
 - ・断水
- 避難時の生活環境
 - ・避難所
 - ・車中避難
 - ・在宅避難
 - ・不衛生な環境
- 慣れない重労働
 - ・復旧作業



環境省

暑いうちに…

- ・今夏の施策について振り返り・見直しの準備
(熱中症救急搬送者数などデータの整理・分析、
庁内外との連携、連絡体制の再検討、調整など)
- ・次年度へ向けた予算化、事業計画策定

詳細は「熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針」

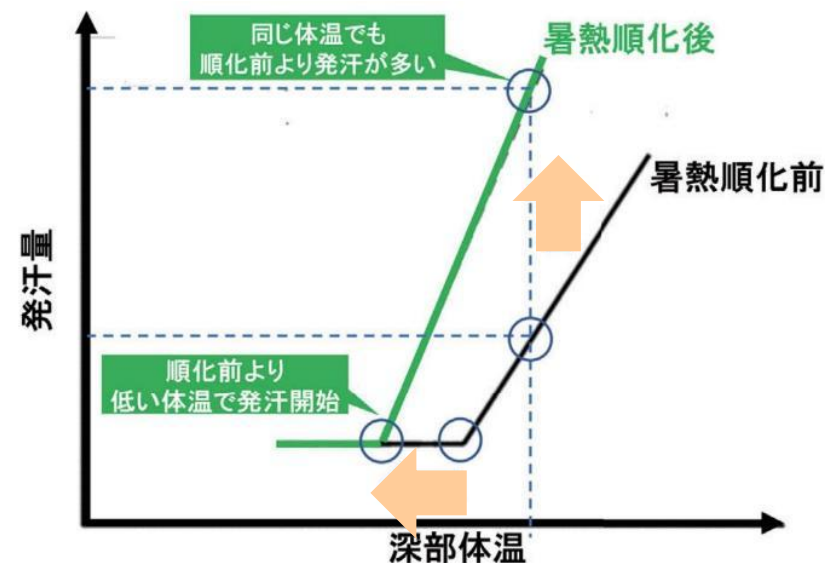
『熱中症特別警戒情報等に関するフェーズ毎の国民へ呼び掛ける行動の整理表』をご参照ください。

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc01.pdf#page=15

コラム

暑熱順化

- 暑い日が続くと、体がしだいに暑さに慣れて、暑さに強くなります（暑熱順化）。
- 暑熱順化すると、暑熱環境での体温上昇や心拍数増加などの生理的ストレスを軽減できます。
- また循環血液量が増加し、汗のかき始めも早くなります。
- そのため同一体温に対する汗の量も増え、より効果的な体温調節ができるようになり、熱中症の危険性も少なくなるのです。
- 暑熱順化は、「やや暑い環境」において「ややきつい」と感じる強度で、毎日30分程度の運動（ウォーキング等）を継続することにより獲得できます。
- 実験的には暑熱順化は運動開始後数日後から起こり2週間程度で完成するといわれています。
- そのため、日頃からウォーキング等で汗をかく習慣を身につけて暑熱順化していれば、夏の暑さにも対抗しやすくなり、熱中症にもかかりにくくなります。



環境省「熱中症環境保健マニュアル2022」(p.41より抜粋)
https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_manual.php

情報発信の手段・媒体や機会に関する事例

- 熱中症の予防行動・対策を促すための情報発信手段・媒体やその発信機会には以下のような例がある。伝えたい対象、内容によってこれらから選択したり組み合わせる。

- ・ web（ホームページ、SNS、アプリなど）
- ・ メール
- ・ パンフレット、リーフレット
- ・ 広報紙、フリーペーパー
- ・ チラシ
- ・ ポスター
- ・ テレビ、ラジオ（ケーブルテレビ、コミュニティラジオなど）
- ・ 大型ビジョン
- ・ 防災無線
- ・ 音声告知端末
- ・ 広報車（パトカー、消防車、青色防犯パトロール車両、ごみ収集車など）
- ・ 暑さ対策グッズ（うちわ、マグネット（温度計つきを含む）、飲料（経口補水液を含む）、塩飴・塩タブレットなど）
- ・ セミナー、講座
- ・ ウェビナー（webセミナー）
- ・ イベント
- ・ 個別訪問による見守り・声かけ



▲防災無線 拡声器[例]



▲音声告知端末[例]

ケーブルテレビやインターネット回線を利用し、行政からのお知らせ（募集・案内、交通情報、防犯情報、当番医など）を放送することができる。



▲ごみ収集車側面のマグネットポスター [例]



CHAPTER

04

連絡体制

地域の熱中症リスク評価

熱中症予防行動の効果的な情報発信

熱中症要配慮者への見守り・声かけ

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

涼み処

地域で活躍する団体や企業等との連携

さまざまな熱中症対策の取組事例

海外における熱中症対策の取組事例

石川県小松市 社会福祉協議会、民生委員と地域福祉推進員による、水・チラシの配布

- **社会福祉協議会**が行う高齢者等見守り活動のひとつとして、6月中旬頃から約3週間で民生委員と**地域福祉推進員**が独居高齢者等の見守り対象者約5,400人（令和5年現在）を訪問し、**地域の名産である水と熱中症啓発チラシ**を配布し、エアコンの適切な使用等、熱中症への注意を呼びかけている。



▲訪問時に持参したチラシ、うちわ、地域名産の水

- ・9月1日の**防災の日**に行う安否確認（訪問か架電）とあわせて、必ず年に2回は対象者と接する機会ができた。
※除雪時期にも対象者のことを気にかけている。
- ・一斉に行う取組があると広報もしやすく、民生委員等がこうした活動をしていることを知って頂く良い機会になっている。

■苦劳した点

- ・新型コロナウイルス感染症の流行以降、対面で会いたくない方にはドアノブにかけるなどしている。
民生委員、地域福祉推進員の使用するマスクは社会福祉協議会から提供した。
水の配布対象とならなかった方からは「隣の●●さんはもらえたのにうちはもらえなかった」と言われることもある。

■工夫した点

- ・小松市にいる約250名の民生委員だけでは、3週間で5,400人を訪問することは難しい。
民生委員とほぼ同数の地域福祉推進員が協力して活動いただけることで実施できている（ひとり当たりの担当者は約12名）。

鳥取県鳥取市 保健所と民生委員による、温湿度計・アンケート票・チラシの配布

- 保健所が主体となり、地区**民生委員**の協力のもと**75歳以上の独居高齢者**に対して、**温湿度計、アンケート票及びチラシ**を配付し、日々の温度・湿度・暑さの感じ方をチェックしてもらうことで**熱中症リスク**を認識してもらうとともに、リスクを低減する**行動変容**を促す
- 民生委員・児童委員との課題共有、連携強化を図る
- アンケート結果を協力者へフィードバック、施策への反映を目指す

熱中症 ～思い当たることはありませんか？～
熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です

こまめに水分を取っていますか？

- × のどの渇きを感じない
- × 夜中にトイレに行くのが面倒だ

高齢者は、加齢によりのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。このため、のどの渇きを感じなくてもこまめに水分補給をする必要があります。また、体に必要な水分の補給を我慢することは、特に危険です。

エアコンを上手に使っていますか？

- × エアコンは体が冷えるから嫌だ
- × エアコン等が使えない

エアコンや扇風機は、温湿度設定に気を付けたり、体に直接あたらないよう風向きを調整するなど工夫をすると、体が冷えすぎず、快適に使うことができます。これらが使えない場合は、シャワーや冷たいタオルでも、体を冷やす効果があります。

暑さに強いから大丈夫？

- × 暑さをあまり感じない
- × 汗をあまりかかない

高齢者は、暑さに対する感覚が鈍くなり、発汗などから熱を逃がす機能が低下します。暑い日は無理をしない、室内でも温湿度計を置き、部屋の温湿度が上がりにくいよう、常に心掛けましょう。

部屋の中なら大丈夫？

- × 部屋の中では熱中症対策をしていない
- × 夜は特に注意していない

熱中症は、室内や夜間でも多く発生しています。すだれやカーテンで直射日光を遮る、換気をして屋外の涼しい空気を入れる、必要に応じてエアコン等を使用するなど、部屋に熱がこもらないように、常に心掛けましょう。

熱中症患者の年齢別割合
(2014年 熱中症による医療機関での受診者数に対する割合)

年齢	割合
小児	0.0%
少年	14.5%
成人	39.6%
高齢者	48.9%

環境省



▲ 訪問の様子



▲ 温湿度計及びアンケート票

◀ 配付チラシ

鳥取市「熱中症に注意しましょう！」『自分を守ろう！熱中症予防のススメ』（YouTube）

<https://www.city.tottori.lg.jp/page/4901.html>

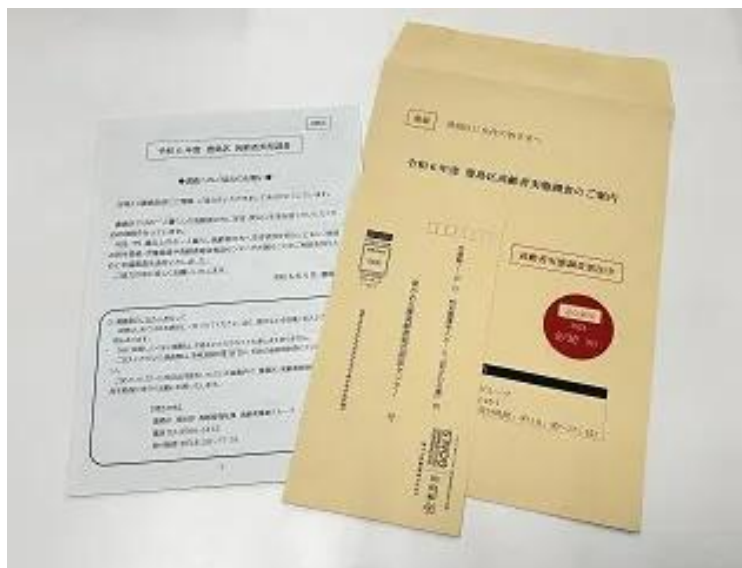
令和5年度モデル事業

東京都豊島区 見守り支援事業担当職員による、独居高齢者訪問と高齢者実態調査

- 民生委員・児童委員や高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当職員が、原則75歳以上の一人暮らし高齢者（約6,500世帯（※1））を対象として訪問し、熱中症対策のリーフレットやグッズ（保冷ボトルカバー）などを配付した。
- 生活状況や健康状態などを調査する高齢者実態調査（※2）も併せて実施
その回答をもとに、必要に応じて高齢者総合相談センター職員による各種サービスの提供、民生委員・児童委員による地域での見守り活動等につなげていく。



▲配付物一式（※3）



▲高齢者実態調査一式（※3）

（※1）75歳以上で一人暮らしではない方でも、高齢者総合相談センターが熱中症予防の啓発等で訪問する必要があると判断した方については訪問を行う。
また、介護保険サービス利用者や特別養護老人ホーム、有料老人ホームなどへの入所者等は訪問対象外となる。

（※2）3年に1度実施

（※3）画像は令和6年度配布物

豊島区「熱中症から一人暮らし高齢者を守れ！民生委員・児童委員等による熱中症予防訪問を実施しています」（令和6年5月報道発表）
<https://www.city.toshima.lg.jp/013/kuse/koho/hodo/r0506/2405271543.html>

■工夫した点

- ・訪問ではエアコン・扇風機等の適切な使い方、栄養管理や水分の取り方、室内や夜間における注意事項などを説明する。
加えて、日ごろの困りごとなどを聴きとり、孤独になりがちな一人暮らし高齢者に、必要に応じて各種サービスの利用を呼びかけている。

神奈川県川崎市 温度計付きチラシの使い方ガイド

- 市民と関わりがある各区の部署、民生委員や地域包括支援センター職員に、**温度計付きチラシ**とその「**使い方ガイド**」を併せて渡し、チラシのポイントを押さえたうえで高齢者を中心に配布していただく。
- 配布方法は手渡しを推奨。高齢者世帯を訪問する際に、**声かけツール**として有効との感想をいただく。

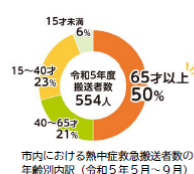
表面

令和7年度 温度計付きチラシについて

1. チラシの目的

熱中症による救急搬送者数の約半数は高齢者となっています。そのため、搬送者数を減らすためには、高齢者への啓発が重要です。高齢者は、暑さを感じにくい・体内の水分量が少ないという特有の要因により熱中症になりやすいとされています。御自身の熱中症リスクが高い状態にあることに気づいていない高齢者に対しては、周囲の方や地域における声掛けにより「気づきを促す」ことが重要となります。

本チラシは、地域の皆さまが高齢者へ熱中症予防の声掛けをしていただく際に役立つツールとして作成しました。



2. チラシ配布の対象者

高齢者

理由：

- ・暑さを感じにくく、熱中症を他人事ととらえがちで行動変容に結びつきにくい
- ・スマートフォン等を使用しておらず、インターネットで暑さ情報を取得するのが苦手

3. チラシ配布に協力していただきたい方

- ・高齢者と接する業務を行っている区職員
- ・民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の地域で高齢者福祉に携わっている方

4. チラシの渡し方

高齢者が集まる場や高齢者宅訪問時等に、「温度計付きのチラシであること」「いつも温度を意識して熱中症対策を行ってほしいこと」の2点を説明の上、手渡ししていただくことを想定しています。（渡し方はこのとおりでなくても構いません。）

※チラシの見方、ポイントなどは裏面を参考にしてください。

（問合せ先）
環境局環境総合研究所
電話：〇〇〇〇〇〇〇〇
FAX：〇〇〇〇〇〇〇〇
Mail：〇〇〇〇〇〇〇〇

裏面

チラシのポイント

表面

裏面

- 表面ではインターネットを使わずに、暑さ情報を取得する方法を紹介しています。
- 室内で1日過ごす場合、液晶温度計で室温を確認！
チラシを壁などに貼って、温度が常に目に入るようにしていただくことで、行動変容につながりやすくなります。
- 外出する場合、テレビや新聞の天気予報で気温を確認！
- 熱中症対策のポイントは、脱水症状にならない・体温の上昇を抑える
- 屋内でも・屋外でも脱水症状にならないために水分補給
- 屋内で体温の上昇を抑えるためにエアコン等を適切に利用（適切利用＝表面）
- 屋外で体温の上昇を抑えるために日傘・帽子を使用、こまめな休憩
外出中のこまめな休憩に利用できる「ちょこ涼」の一覧は市HPページよりダウンロードできます。
一覧を印刷して、チラシと併せて渡していただくことで、より効果的な啓発につながります。
- 環境総合研究所で実施した熱中症対策につながる調査結果です。

■ 苦労した点

- ・液晶温度計をチラシに貼り付けて印刷してくれる業者が限られている。
- ・コストが高い（1枚あたり約50円）ので、捨てられないものになるように考えた。一方で液晶の経年劣化には注意が必要で「高齢者にとって意識づけを行うためのはじめの第一歩である」という位置づけが望ましい。

■ 工夫した点

- ・訪問の際に室内がかなり暑いと感じることもあり、温度計付きチラシを使用する事で可視化できるので、暑さを個人の感覚によらず示せる。
- ・暑さを知る方法が分かりやすく記載されていて、スマホが苦手な人にも親切。



CHAPTER

05

連絡体制

地域の熱中症リスク評価

熱中症予防行動の効果的な情報発信

熱中症要配慮者への見守り・声かけ

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

涼み処

地域で活躍する団体や企業等との連携

さまざまな熱中症対策の取組事例

海外における熱中症対策の取組事例

青森県むつ市 むつ市立図書館での「クーリングシネマ」

- 市有施設でのクーリングシェルトー開設に合わせ、通常の図書館営業に加えて、普段は講演会等を対象に団体向け貸出に対応しているミニシアター「視聴覚ホール」を“涼みどころ”として開放し、**上映設備と図書館で所蔵している映画DVD等を活用して、映画を観ながら涼める時間と空間を提供**
- 図書館休館日についても、閲覧エリア以外は開放



■ コメント

- ・「いつもの図書館」で十分クーリングシェルターの役目は果たせますが、今あるリソース（ミニシアター・所蔵DVD）を活かし、ちょっとした仕掛けをすることで「図書館ってこんなこともしているんだ！」というインプレッションを市民にお届けしたいと考えたのが企画のスタート

■ 苦労した点

- ・上映権付きの映像資料は高価で所蔵数も限られるため、ラインナップを構成するのに苦慮した（次年度以降も継続の要望が多いので今後もDVD資料に予算を割く必要がある）。



▲クーリングシネマに使用した 視聴覚ホール

- 上映日数 : 22日間
- クーリングシネマの延利用者数 : 380人
- 実施期間中の
図書館来館者数の伸び : 112%
(コロナ禍前3カ年(H29~R1)平均との比較)

※当館がカバーする下北半島地域には映画館がないことがポイント。



東奥日報2023年8月8日朝刊

■工夫した点

- ・青森県下北地域県民局のご協力を得て、映画と映画の合間は局が制作した下北半島の観光PR動画で繋ぎ、こちらも好評を得た。
次年度は、熱中症対策のPR動画等も併せて上映したいと考えている。

石川県金沢市 クーリングシェルター指定施設ごとの特色ある熱中症対策の取組

- 金沢市では市内の公共施設37か所、民間施設（薬局や大型商業施設等）20か所をクーリングシェルターに指定した。 ※令和7年度からは新たに民間施設も指定
- 熱中症特別警戒アラートや熱中症警戒アラートの発表有無にかかわらず、夏季の高温時に休憩できる場所として利用可とし、市民への普及啓発を行った。

■ クーリングシェルターでの取組内容

- 期間：令和7年7月1日（火）～9月30日（火）
- 場所：公共施設37か所、民間施設20か所
- 設備：施設により異なる
 - ・ ウォーターサーバーの設置
 - ・ 熱中症予防動画の放映
 - ・ 「木の文化都市・金沢」らしい雰囲気の会場づくり
 - ・ 熱中症対策啓発リーフレット、スタンドパネルの設置



▲スタンドパネル

<参考> 「金沢市における木の文化都市の継承と創出の推進に関する条例」
（市の施設における積極的な木の利用等）

第13条 市は、自ら行う建築物等の整備に木材及び木材を使用した製品を率先して利用するよう努めるものとする。

石川県金沢市 クーリングシェルター指定施設ごとの特色ある熱中症対策の取組

- 金沢市役所第一本庁舎のクーリングシェルターは、観光地に隣接しており、ガラス張りで外からの視認性が高いため、気軽に立ち寄れる休憩スペースとして**1日に200名**程度の利用があった。



▲金沢市役所第一本庁舎

●氷室の氷

毎年6/30の氷室開き※にあわせて、7/1に市役所で展示
クーリングシェルターとコラボして、涼しさを演出

※氷室開き

江戸時代加賀藩が徳川家に氷を献上していたことに由来する伝統行事。

江戸時代には氷は非常に貴重であったため冬になると「氷室」と呼ばれる貯蔵庫(氷室小屋)に雪を詰め、保管した。そして、旧暦6月1日を「氷室の朔日」と呼び、保管していた雪氷を切り出して、徳川家に氷を献上していた。

これを再現した催しを「氷室開き」として、毎年6月30日に湯涌温泉にて行っている。氷室小屋で仏事後、切出された雪氷を薬師寺へ奉納する。

(引用：金沢市観光協会)

●パンチカーペット (青色)

クーリングシェルターの視認性と涼しさを演出

●木製ベンチ

既存のベンチを活用し、「木の文化都市・金沢」らしい会場づくりを演出



▲金沢市役所第二本庁舎

■工夫した点

- 金沢市役所第一本庁舎は青いカーペットで涼しさを表現し、ガラス張りの立地を利用して、外から見てわかりやすく入りやすい空間を意識した。
大塚製薬（株）との連携で「はたらく細胞」の動画を流し、熱中症の知識も提供できるようにした。

石川県金沢市 クーリングシェルター指定施設ごとの特色ある熱中症対策の取組

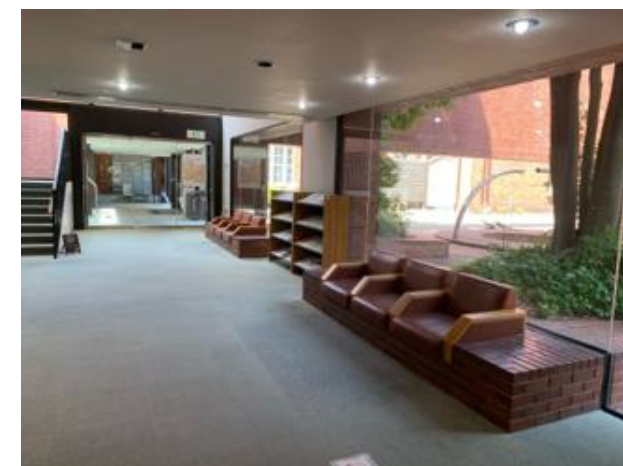
簡易型



▲金沢学生のまち市民交流館



▲泉野図書館



▲玉川図書館



▲近江町交流プラザ



▲金沢プール



▲鳴和台体育館

石川県金沢市 クーリングシェルター指定施設ごとの特色ある熱中症対策の取組

子ども向け

■ 泉野図書館

- 夏休み期間中、小学生の利用が非常に多いため、小学生の自由研究に役立つような熱中症に関するクイズなどを行った。



- 金沢市職員が講師を務め、図書館を利用する小学校4～6年生を対象に、熱中症に関する基本的な講義を実施した。

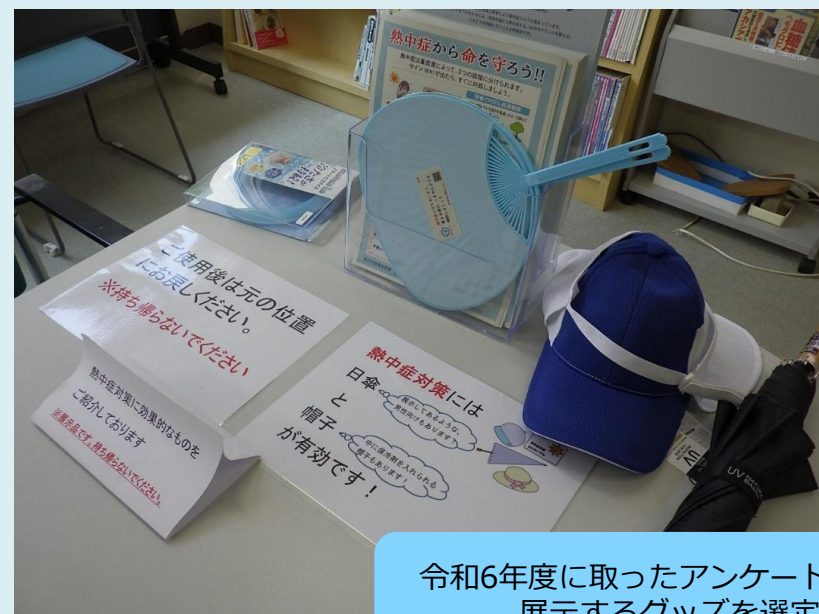
熱中症についての
特集コーナーも設置！



高齢者向け

■ 金沢健康プラザ大手町

- 高齢者の利用が多い施設であるため、高齢者の方が使いやすい熱中症対策啓発物品を展示した。



令和6年度に取ったアンケート結果から
展示するグッズを選定！

- 帽子、ネッククーラー、日傘、うちわ等を展示し、実際に手に取ってもらうなど、工夫を凝らした取り組みを実施した。あわせて、高齢者向けリーフレットの配布も行った。

「静岡県美容業生活衛生同業組合」（静岡県静岡市ほか） 加盟店舗の指定

- 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の考え方に賛同した**静岡県美容組合（静岡県美容業生活衛生同業組合）**が、まず静岡市に働きかけ。116店舗の協力（令和6年9月30日時点）を得る。浜松市や掛川市でも同様に展開中
- 厚生労働省「理容所及び美容所における衛生管理要領」に“待合所”を設置する規定があり、これを援用
- 組合は支部長を通じ写真や情報を集め、静岡市との協定をとりまとめ
- 教育委員会を通じて**静岡市内のすべての小・中学校**に、組合が独自に制作したポスターを配布



▲静岡市制作のポスター
サイズは3種類用意されている。



▲待合所
場合により作業場の美容椅子も利用できる。



▲組合が独自に制作したポスター

■苦勞した点

- ・市と個別店舗になると連絡や調整が難しいので、とりまとめ部分を組合が担った。協定書には店舗の写真を含めるものとして、その写真や店舗情報の収集で支部長にはご苦勞をいただいた。

■工夫した点

- ・児童・生徒にも、暑いときには美容室でも休息ができることを伝えたかった。すべての小・中学校の校長先生宛に手紙とポスターを送付して、理解と周知を促した。

「訪問看護ステーションあっと」（京都府八幡市） 事務所の指定

- 「訪問看護ステーションあっと」は、これまでの代表のご経験をもとに、医療者や家族主体ではなく“ご本人様が主体的に意思決定できるように”との思いから京都府八幡市に設立
- クーリングシェルターは身構えずに取り組める「地域や社会への貢献」
過度に理想を追求することなく、高齢者を中心に気軽に休んでもらえる場所として、まずは続けていくことが大切だという認識
- 1階の**受付・相談スペース**兼倉庫を活用
この場所は、職員が訪問先から戻ってきた際に必ず通るため、常に冷房が効いている状態に
- **看護師などの専門職**がいることにより、緊急時の一次対応も可能に



▲全景

- ・1階は受付・相談スペースの他資機材の受入れ・保管場所、夜間はバイクなどを置く倉庫として活用している。2階が事務室。



▲入口

- ・ポスターによるクーリングシェルター表示
左手に受付・相談スペースがある。今夏は4～5名の利用があった。



▲受付・相談スペース

- ・訪問看護の相談やアドバイス等を行う他、クーリングシェルターとしても活用している。

■苦勞した点

- ・自分の想いと、スタッフの想いの間にギャップがあっただけなので、その点は注意するようにしている。

■工夫した点

- ・訪問看護ステーションで2階建ての建物は珍しいという。入口にはセンサーやカメラを設置しており、2階からでも状況の確認など対応が可能である。

栃木県矢板市 矢板市クーリングシェルター募集要項

矢板市 クーリングシェルター 応募用紙			
			別紙様式
市民生活部 生活環境課 宛て (FAX) 0287-43-7501 (メール) seikatsukankyo@city.yaita.tochigi.jp			
応募内容(施設情報及び応募者)			
情報内容		記入欄	
施設情報 (公開情報)	施設等の名称		
	所在地	(郵便番号)	
		住所	
	電話番号		
	受入れ可能な 曜日及び時間	曜日	
		時間	
		特記事項	
	受け入れ可能人数		
休息場所の概要			
※上記内容は、Webページなどに掲載します。紙面の関係上、文章を変更する場合がありますのでご了承ください。			
担当者所属・氏名			
連絡先電話番号			
連絡先FAX番号			
連絡先Eメールアドレス			
※栃木県内に熱中症特別警戒情報が発令された際、特に指定のない場合は上記の内容のうち、Eメールアドレスに連絡をさせていただきます。Eメール以外の手段で連絡を希望される場合は、各連絡先の後ろに(指定連絡先)と記入してください。			
当施設は、矢板市クーリングシェルター募集要項の内容に基づき、矢板市が矢板市クーリングシェルターに指定されることに同意します。			
施設名			
代表者名			
※本人が手書きしない場合は、記名押印してください。			

■苦労した点・工夫した点

- 令和5年度のクーリングシェルターの開設については、令和5年度に入ってから開設することを決定したため、完全にゼロ予算での取組となりました。ゼロ予算、ゼロ構想からの出発で夏までに運用開始できるよう、如何に関係各所に負担がかからない形で実施するかを検討し、「民間施設については、イートイン又はフードコートが設置されているスーパーマーケット」と対象を絞り、該当する施設に個別に依頼し、依頼した全施設からご協力をいただくことができました(市内で条件を満たす施設は4施設でした)。
- イートイン、フードコートはクーリングシェルターに必要な要素を備えているため、施策開始までの時間短縮を目的として対象を限定しました。
- スーパーマーケット側は、元々、涼みに来るだけのお客様も一定数いるため、開設を依頼する際、クーリングシェルターに指定されることにあまり抵抗はないような印象を受けました。

■他の都道府県、市町村へ向けてアピールしたいこと

- 手間と予算をかければ、その分優れた施策になると思いますが、既存の資源を活用することで、関係各所、最小限の負担で、必要十分な効果を発揮することが可能だと思います。

■ポスターについて

- クーリングシェルターとしてご協力いただいた施設に別添(※前頁)のと通りのポスターを送付しました。
- 無償で協力していただいていることを踏まえ、少しでもスーパーマーケット側にメリットのある内容のポスターを作成したいと考え、矢板市の管理栄養士監修の下、夏バテになりにくい食材とレシピを啓発する内容のポスターを作成しました(熱中症を防ぐ栄養素はないとのことなので、夏の体力低下を防ぐというコンセプトです)。
- クーリングシェルターを利用した方がポスターを見て、買い物をする契機となればという思いも込めています。

徳島県美馬市 民間施設クーリングシェルター指定要領

- 指定要件：冷房設備があり、3人以上が休憩できる椅子等を設置できる施設
- 募集期間：令和6年4月8日（月）～9月30日（月）

ご協力いただく内容

- ① 事業者が所有する店舗等を、美馬市が指定する期間内において、「クーリングシェルター」として開放する【任意】
- ② 「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合は、その対象日に店舗等を「クーリングシェルター」として開放する【必須】
- ③ 「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合、クーリングシェルター利用者に対し、美馬市があらかじめ配布するイオン飲料（1日1人あたり1本を限度）を提供する【任意】
（冷蔵設備が備えられている店舗等については、提供するイオン飲料をあらかじめ冷蔵しておく）
- ④ 美馬市が指定する期間中、熱中症予防啓発資材（パンフレット等）を、来店者が持ち帰れるよう店舗等に配置する【必須】
- ⑤ 希望する従業員等が、大塚製薬株式会社が提供する「熱中症対策アンバサダー講座」を受講できるよう配慮する【任意】
- ⑥ 美馬市及び大塚製薬株式会社が共催する「熱中症対策健康会議」に出席する【任意】
- ⑦ 美馬市が指定する期間中、店舗等の入口に市等が提供するポスターやのぼりを掲示する【必須】



▲マルナカ脇町店
イートインスペースにのぼり、入口にポスターが掲示されている。

徳島県美馬市 民間施設クーリングシェルター指定要領

入力フォーム

1 入力 2 確認 3 完了

下記のフォームにご入力をお願いします。

Q1. 担当部署 必須

会社名

会社名 必須 0 / 64

会社所在地

郵便番号 必須 都道府県 必須 市区町村 必須 0 / 64

番地以降 必須 0 / 8

会社電話番号

電話番号 必須 0 / 15

担当者

Q8. 受入可能人数 人

Q9. 協力できる取り組み内容（協力できる内容全てにチェックしてください） 必須

- ☐ ・市が指定した期間、「クーリングシェルター」として店舗等を開放する
- ☐ ・「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合、その対象日に「クーリングシェルター」として店舗等を開放する
- ☐ ・「クーリングシェルター」として開放する店舗等は、冷房し、3人以上の利用者が休息するための椅子等を設置する
- ☐ ・「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合、クーリングシェルター利用者にイオン飲料を提供する
- ☐ ・使用するイオン飲料は、冷蔵保存できる
- ☐ ・市が指定する期間中、来店者向けに、熱中症予防啓発資材（パンフレット等）を店舗等に配置する
- ☐ ・従業員等に「熱中症対策アンバサダー講座」を受講させる
- ☐ ・美馬市及び大塚製薬株式会社が主催する「熱中症対策健康会議」に出席する
- ☐ ・市が指定する期間中、市等が提供するパンフレットやのぼりを店舗等に掲示する
- ☐ その他

→ 確認画面へ進む 入力内容を一時保存する



▲地域交流センターミライズ
のぼりとポスターを設置。

▲入力フォーム

北海道札幌市 地下歩行空間（チ・カ・ホ）の指定

- 2024年7月に、札幌駅前通地下歩行空間（愛称：チ・カ・ホ）をクーリングシェルターとして指定
チ・カ・ホ全体がクーリングシェルターとして指定している区画であり、道なりに椅子が設置されている。
- チ・カ・ホは2011年3月に開通した札幌駅周辺地区と大通駅周辺地区とをつなぐ地下通路であり、都心商業圏の回遊性を高め、四季を通じた安全・快適な歩行空間として親しまれている。
- 空調は2011年の開通時から備わっており、2018年9月の北海道胆振東部地震の経験を踏まえ、非常用発電機の整備も進められてきた。



▲札幌駅側から見たチ・カ・ホの風景



▲チ・カ・ホ内に設置されている椅子

地下広場について <https://www.sapporo-chikamichi.jp/about/>

札幌駅前通地下歩行空間の整備効果 <https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/stn/genzainojigyo/ekimaechika/seibikoka.html>

■苦勞した点

- ・チ・カ・ホは、市道と国道にまたがる地下歩道とその両側に設置された広場空間からなる施設であるため、クーリングシェルターの指定にあたって、指導と広場を所管する札幌市役所の部署（道路維持課、都心まちづくり課）との調整、国道を所管する国土交通省北海道開発局との協定締結、施設管理者（民間企業）との調整が必要になるなど、時間を要した。

■工夫した点

- ・令和7年度地方公共団体における効果的な熱中症対策の推進に係るモデル事業の採択事業の一環として作成した熱中症予防行動の啓発動画及びクーリングシェルターの普及啓発動画を、チ・カ・ホの広場空間に設置されているサイネージを含めた近隣数か所の街頭ビジョンにて2025年7～8月の期間で放送し、熱中症対策の市民意識向上を図った。

福井県若狭町 「駅」の指定

- 若狭町では、JR西日本 小浜線の三方駅、十村駅、上中駅をクーリングシェルターに指定
三方駅、上中駅は**若狭町**、十村駅は「**一般社団法人とむら**」による管理



◀三方駅
(サンレイク観光会館・三方駅)
若狭町による管理。乗車券等の発売、観光案内、特産品等の展示、コミュニティカフェ業務等を担っている。待合室、コミュニティカフェ、休憩室、管理事務所、会議室やその他必要な施設が設置されている。

上中駅 ▶
(かみなか観光物産センター)
若狭町による管理。乗車券類の発売、レンタルサイクルの貸出、特産品等の展示、周辺環境の清掃整備業務等を担っている。特産品、待合室、壁面展示コーナー、交流サロン、観光案内の事務室やその他センターに必要な施設が設置されている。



■ 苦労した点

- ・クーリングシェルターを地図に落としてみたところ、国道沿いなど居住者の多い場所に偏って指定されていた。どの集落からでも歩いて行ける場所に設置できるように、と意識している。

■ 工夫した点

- ・「若狭町が管理している施設」という点に着目して、積極的に指定を進めた。指定にあたっては、ひとのつながりも大切にしてほしいや相談をしている。

御坊市社会福祉協議会（和歌山県御坊市） 「TUNAGARU カフェ」の指定

- 市民の交流の場として開設している「TUNAGARUカフェ」を指定
- 飲み物や氷を常備した冷蔵庫を設置
- 飲み物の利用状況から利用者数を推計、令和6年度の利用者は1,119名



▲TUNAGARUカフェ

▼ドリンクコーナー



御坊市社会福祉協議会ホームページ <https://www.gobo-shakyo.jp/>

■工夫した点

- ・御坊市社会福祉協議会が運営する御坊市民大学「はまぼう学園」に高齢者の多くが参加しており、講義やクラブ活動終了後に、TUNAGARUカフェに立ち寄って帰宅する流れがあった。また、夏休み期間中は、小学生を対象とした宿題カフェやイベントを開催している。
- ・自治連合会を通じて、全戸に施設の紹介チラシを配布

Orange Heart Laundry 松岡店（静岡県富士市） コインランドリーの指定

- 大東建託グループの（株）ガスパルが運営する**Orange Heart Laundry（オレンジハートランドリー）**は、地域に密着した店舗運営を目指し「安心感」を意味する「オレンジハート」をブランド名に。
- 「**人の生きる**」と共に歩む**エネルギー企業**として、豊かな社会の実現に貢献するというミッションのもと地域に密着した企業活動を推進。安心なまちづくりへ貢献したいという思いから協定締結に至る。

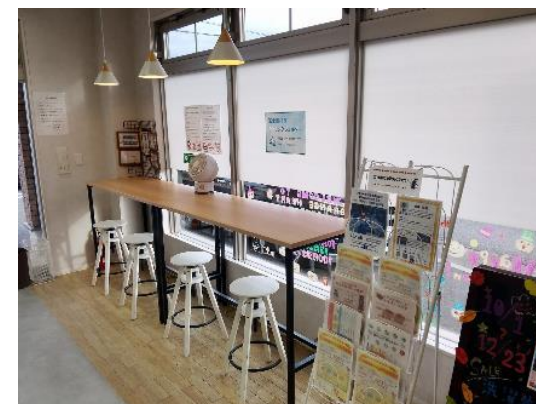


▲松岡店（外観）

- ・毎日午前5時～25時（午前1時）と、長時間開放できることが特徴である（※臨時休業あり）。



▲松岡店（店内） 受入可能人数は4名。通常は休憩スペースとして活用されている。



クーリングシェルターの表示▶
（入口、店内）



Orange Heart Laundry ホームページ <https://www.gas-pal.com/laundry/>

■苦勞した点

- ・どのような手続きが必要であるのかわからず、行政との調整に時間を要した。

■工夫した点

- ・基本的に無人運営のコインランドリーにおいては、複数の防犯カメラを備え、設備の状況はクラウド上で遠隔管理している。また、他店舗ではあるが、災害時のガス炊飯や電源が確保できる「災害時対応型コインランドリー」として店舗設計をしているところもあり、地域や社会への貢献を常に意識するように心がけている。



CHAPTER

06

連絡体制

地域の熱中症リスク評価

熱中症予防行動の効果的な情報発信

熱中症要配慮者への見守り・声かけ

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

涼み処

地域で活躍する団体や企業等との連携

さまざまな熱中症対策の取組事例

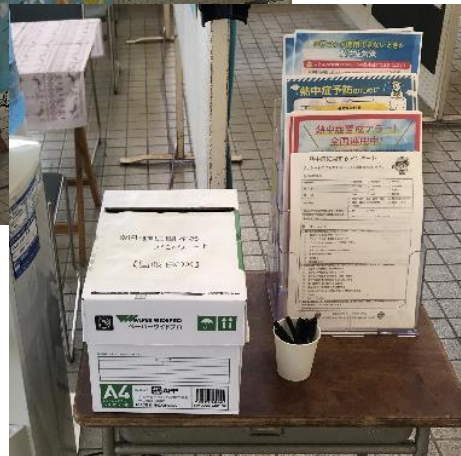
海外における熱中症対策の取組事例

千葉県いすみ市 「涼み処」

- 「涼み処」にはアンケートとウォーターサーバーを設置、飲料水を提供
- 地元の千葉県立大原高校の美術部員、書道部員の協力を得て**視覚的に涼しく装飾、演出**



▲涼み処（本庁舎）
ポスターやパンフレットも設置



▲アンケート



▲涼み処（岬庁舎）



▲ウォーターサーバー

■ 苦労した点

- ・ 令和5年度に試行的に設置したところ、スペースの確保が困難であり水分補給のみで帰られる方も多く、熱中症に対する正しい知識を周知することができなかった。

■ 工夫した点

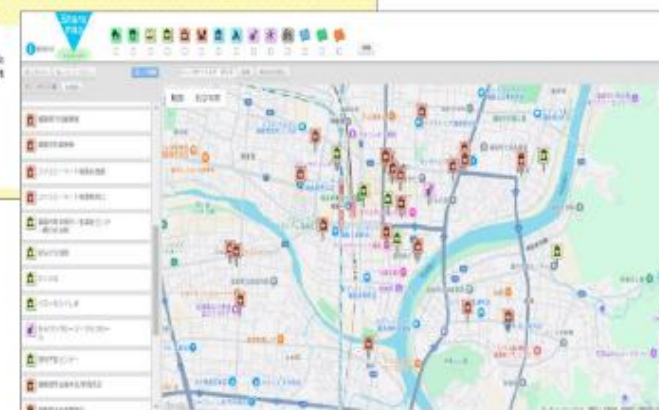
- ・ スペースの確保と、最大収容人員を超えた場合の拡張を見据えた体制づくりを行った。休憩スペースではアンケートも実施し、取組の課題を認識し今後につなげていく。

福島県 「ふくしま涼み処」

- 県内公共施設、民間施設のうち「ふくしま涼み処」（一定期間、暑さをしのぐことができる施設）として協力いただける施設を募集
- 登録数は**県内1,302か所**（公共施設471か所、民間施設831か所）にのぼる
各施設にはポスターとのぼり旗を掲示し、PRを行う
- 登録施設、利用時間や地図情報を**福島県気候変動適応センター**のホームページにて案内
アクセスしやすくするためにポスターにホームページの2次元コードを表示



▲「ふくしま涼み処」の事例



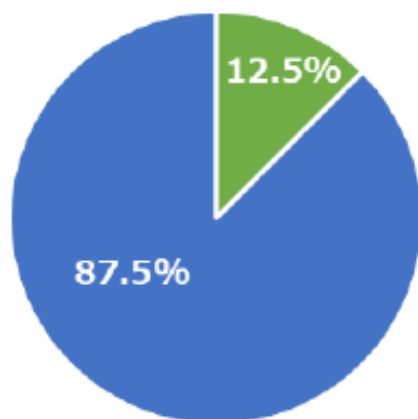
▲すべての施設をシェアマップ（クールシェア事務局による運用）に掲載している。
※期間外には公開されていません。

福島県気候変動適応センター <https://www.fukushima-kankyosozo.jp/lccac/kenkou/heatillness.html>

福島県 「ふくしま涼み処」

●「ふくしま涼み処」利用者へのアンケート

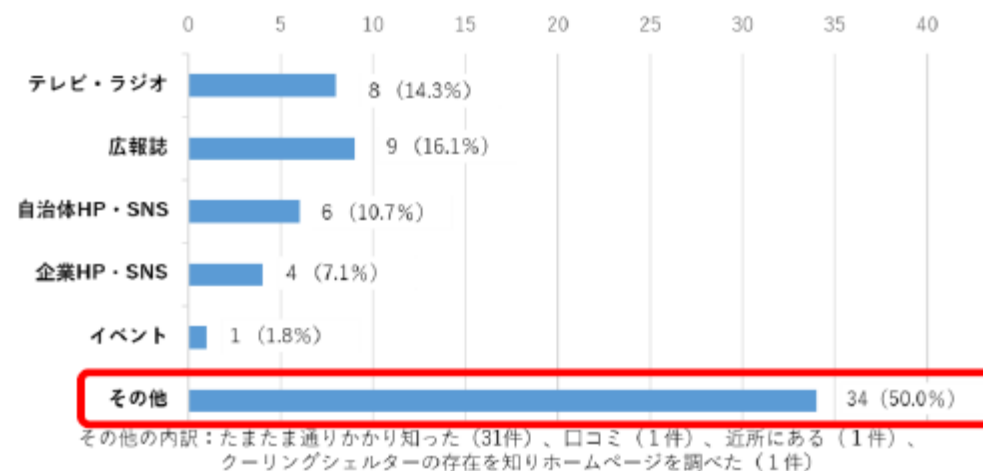
利用した感想として
約88%の利用者が「よかった」と回答



- 「よかった」87.5% (49件)
- 「よくなかった」12.5% (7件)

- ・こういう取組はありがたいです！（30代）
- ・とてもよい試みです。
熱中症を回避できました。（60代）
- ・もっと増やしてほしい。（10代）
- ・場所が増えるとよい。（40代）

約半数の利用者が、広報媒体経由ではなく「たまたま通りかかり（店頭でポスターやのぼり旗を見て）知った」と回答



- ・ポスターがあるところが少ないです。
もっと利用しやすいPRをお願いしたいです。（50代）
- ・（この取組を）もっと早く知りたかった。（70代以上）

「ふくしま涼み処」の取組自体は高い評価。
広報資材（ポスター、のぼり旗）含め、取組の認知が低く、さらなるPR、効果的な周知が課題

福島県 「ふくしま涼み処」

●「ふくしま涼み処」施設管理者へのアンケート

「ふくしま涼み処」の設置にあたって工夫した点、苦慮した点

- 広報面での工夫
 - ・ポスターを見えやすいところ（入口など）に設置
 - ・施設独自でPOPなどを作成し広報 …など
- 施設調整、設備面での工夫
 - ・いすを増やす、「ふくしま涼み処」のスペース増設
 - ・応急セットを設置
 - ・麦茶の提供 …など
- 冷房面での工夫
 - ・暑さが続いたため、通常の冷房期間を延長
 - ・こまめな温度調整 …など
- 庁内調整、施設調整面での苦慮（公共施設）
 - ・所管部署での調整、意思決定
 - ・会議等で使用できない場合の、代替場所の調整 …など
- 冷房面での苦慮
 - ・温度変更しても、すぐに館内が冷えない
 - ・エアコンの効きが悪い …など

広報資材（ポスター、のぼり旗）に関する要望

- 早期の提供
- ポスター、のぼり旗の増加
- ポスター内容の充実
 - ・施設一覧、熱中症の簡易判定や対処方法などを検索できる2次元コード表示

運用全般に対する意見、要望

- 必要な取組、今後も継続希望
- 県によるとりまとめも効率的、継続希望
- 早期の運用開始
- テレビ等による広報充実、周知強化
 - ・大きな費用のかかる新聞、テレビなどのメディアを活用した周知を県が行ってくれると、市町村はやりやすい
 - ・特に情報弱者とされる方への取組の周知強化
 - ・認知度が低い

広報資材の充実（ポスター、のぼり旗の増刷）や、取組のさらなるPR、情報弱者とされる方々を含む住民への効果的な周知が課題

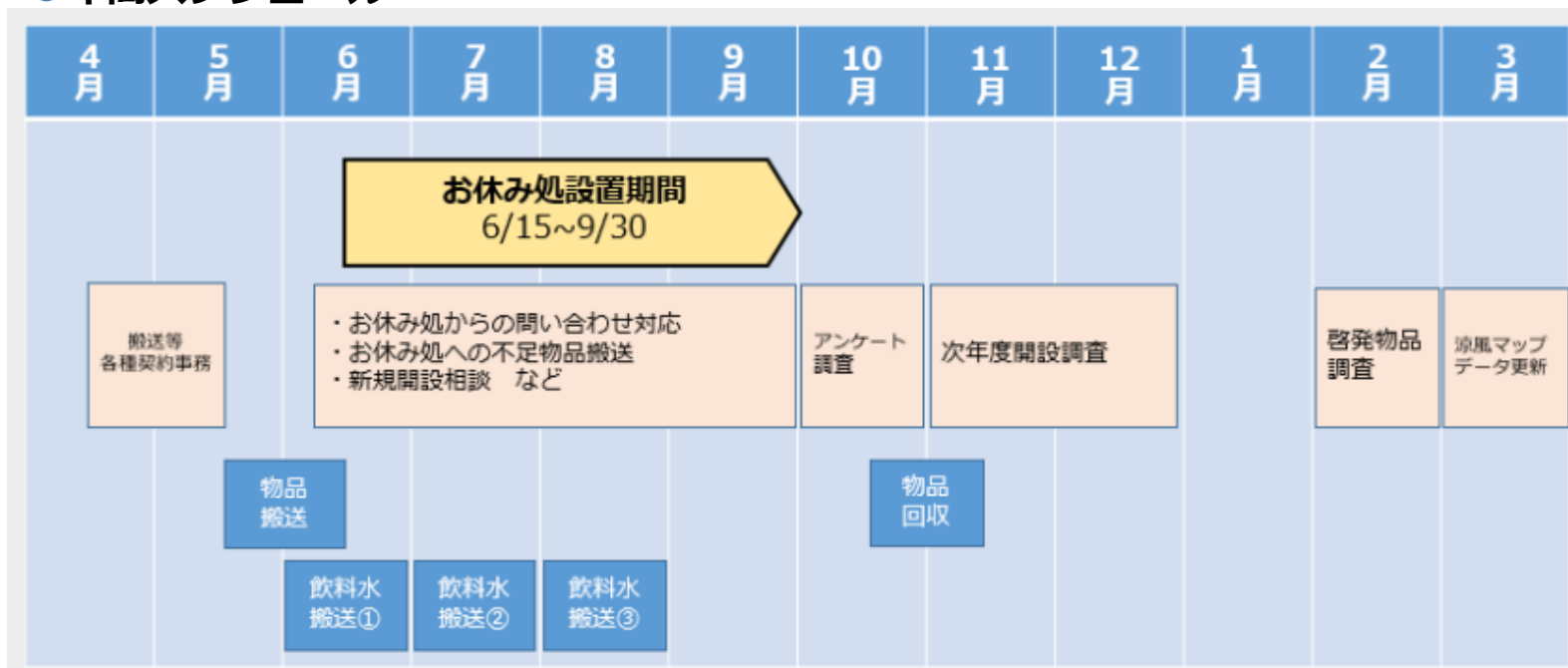
東京都世田谷区 「お休み処」

●民間施設における「お休み処」設置要件 ※区内278施設（うち民間施設は207施設）（令和5年度）

以下の点について、個別に聞き取りを行い設置の可否を判断している

- ① 冷房設備を備えている施設か
- ② 休憩ができるイス等があるか
- ③ 利用者へ営業を行うなど営利目的での設置ではないか

●年間スケジュール



▲「お休み処」栗の湯
(令和5年)

■苦労した点

- ・今後の課題としては、①設置箇所数増への対応（設置のルール化、全庁あげた取組等）、②事業の執行体制の確保、③更なる認知度の向上などが挙げられる。

■工夫した点

- ・設置時間については、施設の運営時間に合わせている。
- ・また、設置に必要な、飲料水、のぼり旗、啓発資材等は保健所から配送している（イスや机は施設の設備を利用）。



CHAPTER 07

連絡体制

地域の熱中症リスク評価

熱中症予防行動の効果的な情報発信

熱中症要配慮者への見守り・声かけ

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

涼み処

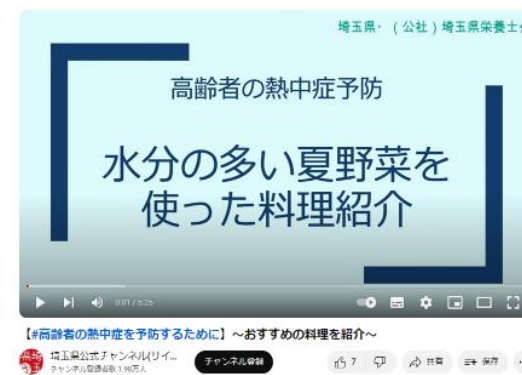
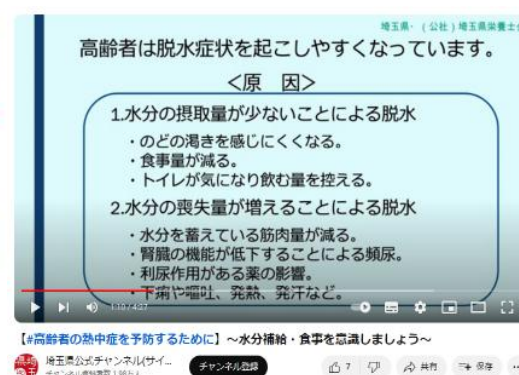
地域で活躍する団体や企業等との連携

さまざまな熱中症対策の取組事例

海外における熱中症対策の取組事例

埼玉県 公益社団法人埼玉県栄養士会との連携

- 熱中症予防お手軽レシピとして、県のホームページに「主食」「主菜」「副菜」「おやつ」別に13品を紹介
- 「水分補給・食事を意識しましょう」「おすすめの料理を紹介」の動画2本を作成



▲YouTube埼玉県公式チャンネル

高齢者の熱中症を予防するために

～水分補給・食事を意識しましょう～

https://www.youtube.com/watch?v=-BjC8_WjsQo

～おすすめの料理を紹介～

<https://www.youtube.com/watch?v=ceUj2buqk9o>

◀埼玉県HP「熱中症予防お手軽レシピ」

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0704/netsuchusyo/netsuchusyo_yobou_recipe.html

■工夫した点

- ・作成物を効果的に活用していただくため、県内市町村に対し広く周知した。

埼玉県

- “食事から熱中症を予防する”の他に、“ふだんから運動しましょう”としてレベルごとに動画4本を作成



高齢者向け運動 優しいレベル

<https://www.youtube.com/watch?v=AqRHKXsbagE>



高齢者向け運動 普通レベル

<https://www.youtube.com/watch?v=Zz9DXIWQbng>



高齢者向け運動 ハード編①

<https://www.youtube.com/watch?v=eX6xwjPVu3M>



高齢者向け運動 ハード編②

https://www.youtube.com/watch?v=_ZADw8jKee0



東京都墨田区 一般社団法人墨田区薬剤師会との連携

- 保健計画課が主体となり（一社）墨田区薬剤師会と共同で、誰でも立ち寄れる暑さをしのぐ場所・施設として「すみだひと涼みスポット薬局」を開設（区内約30か所）、啓発イベント、川柳コンテストも開催



▲墨田区「すみだひと涼みスポット薬局」

▲熱中症対策啓発イベントによる情報発信

■苦労した点

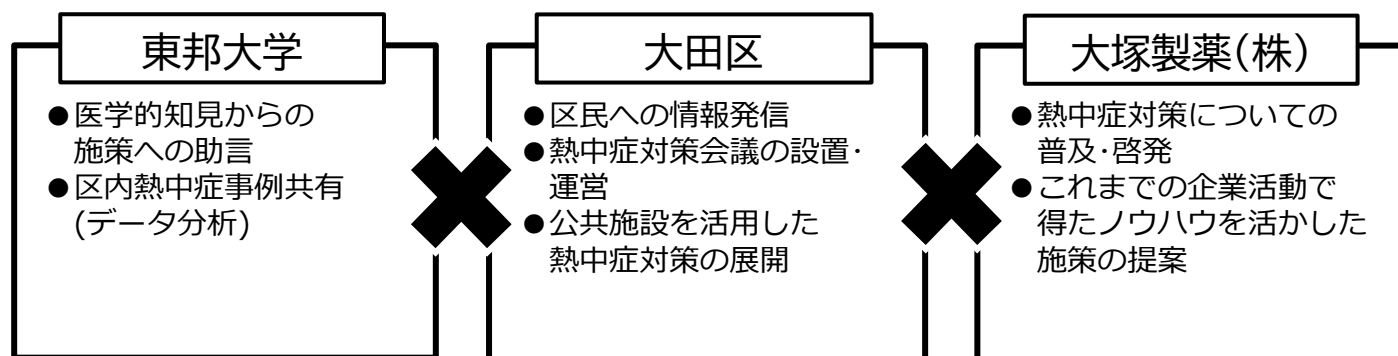
- ・患者さんと暑さをしのぐ場所・施設を利用する方の休憩場所の確保。
- ・薬局業務との同時運営
- ・薬局を暑さをしのぐ場所・施設としての「ちょっと休憩」の認知度をあげること。

■工夫した点

- ・川柳コンテストの応募用紙の受付場所をひと涼みスポット薬局にすることで、薬局のPRと暑さをしのぐ場所・施設としての「ひと涼みスポット薬局」のPRにつなげた。

東京都大田区 産官学連携による“大田区熱中症対策コンソーシアム”

- 熱中症から区民の命を守ることを目的として、**大田区、学校法人東邦大学、大塚製薬株式会社**（大田区と包括協定を締結している）の3者をコアとし、様々な団体に参画いただき、熱中症対策をオールおたで推進していく取組み「**大田区熱中症対策コンソーシアム**」を令和6年6月1日に設置



大田区熱中症対策会議

第1回 令和6年6月25日（火）
第2回 令和6年11月21日（木）

- **大田区熱中症対策コンソーシアム**に参画している団体で構成される会議を開催。今年度の熱中症対策の取組や振り返りなどを共有し、来年度の熱中症対策に向けて、オールおたで取り組んでいくことを確認



会議の様子▶

■ 苦労した点

- ・ 行政の意思決定に要する時間が民間よりも遅くスピード感をもった動きがとりにくい。

■ 工夫した点

- ・ 継続した取組みとしていくため、企業にはビジネスを通じて取り組んでもらっている。

参加団体一覧（令和7年3月31日時点）26団体

※50音順

- ・ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- ・ 株式会社イトーヨーカドー 大森店
- ・ 株式会社NTTデータ
- ・ 大塚製薬株式会社
- ・ 花王グループ カスタマーマーケティング株式会社
- ・ 株式会社きらぼし銀行
- ・ 京急開発株式会社
- ・ 京浜急行電鉄株式会社
- ・ さわやか信用金庫
- ・ 城南信用金庫
- ・ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
- ・ 第一生命保険株式会社
- ・ テレキューブ株式会社
- ・ 東急株式会社
- ・ 学校法人東邦大学
- ・ 株式会社東横建設
- ・ 日本生命保険相互会社
- ・ 株式会社長谷工コーポレーション
- ・ パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社
- ・ マチノマ大森
- ・ 明治安田生命保険相互会社
- ・ 株式会社リコー
- ・ リコージャパン株式会社
- ・ 株式会社リビングライフ
- ・ 株式会社リビングセンター
- ・ リビング建設株式会社

大田区ホームページ
<https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/kouminrenkei/announcement/otakunettyuusyoutaisakukonso.html>

東京都大田区 産官学連携による“大田区熱中症対策コンソーシアム”

- 大田区熱中症対策コンソーシアムの取組みとして、区民に熱中症に関する正しい知識を蓄えてもらうことを狙いとして、医学的な専門知識を有する東邦大学監修のもと、「啓発用ポスター」、「熱中症対策動画」を作成するほか、対象を絞った「熱中症対策講座」を実施することにより、熱中症に強い大田区をめざす。

啓発用ポスター

- 「あつい夏には知恵が効く」を共通のフレーズとして、熱中症に関するミニ知識を入れたポスターを作成（全6種類）



ミニ知識(全6種類)

- No.1: 「慣れない体は、キケンです。」
- No.2: 「ただしく、早く、浸透してほしい。それは、知識と水分です。」
- No.3: 「家のなか、温室になってませんか?」
- No.4: 「その頭痛、だるさは黄色信号」
- No.5: 「食事と睡眠の暑いカンケイ」
- No.6: 「わたしには、わたしの こどもには、こどもの 高齢者には、高齢者の」

熱中症対策動画・講座

- 視覚的な情報で、区民の熱中症に関する興味・関心を高めるため、熱中症対策動画を作成。

区民に向けた啓発



- ◀専門医による正しい知識を伝えることを目的として本多満先生（東邦大学医療センター大森病院）による「この夏注意すべき暑さ～救急医からみた熱中症対策～」を動画として区のYouTubeや東邦大学HPにて公開
<https://www.youtube.com/watch?v=yvnU3BRDrJ8>

- 大田区と東邦大学が連携して「大田区産官学連携人材育成講座」を開催。対象者別に全4回の講座を実施

働く方々に 対象を絞って啓発



高齢者を支える方々(福祉・介護従事者)に 対象を絞って啓発



東京都大田区 産官学連携による“大田区熱中症対策コンソーシアム”

大田区熱中症対策コンソーシアムに参画している民間企業等による取組事例



マチノマ大森

熱中症予防に関する正しい知識をひとりでも多くの方に知っていただくことを目的に生活の場である商業施設から情報を発信した。

◀ マチノマ大森内
デジタルサイネージによる啓発



株式会社きらぼし銀行

大田区内の支店では、入口や目の付きやすい場所にチラシを掲示している。行員が熱中症対策に関する講座を受講し、各支店での接客や営業活動時にお声がけやチラシの配布を行った。

◀ きらぼし銀行 大森支店 チラシによる啓発



京急開発株式会社

8月上旬に、BIGFUN平和島夏のイベント「SUMMER FESTA in Heiwajima」を開催。横浜銀行アイスアリーナで本来廃棄される氷を有効活用した「氷のひろば」を実施し、来場客の顔や身体を冷やすことで、熱中症対策を行った。

◀ 「氷のひろば」のこども用プール



東急株式会社

駅を利用する方々に、熱中症予防を呼びかけることを目的に東急池上線・多摩川線内の計7駅でチラシを配架した。

（配架駅：蒲田、蓮沼、千鳥町、武蔵新田、下丸子、鵜の木、沼部）

◀ 蒲田駅（東急線） 熱中症対策チラシを配架



明治安田生命保険相互会社

大田区立おおもり園にて、熱中症についての説明とチラシ・うちわを配布した。その他、健康チェックイベントや営業活動内で熱中症対策の普及活動を実施した。

◀ おおもり園内
チラシを用いての説明



テレキューブ株式会社

断熱効果のある発泡スチロールを主材料として構成された「テレキャビン」（休憩ブース）をBIGFUN平和島の駐車場に設置、外部で作業をするスタッフの方々に猛暑の時に熱中症対策の休憩室として業務の間に一時的に「涼」を取る場所として一定期間ご利用いただいた。
※ブース内には、専用エアコンを設置している。

◀ BIG FUN平和島 クーリングシェルターを設置



日本生命保険相互会社

ベジチェックイベントを開催した際に、熱中症対策についての案内を併せて実施。さらに、健康分野に興味がある企業に向けて熱中症対策について説明を行った。

◀ 訪問先企業にて
熱中症対策について説明している様子



株式会社長谷工コーポレーション

マンションの建設現場（区内3か所）における仮囲いにて啓発用のポスターを掲示した。区民に啓発するとともに、建設現場で働く方に向けて、熱中症対策に関する情報発信を行った。

◀ 仲池上建設現場 熱中症対策ポスターを掲示

群馬県 “ぐんま熱中症予防サポーター企業”の登録企業

- 群馬県では、県の熱中症予防対策に賛同し、熱中症予防啓発活動に積極的に取り組んでいる企業を「ぐんま熱中症予防サポーター企業」として登録するしくみを整備し、令和6年度から開始5つの企業を登録している（令和7年3月1日現在）
- 登録した企業について、県は、①**県のホームページにおいて企業名、所在地、取組内容の公表**、②「ぐんま熱中症予防サポーター（企業）」の名称の使用資格付与、③その他県が必要と認める支援を行う



群馬ヤクルト販売株式会社

熱中症予防に係る在宅の高齢者等への普及啓発

暑い日には、各家庭を訪問した販売員により、外出を避けエアコン等を使用した涼しい室内で過ごすことや、こまめな水分補給等の呼びかけを行っています。熱中症警戒アラートが発表された際には、県の情報提供を受け、高齢者や小さいお子さんがいる家庭を中心に、訪問時に直接、熱中症予防を呼びかけています。



大塚製薬株式会社 北関東支店 高崎出張所

熱中症対策の普及啓発

熱中症啓発ポスターの作成・掲示や熱中症対策セミナーの実施を通じ、熱中症対策についての情報発信を行っています。また、熱中症対策アンバサダー講座の開催により、熱中症についての知識を備えた人材の育成に取り組んでいます。

群馬県 “ぐんま熱中症予防サポーター企業”の登録



株式会社ファミリーマート

熱中症対策の普及啓発、避難場所の提供

自治体や他企業と連携し、店頭での熱中症予防啓発を行っているほか、店舗を一時的な避難場所として提供しています。

令和6年度は、大塚製薬株式会社、群馬県と連携し、熱中症予防を呼びかける動画の作成と放映、並びにポスター・店頭POPの掲示を行いました。

※県内のファミリーマート49店舗（令和6年5月末時点）において、店内のサイネージで放映。県内全てのファミリーマートにおいて、熱中症予防を呼びかけるポスターと店頭POPを掲示（期間：令和6年7月2日（火）～令和6年7月15日（月）まで）。

株式会社クスリのマルエ

熱中症対策の普及啓発、避難場所の提供

熱中症啓発ポスターの掲示や熱中症対策セミナーの実施を通じ、地域の住民へ向けた情報発信を行っています。店舗では、専門知識を有する薬剤師等による啓発活動を行うほか、店舗を一時的な避難場所として提供しています。

株式会社ジーシーシー自治体サービス

水道検針業務を活用した県民への熱中症への注意喚起

水道検針業務で利用者宅を訪問した際、こまめな水分補給や、汗を多くかいた時には塩分補給も行うなどの熱中症対策についての呼びかけを行っています。特に、高齢者や子どもに対する呼びかけを強化しています。



▲熱中症予防サポーターカード
本事業に登録いただいた企業へ配布しています

■ 苦労した点

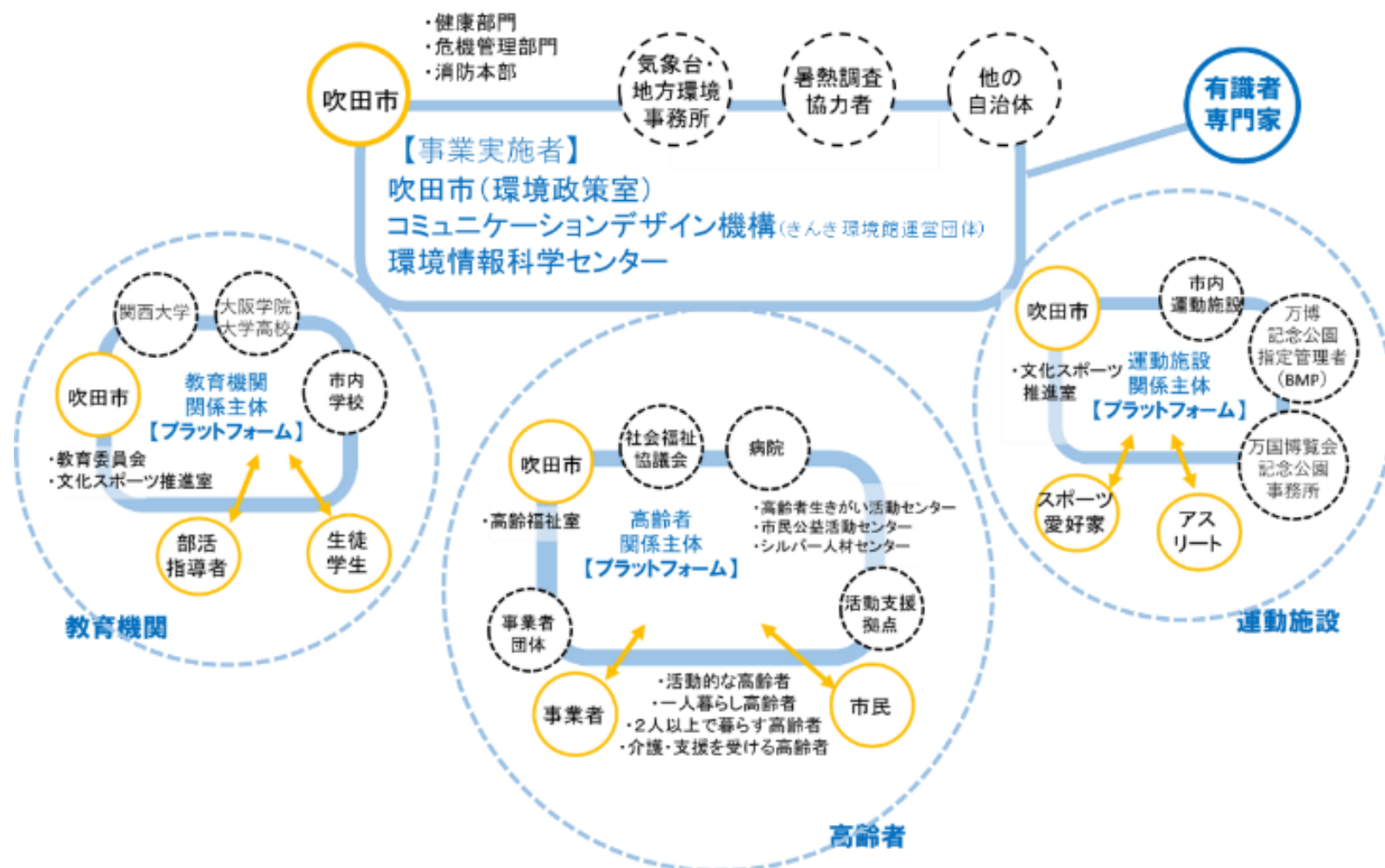
- ・企業に積極的に登録いただくためのインセンティブとなる県の支援方法や、簡単に申請できる方法を検討しました。本事業に興味を持っていただけよう、県HPや熱中症予防の呼びかけと併せて知事記者会見での周知を行いました。

■ 工夫した点

- ・「県と連携し活動していることをわかりやすく示したい」という登録企業の要望にお応えし、「熱中症予防サポーターカード」を作成・配布しました。二次元コードからは、その日の県内のWBGTが確認できる仕様になっています。

大阪府吹田市 プラットフォームによる組織運営

- 環境政策室が中心となって、熱中症発症者が多い「高齢者」「教育機関」「運動施設」の各関係主体が参画した、3つのプラットフォームで熱中症対策を推進
- 高齢者に直接に接する方への啓発、高齢者支援団体の声かけによる行動促進



兵庫県加古川市（消防本部） お弁当宅配事業者との連携

- 65歳以上の高齢者を対象に、見守りサービスとして、手渡しで弁当を宅配している高齢者向け弁当宅配事業者と連携し、約1,300名の方々に対してお弁当と一緒に夏場は熱中症予防啓発チラシ、冬場はヒートショック予防啓発チラシ等を配布



- ・ 配達時に高齢者の体調を把握できる

(表)



▲配布チラシ

(裏)



加古川市消防本部 問合せ 079 (427) 6552

■工夫した点

- ・ 取組の開始にあたり、市の社会福祉協議会が保有している弁当宅配事業者リストやwebサイトの検索によって該当する事業者を絞り込み、電話で協力を依頼した。当初6事業者（のち7事業者）が参画し、約1,500人に対して配布した。
- また、見守り活動であるため、連携する事業者は必ず手渡しで配達する事業者のみを選定している。

広島県府中市 宅配サービス事業者との連携

- ひとり暮らし高齢者向けの牛乳配達、宅食サービス企業等に協力して頂き、チラシの配布などにより冷房の利用や水分摂取などを呼びかける。
- チラシは市の保健師が監修して作成

- 実施時期：7月～10月の期間
- 協力事業者名：府中家具給食組合、料理天国やまもと、山根商店、桑木給食（株）、（有）明治宅配センター府中
- 配布枚数：約3,500部



室内でも発症する熱中症

熱中症を予防しよう！

熱中症は、高温多湿な環境に長時間いることで、“体に熱がこもった状態”のことを指します。熱中症は屋外だけではなく、室内でも発症します。予防のための正しい知識を知り、熱中症を防ぎましょう。

◎熱中症の症状

軽度	めまい・失神、大量に汗をかく 手足のしびれ
中度	頭痛、吐き気、体がだるい 力が入らない
△重度	呼びかけに反応しない、けいれん、 体が熱い

◎予防のための 3つのポイント



のどが乾く前に
こまめな水分補給！



気分が悪くなる前に
こまめに休憩！



帽子や日傘で
直射日光を避けましょう！



応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関を受診しましょう
呼びかけに応じない、自力で水分を摂取できない時はためわずに救急車を呼びましょう

応急処置については裏面へ
問い合わせ先
府中市健康推進課 ☎0847-47-1310

府中市広報キャラクター
大夢楽 咲煌
(おおむら さき)

熱中症の予防・対策

熱中症は正しい予防方法を知り、暑さから身を守ることで防ぐことができます。例えば、涼しい場所へ移動、水分をこまめに摂取、日傘や帽子の着用など、暑さを感じたときに適切な行動をとることが大切です。暑さを感じたときは、すぐに休むようにしましょう。

① シーズンを通して、暑さに負けない体づくりを続けよう

② 特に注意が必要なシーンや場所で、暑さから身を守るアクションを

③ 日々の生活の中で、暑さに対する工夫をしよう

応急処置

救急車を呼んでいるあいだにも、的確な応急処置をすることで症状の悪化を防ぐことができます。熱中症は急に発症する危険な症状です。早く対処してあげましょう。

① 涼しい場所へ移動しましょう

クーラーが効いた室内や車内に移動しましょう。近くにそのような場所がない場合は、風通りの良い日かげに移動し安静にしましょう。

② 衣服を脱がせ、体を冷やして体温を下げましょう

家枕や保冷剤で両側の首筋やわき、足の付け根などを冷やします。顔に水をかけて、うちわや扇子などであおぐことで体を冷やすることができます。

③ 水分や水分を補給しましょう

おう吐の症状が出ていたり意識がない場合は、喉に水分が蒸発しやすいため、喉に水分を補給することが大切です。わりの水分を補給しましょう。

クーリングシェルターも利用しましょう！

クーリングシェルターとは、危険な暑さから避難できる場所として冷房設備を完備している施設などで市が指定した施設のことをいいます。熱中症特別警戒アラートの発表期間中は開放します。クーリングシェルターも利用して、熱中症から身を守る行動をとしましょう。施設の場所や開放時間などは府中市ホームページなどで確認してください。

出典：熱中症ゼロへ～日本気象協会推進～みんなで予防！熱中症対策シート一部改定

新潟県南魚沼市 移動販売車による買い物弱者支援事業

- 移動販売の事業者と連携して、買い物弱者支援事業の主な利用者である熱中症リスクが高い高齢者へ7～8月にかけて、熱中症警戒アラート等に関する熱中症予防啓発チラシの配布を実施
- 大手コンビニチェーンと地元スーパーマーケットの共同事業



▲ 移動販売車

上田地区内において、月～金曜日の10～17時の間に実施した。

■ 苦労した点

- ・ 移動販売車事業導入の初年度であったことから、事業者との連携がスムーズにいかないところもあり、予防啓発活動がチラシの配布に限られた。

■ 工夫した点

- ・ 熱中症予防対策につながる声かけを移動販売車スタッフから利用者に行ってもらおうよう市担当から何度か声かけを行った。

長野県駒ヶ根市 「ななや整体」による熱中症予防サービス

や整体」による熱

- 「ななや合同会社」は長野県駒ヶ根市で①高齢者向け**配食サービス**、②保険適用の**訪問医療マッサージ**、③保険適用外の**訪問整体等**の事業を行っている。（※①、②はフランチャイジーとしての事業）
- このうち、③訪問整体等を行う「ななや整体」では、施術の際に、身体の様子だけでなく部屋の温湿度の状況（換気やエアコン等の確認）を確認し、本人へは水分補給、食事等についてもアドバイスを行っている。また、**熱中症予防グッズ**を携帯しており、異変があればすぐに担当ケアマネやご家族への報告を密に行うようにしている。
- 事業上つながりが深い①配食サービス、②訪問医療マッサージの担当者も熱中症予防グッズを携帯。「ななや合同会社」全体として情報共有や対応の共通化・標準化を図っている。



▲ななや合同会社（全景）

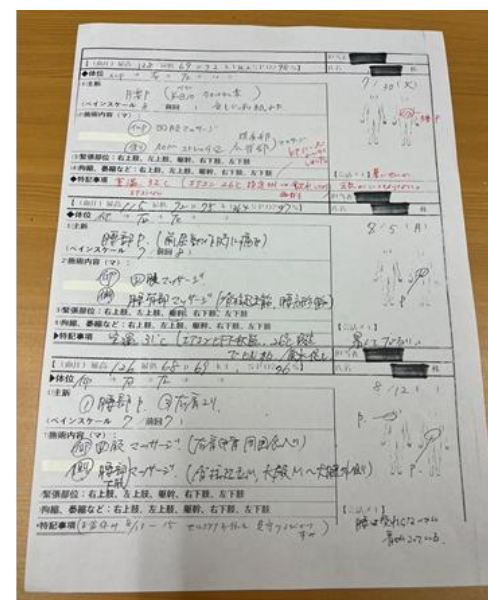
配食サービス、訪問医療マッサージ、訪問整体の各事業の拠点。駒ヶ根市、飯島町及び宮田村をカバーしている。



▲熱中症予防グッズ

温湿度計、塩タブレット、ゼリー、経口補水液、冷却シート、消毒用アルコール、パルスオキシメーター、血圧計などを携行。

申し送り様式▶



■苦労した点

- ・開業当初ゼロの状態から、コツコツと丁寧に行政や居宅事務所とやりとりをし、実績を逐一「報連相」したことで信頼が寄せられるようになり、たくさんの仕事を頂けるようになりました。

■工夫した点

- ・この地域では「緊急医療情報キット」が比較的広く普及しているが、高齢者の個人情報古いままになっていることも多いため、更新を促すことも。

福岡県北九州市 熱中症対策普及啓発協力団体

- 北九州市では、令和6年度から市民の身近な場所で熱中症対策に取り組む法人または団体を「**熱中症対策普及啓発協力団体**」として募集・登録する仕組みを整備、現在39団体が登録（令和7年6月30日時点）



北九州市

熱中症対策 普及啓発協力団体

登録にご協力ください！

気候変動の影響により熱中症の健康被害が増加しています。このたび、北九州市では、「北九州市熱中症対策普及啓発協力団体」として登録いただき、市民の身近な場所で熱中症対策を市と推進していただける企業・団体の皆様を募集しています。

対象：北九州市内で活動する法人または団体

日常の活動の中で熱中症になりやすい方への見守りや声掛けの協力をしてくださる方

登録はこちらのサイトから（北九州市役所ホームページ）
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/hco-huku/90000700.html>

この事業に関するお問い合わせ
 北九州市保健福祉局健康推進課 Tel.093-582-2018

熱中症対策普及啓発協力団体 （令和7年6月30日時点）

- ・公益社団法人北九州市医師会
- ・公益社団法人北九州市歯科医師会
- ・公益社団法人北九州市薬剤師会
- ・第一生命保険株式会社 北九州総合支社
- ・株式会社サンキュードラッグ
- ・北九州市健康づくり推進員の会
- ・一般社団法人北九州市老人クラブ連合会
- ・公益社団法人北九州市シルバー人材センター
- ・トップフィールド株式会社
 チョッパー訪問看護ステーション小倉南
- ・特別養護老人ホーム ライフポート若松
- ・リハビリ特化型デイムーブメントプロ小倉南
- ・社会福祉法人 恩賜財団済生会
 介護老人保健施設済生会くれたけ荘
- ・有限会社福祉の里・出会い
- ・NPO法人福祉事業大輪の花
- ・きたふくヘルパーセンター小倉南
- ・社会福祉法人すみれ会 カレッジ北九州
- ・有限会社 わいど保険
- ・OZデイやはたLEO
- ・こどもサポート教室「きらり」小倉南校
- ・こどもサポート教室「きらり」小倉北校
- ・株式会社クラ・ゼミ こどもサポート教室「きらり」小倉到津校
- ・合同会社アライブ
- ・株式会社タスク
- ・新九協同株式会社
- ・優和園
- ・社会福祉法人年長者の里
- ・社会福祉法人北九州市社会福祉協議会
- ・公益財団法人健和会
- ・北九州健康友の会
- ・九州電力送配電株式会社 北九州支社
- ・北九州市食生活改善推進員協議会
- ・北九州市民生委員児童委員協議会
- ・門司港調剤薬局
- ・イオンモール八幡東
- ・大塚製薬株式会社 北九州出張所
- ・明治安田生命保険相互会社
- ・社会福祉法人すみれ会 カレッジ北九州折尾キャンパス
- ・社会福祉法人小倉新栄会 新栄会病院

※公表の許可が得られた法人・団体のみ

■ 苦労した点

- ・ 北九州市の高齢化率は全国よりも高いため、特に熱中症のリスクの高い高齢者を地域全体で支えられるよう、広く協力団体を募り、連携できるような仕組みづくりに苦労した。

■ 工夫した点

- ・ 登録制度を広く周知するために市の環境マスコットキャラクターを活用したロゴを作成し、親しみやすさと認知度の向上を図った。
- また、熱中症予防は身近な人からの声かけが効果的であることから、「声かけポイント」のチラシを作成し、協力団体が日頃の活動の中で活かせるようにした。

福岡県北九州市 熱中症対策普及啓発協力団体

- 「高齢者の熱中症予防のための声かけポイント」を作成して熱中症対策普及啓発協力団体の皆様に配布し、日頃の活動の中でご活用いただくようお願いしている。

高齢者の熱中症予防のための 声かけポイント

<北九州市の現状>

- 熱中症による救急搬送は、半数以上が高齢者
- 熱中症の発生は、6割が屋内

高齢者は熱中症になりやすく、身近な人からの声かけが熱中症予防に効果的です。

熱中症になりやすい理由	声かけのポイント	
暑さを和らげる行動が鈍る	☐ 室温を28℃前後に保つように、エアコンを使用しましょう（エアコンの風が苦手な人は風向きを調整しましょう） ☐ こまめにフィルターを掃除すると節電になります	つける
「暑い」と感じにくくなる	☐ 温湿度計で確認しましょう（よく見える場所で、数字で確認を！） ☐ 暑さ指数を確認して外出しましょう31を超えると危険です	見る
のどの渇きを感じにくくなる 体内の水分量が減少する	☐ のどが乾いていなくても、時間を決めて、こまめに水分をとりましょう（入浴前後や起床後も必ず水分補給を！） ☐ 水分の多い夏野菜や果物、ゼリーなどの食事からも水分補給ができます	飲む
体温を調整する機能が低下する	☐ 運動や食生活を意識して体力を低下させないようにしましょう	体力

時期に応じた声かけ

4～6月	- 暑さに慣れて体力をつけましょう - 夏シーズンの前エアコンの試運転をしましょう
7月	梅雨明けに特に熱中症の危険が高まります
8月	より一層の熱中症予防を！
9月	お盆が過ぎても熱中症予防を！

熱中症特別警戒アラートが出たら・・・

- ☐ 不要不急の外出を避け、昼夜を問わずエアコン等の使用による涼しい環境で過ごしてください。（普段以上の熱中症予防を！）
- ☐ 涼しい環境で過ごすことができない方は、クーリングシェルターを利用してください。



▲北九州市環境局 環境監視課 HP



- ◀ 熱中症予防は身近な人からの声かけが有効であることから、そのポイントを、“つける”、“見る”、“飲む”、“体力”と項目別にまとめ声かけしやすいように工夫した。



- ▲ 厚生労働省の熱中症予防チラシ 熱中症対策普及啓発協力団体に配布。事業所での掲示や市民への配布などでご活用いただいている。

- ▲ 熱中症予防のショート動画 全世代向けの熱中症予防啓発として区役所のモニターで流している。

『「ラーメンの聖地、山形市」を創る協議会』（山形県山形市） 「山ラー 街の給水所」プロジェクト

- 三重県にある『中華料理 吉珍』に掲示されていた
“しょうがくせいみんなへ すいとうのおちやがなくなったり、あつくてのどがかわいたときは
「おみずください！」といつでも入ってきていいからね！”というポップがきっかけ
- 山形市内にあるラーメン店(「山ラー」加盟店)のいくつかの店舗で、**下校時における給水・休憩ポイント**として小学生を受け入れる活動をスタート
- 令和7年9月現在は**通学路にある約50店舗**が実施、**実施店舗については小学校を通じて周知している。**



▲「街の給水所」を提案した『麺や 一陽』

- ・店主が、お昼の営業中に下校する小学生の姿を見て、暑さでのどが渇いたときに「おみずください！」と気軽に言える環境をつくりたいと考えた。「『ラーメンの聖地、山形市』を創る協議会」に提案し実現。

「『ラーメンの聖地、山形市』を創る協議会」 <https://www.oshimen-yamagata.jp/yamagata.html>

「#推しメンやまがた」 <https://www.oshimen-yamagata.jp/>

■苦労した点

- ・「山ラー 街の給水所」は有志で行っているため、プロジェクトに参加できない店舗への配慮が一番の懸念点であった。誤解を招かない形で店舗への参加依頼や周知方法について比較的苦労した。

▼「おみずください！」の掲示



▲山ラーグッズ

- ・山形市のラーメンを「山ラー」と名付け、PRを行っている。山形市民のラーメン愛を表すようなアイテムになってほしいという思いから販売。



▲山形市の多様なラーメンを紹介するwebサイト「#推しメンやまがた」

- ・味や麺の種類から山形市内のお勧めのラーメンが多数掲載されている。

■工夫した点

- ・小さい子が熱中症になると、重症化することもあると聞いていた。何かできないかなと思ったときに、**ラーメン店は冷水器が常備されている**ので店に気軽に立ち寄ってもらえたらと考えた。



CHAPTER

08

連絡体制

地域の熱中症リスク評価

熱中症予防行動の効果的な情報発信

熱中症要配慮者への見守り・声かけ

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

涼み処

地域で活躍する団体や企業等との連携

さまざまな熱中症対策の取組事例

海外における熱中症対策の取組事例

滋賀県長浜市 エアコンの購入・設置、修理への補助

- 対象者は、65歳以上の高齢者で、現に居住する住宅に**エアコンが1台もない**、又は**使用できるエアコンが1台もない者**
- 新品のエアコン購入と設置**（本体購入費＋標準工事費）**にかかる費用**、もしくは**修理費用**が対象
- 上限5万円の範囲で、実費分を補助

配布チラシ
(表面)

ご自宅に使用できるエアコンがない高齢者の方に 令和5年度

エアコン設置費用を補助します！

最大 50,000 円

5月10日(水)から受付開始

熱中症による事故を未然に防ぐため、自宅に使用できるエアコンが1台もない高齢者を対象に、購入または修理にかかる費用の一部を補助します。
設置・修理前に申請が必要です。
※予算の上限に達し次第、受付を終了します。

対象者 ※以下のすべてを満たす方

- ☐ 長浜市内にお住まいの65歳以上の方（令和5年度中に65歳になる方を含む）
- ☐ 同じ世帯の全員が市税、介護保険料、国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料を完納している
- ☐ ご自宅内に使用できるエアコンが1台もない
（故障により使用できるエアコンが1台もない場合も含みます）
- ☐ 賃貸住宅等にお住まいの場合、所有者からエアコンの設置または修理の同意を得ている

助成内容

エアコンの購入及び設置または修理にかかる費用 最大50,000円
※助成は、1世帯につき1回1台限り、かつ、1家庭につき1回1台限りです。
※エアコンは高齢者の居室または寝室に設置してください。

2台目まで／10万円まで補助、という自治体も

高齢者の熱中症予防につながる場所が対象

- ・高齢者の居室、寝室：補助対象
- ・こども、孫の居室、客間等
- 高齢者が普段過ごさない部屋：補助対象外

(裏面)

補助金を受け取るまでの流れ

1. 市に申請をする

エアコンの設置・修理前に、以下の書類を長寿推進課まで、提出してください。

- ①申請書
 - ②見積書
 - ・業者から対象者宛てに発行されたもの
 - ・品番、型番、本体価格、設置費用、修理費用等の内訳が書かれているもの
 - ③写真2枚
 - ・エアコンの室内機と室外機の設置予定箇所の写真
 - ④(賃貸住宅等にお住まいの場合)賃貸住宅等の所有者の同意書(様式第2号)
- ※①④の様式は市ホームページからもダウンロード出来ます。

2. 業者に設置・修理をしてもらい、費用を支払う

市から交付決定通知書が届いたら、設置・修理をしてください。
かかった費用を業者に支払った後に、市へ補助金を請求できます。

3. 市に実績報告と補助金を請求する

エアコンを設置したことが分かる写真や、領収書の写しを提出してください。

補助金の代理受領制度について

市から支払われる補助金を、申請者に代わって、業者が受け取ることができる制度です。市から直接、業者へ補助金が支払われることで、申請者は自己負担分の金額のみを用意すればよく、エアコン設置費用の全額を用意しなくて済みます。
希望される場合は、申請前に別紙「代理受領制度のご案内」を業者に見せて、相談してください。

※代理受領に対応されるかは、業者毎の判断となります。

よくあるご質問

- ①申請前に購入・設置したが対象になるか？ → 事前申請が必要なので対象外です。
- ②購入するエアコンは、中古品でも良いか？ → 新品に限ります。
- ③スポットクーラーは対象になるか？ → 対象外です。壁や窓枠に設置し固定するエアコンが対象です。
- ④高齢者が上がらない2階には使用できるエアコンがあるが、対象になるか？ → 「自宅に使用できるエアコンが1台もない」に該当しませんので、対象外です。

必要に応じて、市職員がご自宅を訪問し、現場を確認します。

市内店舗からの購入・設置、修理に限定するケースも

請求などの事務手続きを店舗に代行してもらう仕組みも

愛媛県宇和島市 避難所・自宅避難者への訪問

- 平成30（2018）年7月に発生した豪雨災害時の**避難所への避難者**及び**自宅避難者**を保健師や栄養士が訪問、熱中症対策を行った。

<避難所での取組み>

熱中症予防のポスター掲示やリーフレット配布等で注意喚起を行うだけではなく、熱中症リスクの高い人の把握、エアコンの使用、飲料水の確保等、関係機関と連携して環境整備や支援物資の提供を実施した。

<自宅避難者への取組み>

上記の取組のほか、特に乳幼児や高齢者がいる家庭についてはエアコンの使用状況等の家庭内の環境確認も実施した。



宇和島市「平成30年7月豪雨 宇和島市災害記録誌」

<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/gou201807/h30gouu-saigaikirokushi.html>

■苦勞した点

- ・エアコンの有無や断水の継続等、各避難所に応じた支援が求められた。
- ・個人の努力では解決できないものもあり、避難所に係る関係者との十分な連携が必要だった。

■工夫した点

- ・避難所への巡回を輪番で従事することとしたため、様式を統一し、引継ぎが円滑に行えるようにした。また特にリスクの高い方などは個別の引継ぎを行った。
- ・昼間は不在者が多かったため、受援の看護師を活用し、夕方から夜間の対応を依頼した。

鳥取県 ドローンを活用した巡視

- 広大で入場管理ができない観光地であり、**ドローンを活用した巡視**を行う。起伏が激しくレンジャーの目が行き届かない場所での熱中症患者発見、禁止行為の監視などに大きく寄与



▲砂丘東側からの景観



▲ドローン巡視エリア(西側青色網掛け部分)

■苦労した点

- ・ドローン巡視は、当初県職員2名体制で実施（動画確認と操作）していたが、人員に限られるなか、救急対応など他の業務もあり、ドローン巡視実施に時間を取られていた（1回／1時間）。さらに、操作が免許制に移行するなど、異動のある県職員によるドローンの取扱いが難しくなった。

■工夫した点

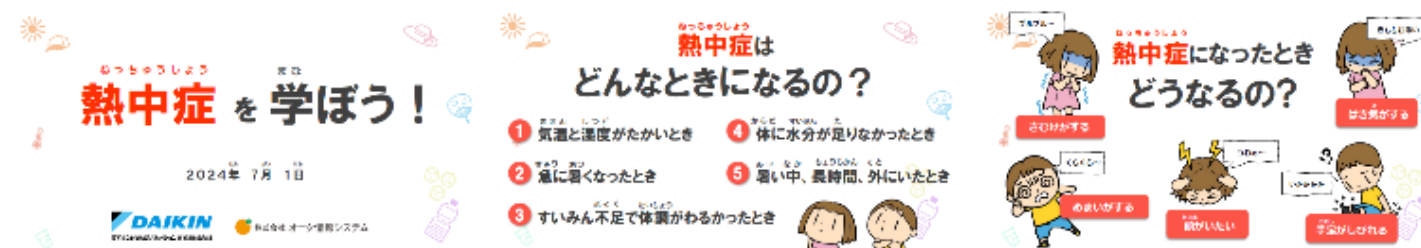
- ・目の行き届きにくい西側を中心に令和5年よりドローン巡視を外部委託した。7～9月の土日祝日とお盆に必ず巡視（6回／日（10：00～16：00））している。その他、人の出入りが多い暑い日など、別途依頼すると、30分後には対応してもらえる体制で運営している。体調不良者を発見したら無線で情報共有、砂丘レンジャー等が経口補水液、保冷剤・濡れタオルなど携帯して救助に向かう。

東京都渋谷区 小学校での暑さの「見える化」

- 区内小学校にWBGTセンサー、大型パネルを設置。熱中症予防や対策を普及・啓発する教材も作成し、児童自身が熱中症対策とリスクを認識し、自主的な予防行動を習慣化することを促す。
- クールスポットとして**屋外型エアコン**を設置、児童が安心して外で活動できる環境を整える。
- 現地データを小学校（校長先生、副校長先生）、教育委員会にも迅速に共有



▲校庭への出入口に設置された大型パネルとその表示例



▲熱中症予防や対策を普及・啓発する児童向けの教材

◀屋外型エアコン

■工夫した点

- ・大型パネルに顔のイラスト（「しろまるくん」）を表示することで、児童が具体的な基準を理解でき、熱中症予防行動を身につけられるようにした。また、イラストを多用した教材を制作し、7月1日の全校朝礼にて熱中症対策について講習会を開催した。

静岡県焼津市 小中学校での熱中症対策

- 静岡県焼津市では、児童・生徒が活動する際の熱中症対策として小中学校のグラウンド等に**ミストシャワー**を設置している。
- 登下校時の熱中症対策として、**クールタオル**、**ランドセル背あてパッド**を小学校1～6年生を対象に配布し、登校後は教室の冷凍庫に保冷剤を保管し、下校時も背あてパッドを使用できるように工夫している。
- 焼津市内の全小中学校の校舎（教室）に空調設備を設置済。令和6年度は焼津市内の全中学校の体育館への空調設備の設置が完了し、令和7年度中に焼津市内の全小学校の体育館への空調設備設置を目指す。
※設置完了までの経過措置としてスポットクーラーを使用



▲ミストシャワーの設置

- ・児童が校庭で活動する際の出入口となる場所にミストシャワーを設置。校庭活動中の冷却に活用している。



▲ランドセル背あてパッド

- ・登校時は自宅で冷却した保冷剤を装着し、下校時は各教室に1台（高学年は学年に1台）設置された冷凍庫で授業中に冷却した保冷剤を装着する。



クールタオル

▲クールタオルケース

- ・ランドセルに専用ケースにいれたクールタオルを取り付けた。クールタオルを水に濡らして首に巻き児童の体温を冷まし、登下校中の熱中症の発生を予防した。

■工夫した点

- ・登下校中の熱中症対策だけでなく、体育館に温度計や救急対応フローの掲示をしたり、廊下に児童が自らWBGTを見て行動できるような掲示をするなど、自主的に予防ができるようにした。

新潟県南魚沼市 運動後の選手の熱中症予防

- 1年の中で特に気温が高い10日間（7月29日～8月7日）に長岡技術科学大学と連携し、運動公園の一般利用者及び中体連、高体連の大会参加者へ熱中症予防の普及啓発を実施
- 雪の冷熱を利用した**クールダウンスポット**を常設し、**スノーパック**を配布して運動後の選手等の熱中症予防に寄与



▲ 雪冷熱によるクールダウンスポット

- ・ 熱中症の発生を抑制させるため、雪の冷熱を利用した冷房により室内を冷やしたテントを常設することで、運動後の選手等がクールダウンに活用した。
- ・ テント内に雪を利用した空調装置を4台設置し冷却した。空調装置1台あたり500kgの雪を1つのフレコンバッグに詰め、雪冷熱による冷風をホースを通してテント内への供給を行った。

スノーパックによるクールダウン▶

- ・ クールダウンスポットの横で常時スノーパックを配布した。
- ・ パックには熱中症警戒アラートのメール登録を促す二次元コードを印刷している。



■ 苦労した点

- ・ 真夏日や猛暑日に屋内外のスポーツ施設を利用する方は、「夏は暑いもの」という前提で利用されている傾向が強く、熱中症対策の必要性が伝わりにくいため、きっかけづくりに苦労した。

■ 工夫した点

- ・ 熱中症対策の必要性を伝えるきっかけとして、雪を利用した取組を行ったが、スノーパックの配布は「映え」効果があり、利用者が利用者を呼んで普及啓発に役立った。

長崎県長崎市 式典（イベント）での熱中症対策

- 被爆77周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典（令和4（2022）年8月9日）において、下記のような熱中症予防対策を行った。

<式典での取組>

- ①テントの設置
- ②座席を概ね1 m間隔で設置
- ③冷たいおしぼり、水、塩分補給タブレットの配布
- ④ミストシャワー設置（6基）
- ⑤ミスト扇風機の設置（12基）
- ⑥救護所の設置
（2か所：それぞれ医師、看護師1名ずつ配置）
- ⑦保健師が式典会場を巡回、
体調不良者に対する初期対応を実施
- ⑧救急車を1台待機、救急搬送に備える
- ⑨祈念像裏外周部に、スタッフ用の日除けメッシュを設置
- ⑩会場内の着席時には、適宜マスクを外していただくよう周知



▲式典の様子

■苦勞した点

- ・限られたスペースに多くの参列者が参加するため、参列者同士が接しない席の配置の検証に時間を要した。

■工夫した点

- ・真夏に屋外で実施するため、多くの日陰を作りだせるようテントや日除けメッシュを活用し、また、会場内に風が通りやすいような座席の配置とした。

神奈川県横浜市 南消防団外国人防災指導チームによる多言語での熱中症予防啓発

- 外国人登録人口の多い地域特性を踏まえ、横浜市南消防署では令和3年4月に市内で初めて発足した**南消防団外国人防災指導チーム**と連携して**多言語**（日本語、中国語、韓国語、英語の4か国語）による**熱中症予防広報**を横浜橋通商店街で行っている。
- 商店街の協力で**横断幕、バナー（広告旗）**を製作。ポスターや放送設備を活用し買い物客や外国籍経営者へ啓発した。空き店舗を活用した休憩所も開設し予防対策を学ぶ動画を放映、“**熱中症は防げる**”ことを周知した。



- ・外国人に対する防災指導や災害時における避難誘導などを行うことを目的として、南消防団に「**外国人防災指導チーム**」が発足（令和3年4月）



- ・商店街の空き店舗に開設した休憩所では、熱中症予防の啓発動画を視聴してもらうほか、麦茶も振舞った。

- ・キャンペーン当日は、商店街の街頭で多言語（日本語、中国語、韓国語、英語）によるアナウンスを行った。
- ・多言語アナウンスは、南区庁舎内でも夏季期間（6～9月）放送されている。



- ・南消防署員（右）が訪れた人に「**横浜マイボトルスポット***」を説明。マイボトルを持ち歩く「エコロジーの取組」と「熱中症予防のこまめな水分補給」を組み合わせた広報を実施した。

* 横浜マイボトルスポット：
マイボトル等を持参した市民等に対し飲み物を販売し、又は無料で提供する店舗、事業所、施設等



■ 苦労した点

- ・熱中症について、外国籍の方にわかりやすく伝えるための表現を検討した点

■ 工夫した点

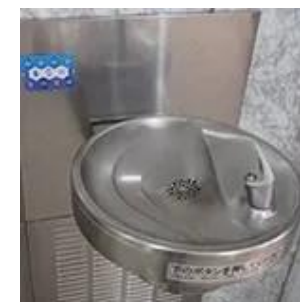
- ・熱中症予防はテレビ等でも報道されており、高齢者は聞き飽きていることも多く、発生要因と対策とをセットで伝えたり、エコロジーなど他の取組と絡めて伝えたりして、関心をもたせるようにした点。

東京都 Tokyowater Drinking Station

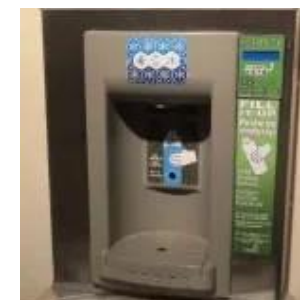
- 東京都水道局では、公共性の高い場所に設置されている水飲栓及びイベントの際に水道局が設置する移動型水飲栓を**Tokyowater Drinking Station**（以下“DS”）として展開
- DSにより水道水の飲用促進、またそれを通じた環境配慮行動の促進を図る。
- DSは**都内に約900か所**（令和7年2月現在）。まちなかでの水分補給にも役立てることができる。



DS 飲み口型水飲栓



DS ボトルディスペンサー型水飲栓



▲ホームページではマップの他、区市町村別のDSリストも公開

東京都水道局 Tokyowater Drinking Station https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/drinking_station/

■伝えたいこと

- ・熱中症対策には、水分、塩分補給が大切です。
- 都内には、冷たい水道水を飲むことができる水飲み栓が約900か所ありますので、ぜひ、マイボトルを持ち歩いて、外出先での水分補給にお役立ていただければと思います。

株式会社PLANT（石川県川北町ほか） 徹底した職場の熱中症対策とクーリングシェルトの両立

- 以前から熱中症対策に取り組んでいたが、労働安全衛生規則の改正もあり、熱中症救急セット、緊急避難場所の配備、バックヤード・キッチン等の熱源の付近・屋外にWBGT測定器を設置、屋外作業従事者のアイスベスト着用の義務化や熱中症に係るマニュアル・連絡先の作成など**熱中症対策を全23店舗で強化**
- 従業員だけでなく、お客様の熱中症対策にも注力している。
- 「**生活のよりどころとなる店**」という企業理念に基づき、店舗のクーリングシェルト指定を拡大
全23店舗の指定を目指し、**各自治体への申請・働きかけを積極的に進めている。**

一般スペース



- ▲クーリングシェルト指定区画
 - ・無料の給茶機を設置。他にも店舗内のPLANT直営の飲食ショップ等がクーリングシェルト区画に含まれている。

職場



- ▲バックヤードのWBGT測定器
 - ・キッチン等の熱源の付近や屋外にも設置している。作業制限等の基準になっている。



- ▲熱中症救急セット
 - ・バックヤードの冷蔵庫内に保管。熱中症が疑われる場合には、お客様にも提供が可能。他にも塩タブレットなどを準備している。



- ▲緊急避難場所
 - ・バックヤードの冷房の効いた部屋の中に折り畳み式ベッド等の横になることのできるスペースを確保。

■工夫した点

- ・クーリングシェルトの指定は総務部、従業員の熱中症対策は人事部、現場の熱中症対策は各店舗がそれぞれ担当しており、部署間の連携が、徹底した熱中症の備えに寄与している。

青森県、弘前大学、（一社）避難所・避難生活学会 「2025年度あおり酷暑期避難所演習」

- **真夏の暑い時期に大規模な災害が発生した場合の避難所の課題**について検討するため弘前大学、青森県（※）、（一社）避難所・避難生活学会の合同主催により、令和7年8月に「**2025あおり酷暑期避難所演習**」を開催。
- **青森県として初開催となる演習**であり、自治体職員や弘前大学の学生らが参加し、**弘前大学内の体育館で1泊2日の避難生活を体験**（※）青森県危機管理局防災危機管理課
- 1日目は東北における熱中症対策や災害関連死の防止等を中心とした座学を実施のうえ、トイレ・段ボールベッドの設置を行い、自治体が持ち寄った非常食で夕食をとり、コインシャワー体験後に就寝
就寝中は弘前大学が準備したウェアラブル端末を用いて参加者の睡眠の質を計測
2日目は温かい防災アレンジ食を参加者みんなで食べ、実際に体験した寒暖差、睡眠、環境調整の難しさなど参加者同士のディスカッションを実施して終了
- 「**避難所においてどのような対策ができるか**」「**どのような備蓄を充実させるべきか**」を知る機会を提供



▲水の確保

青森県庁ホームページ <https://www.pref.aomori.lg.jp/release/2025/78687.html>
弘前大学ホームページ <https://www.hirosaki-u.ac.jp/topics/106114/>



▲段ボールベッドを設置する参加者



▲就寝前の様子

■苦勞・工夫した点

- ・初めての宿泊型演習であったため、自治体・団体への依頼調整が大変だった。
- ・自治体から使用できる備蓄を集め、他は企業から協力を得た。課題を明確にするために、環境データ、身体影響、参加者の体験を言語化・見える化し、次につなげるようにした。

■感じたり気づいた点

- ・日中のひどい暑さに悩まされたが夜は気温が下がり寒いくらいだった。寒暖差により夏でも寒さ対策が必要だと感じた。体育館で初めて寝たが、冷風機の騒音や他人の生活音でたびたび目が覚めた。避難生活が長引く場合は熟睡できる環境が大事だと思った。

愛知県蟹江町 小学校への冷凍庫導入

- 蟹江町では、保護者からの声を受け登下校時の熱中症対策に注力。中には通学時間が30分を超える児童も。
- 令和6年7月に、町内2つの小学校に対し、1学年につき1台、試験的に冷凍庫を導入
児童、保護者や学校関係者から好評だったため、**令和7年度にすべての小学校に導入**
- 児童は冷却グッズを身につけて登校し、始業前に冷凍庫へ。終業後、再度身につけて下校する。
- なお、令和7年9月以降、町民の御寄付により町内すべての中学校にも冷凍庫を導入予定



▲新蟹江小学校に設置された冷凍庫
学年ごとに1台設置されている。



▲内部は4段に仕切られており、クラスごとに分けて保管。
冷凍庫への出し入れ、冷却グッズの数の確認は教員が行う。
※ネックリングはイメージです。

■実施期間
6月1日～10月31日まで
※冬季、夏休み期間等は
電源OFF

【冷凍庫の大きさ】
高さ：104cm
幅：51.9cm
奥行：60cm
容量：108～110ℓ

保護者への周知

熱中症対策における冷凍庫の利用について

授業の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃は、本校の教育活動のために格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、昨年度より登下校時の熱中症対策として「冷凍庫」が設置されました。登校時に使用した背あてパッドやネッククーラー等の冷却材を下校時にも使用できるよう活用していきます。つきましては、「冷凍庫」を利用するにあたり、保護者の皆様には下記の内容をご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

記

- 運用期間
6月1日から10月31日まで
- 学校における取り扱い
 - 1、2、5、6年、ふれあい学級は中館1階に、3、4年は北館1階に冷凍庫が設置されています。学年の表示がされているので自分の学年の冷凍庫を使用してください。
 - 下校まで冷凍庫の扉は開け閉めはしません。日中、使用する冷却タオル等は、冷凍庫へ入れないようにしてください。
 - 背あてパッドやネッククーラー等、冷やしたいものがある場合は、朝学校に登校したら自分で冷凍庫に入れてください。
 - 格好に忘れずに自分で取りにってください。
 - 濡れている場合は袋に入れたり、きちんと拭いたりして冷凍庫に入れてください。
- お願い
 - 背あてパッドやネッククーラー等の冷却材には、必ず記名をしてください。
 - 背あてパッドを使用する場合は自分で取り外しができるようにご家庭で練習しておいてください。
- その他
背あてパッドやネッククーラー等は、ご家庭で相談の上、必要に応じて使用してください。

蟹江町立須西小学校（連絡先 蟹江町立須西小学校 教頭 9

<https://sunishi-e.kanie-schoolnet.jp/?p=6420>

■苦労した点

- ・濡れている場合は袋に入れたり、拭いてもらうようにした。
- 冷凍庫を設置する場所の確保が課題であったが、児童が触れない場所に設置する必要があることから、普段教室として利用しない部屋（特別教室など）を使用した。

■工夫した点

- ・冷却グッズが入る大きさのジップロック等（容器）をご用意いただいた。
- 冷却グッズの種類は各家庭の判断で持参。ネッククーラー（リング）、濡らしたタオル、背あてパッド等。
- 地震発生時の防災対策として、冷蔵庫の下に耐震マットを設置した。

東京都大田区 区民体育館におけるWBGT値表示システム導入

- 大田区内における冷房未設置の公共施設（区民センター等）入口にWBGT数値表示モニター設置
- 体育室内エリア毎のWBGT数値を表示しており、利用者にモニター数値を見ていただく事で適宜休憩・水分補給行動をとっていただくよう熱中症リスクの可視化・熱中症リスク低減を図った

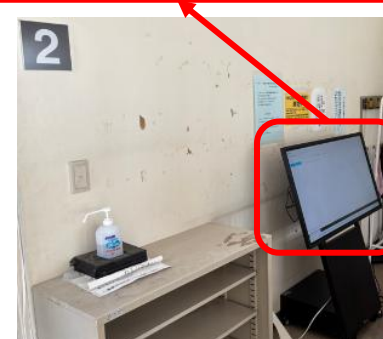
【システム概要】



◀注意喚起POP



◀屋内センサー



▲モニター表示画面

◀入口表示モニター

■苦勞した点

- ・利用者の邪魔にならず、かつ可能な限り正確な計測可能なセンサー設置場所指定に苦勞した。

■工夫した点

- ・施設利用者へ熱中症リスクをどのように認識して頂くかを考慮し、表示アイコンや計測場所、モニターへの警戒アラート表示方法などを工夫し表示した。

神奈川県横須賀市 市立中学校・高校へのWBGT計測システム導入

- 従来、教職員は活動場所に行き、熱中症指数計を用いて手動でWBGTの実測・記録を行っていたが、このたび「熱中症予防対策システム」を導入し、WBGTの自動計測、常時監視を実現した。
- システム導入により、全教職員がどこにいても（学校、自宅等）、PC端末や個人端末から活動場所のWBGTをリアルタイムで確認できるようになり、生徒の見守り体制が強化され、健康安全の確保に繋がった。
- さらに、教職員による計測、記録の手間が削減され、教職員の負担軽減に繋がった。

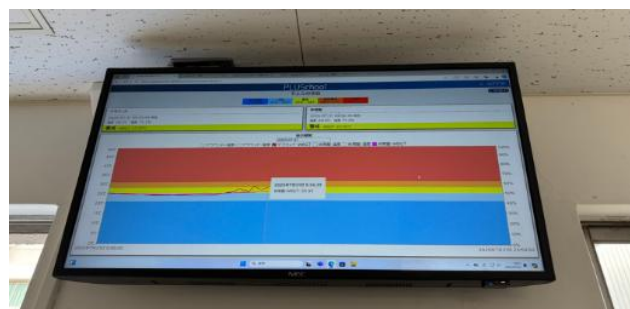
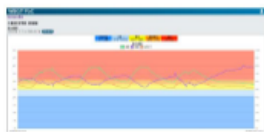
【システム概要】

熱中症予防対策システム

WBGT（暑さ指数※）をセンサーで自動計測し、クラウド上にデータを保存することで、任意の場所で、常時、WBGT値を確認することを可能とするシステム

屋内センサーは簡単に設置可能な無線・電池レスデバイス

※WBGT（暑さ指数）
熱中症の危険度を判断するための暑さ指数で、Wet Bulb Globe Temperatureの略称。
気温、湿度、輻射熱を総合的に評価した指標で、熱中症予防の指針として用いられる。



▲WBGT値表示モニター(下駄箱)



▲データ受信機



▲屋内センサー



▲屋外用WBGT計測器

■苦労した点

- ・屋外センサーの設置にあたり、活動場所全体のWBGTをより正確に測定できる代表観測地点を決定するため、各学校においてきめ細かな現地調査を行ったこと。

■工夫した点

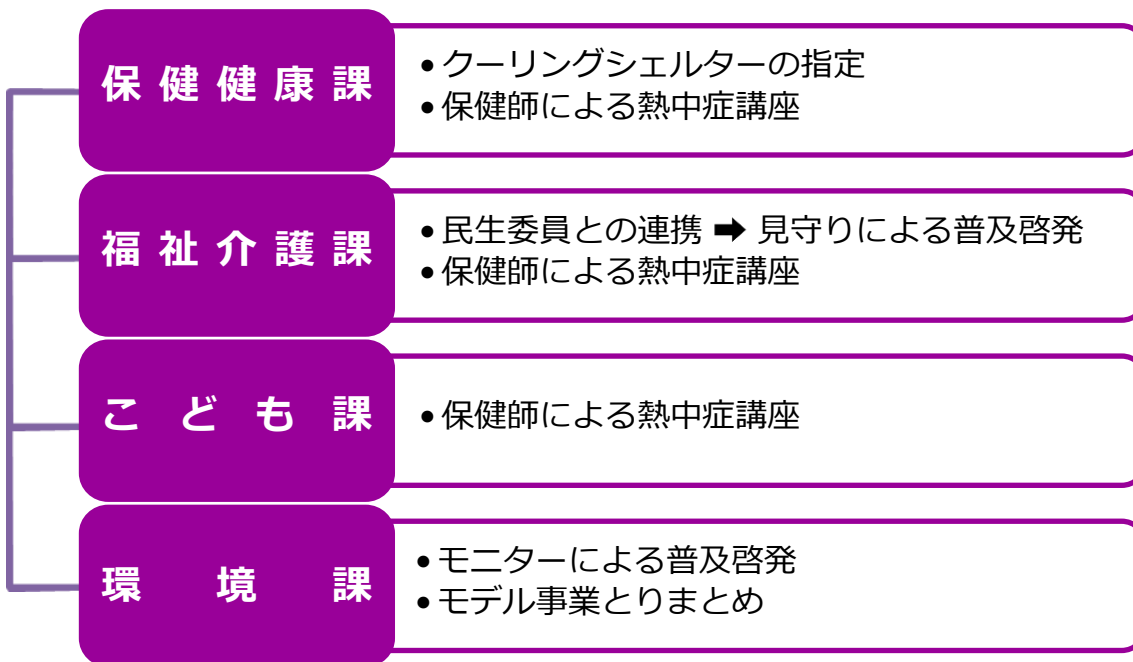
- ・各学校で計測したWBGTが、その日に初めて31を越えた時点で、自動的に注意喚起メールを当該校に送信する仕組みを導入したこと。
「横須賀市立学校熱中症予防ガイドライン」に本システムの運用方法を明記し、学校でのWBGTに応じた対応等の安全対策をより明確にしたこと。

開成町 小さい町ならではの総ぐるみでの熱中症対策

- 「見守りをする民生委員向け講座」「高齢者が多く参加する自治会行事等」「新たに指定されたクーリングシェルターでの職員向け講座」「町民や指定管理者向けのクーリングシェルターでの講座」など、**様々な場面で保健師による熱中症対策講座を計37回実施**。
- **各課の事業者とのつながりを活かし**、金融機関、薬局、福祉介護施設や自動車販売店等と協力。クーリングシェルターは**4か所から23か所へ拡大**し、町内全域にクーリングシェルターが設置されるようになった。

▼町保健師全員が一丸となって熱中症対策に取り組む体制を構築

11課で行われる熱中症警戒アラートに関する会議で4課の取組を共有



◀モニターによる普及啓発

- 危険度が伝わりやすい
- WBGTデータの収集も可能



◀クーリングシェルターでの熱中症対策講座

- 認知向上や利用促進につながる
- 職員向けの講座や救急対応物品の備えつけにより、熱中症患者の受入体制を整えた

■工夫した点・苦労した点

- 小さな町だからこそ、日ごろから職員と民生委員や事業者との密接な関係性が構築されており、依頼や連携が円滑に進められた。また、庁内の連携もスムーズに行うことができた。

CHAPTER 09

連絡体制

地域の熱中症リスク評価

熱中症予防行動の効果的な情報発信

熱中症要配慮者への見守り・声かけ

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）

涼み処

地域で活躍する団体や企業等との連携

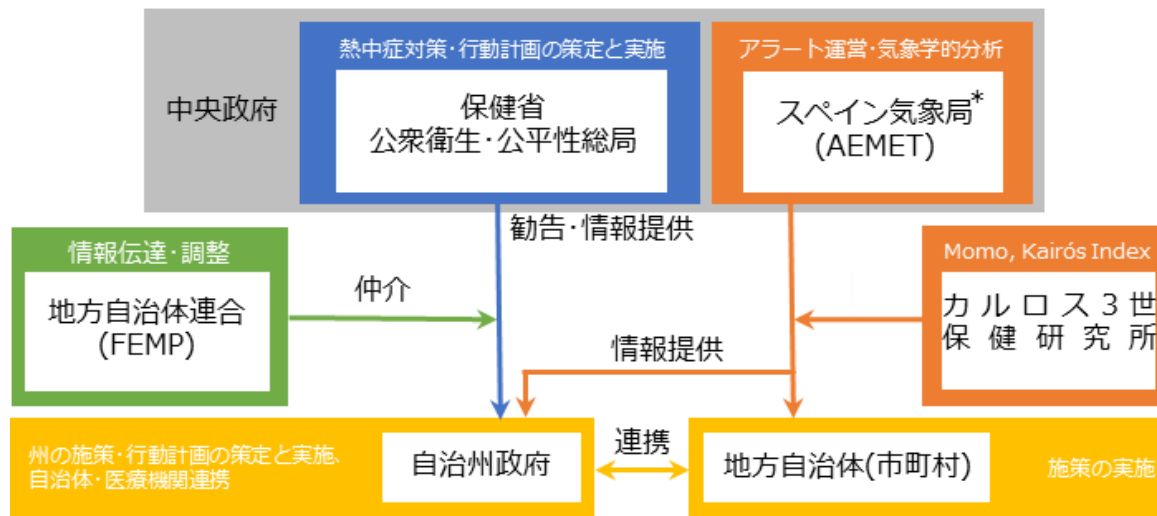
さまざまな熱中症対策の取組事例

海外における熱中症対策の取組事例

連携体制

スペイン

- 2003年の深刻な熱波の被害を受け、**2004年より「暑熱が健康に及ぼす悪影響の予防措置のための国家計画(Plan Nacional de Actuaciones Preventivas de los Efectos del Exceso de Temperatures Sobre la Salud)」を毎年策定**。施策や計画の主な実施主体は自治州となり、州と連携して自治体も対策を実行している
- 保健省の気候変動適応策を記した「健康・環境に関する戦略計画書」では、熱中症リスク層の早期特定と予防のため、医療福祉専門家の教育や、リスク層に重点を置いた一般市民へのリスクコミュニケーションの改善を挙げている
- 高齢者向けには、市町村単位で独居高齢者への電話や訪問等を実施し、独居高齢者の死亡率が減少



- 保健省の公衆衛生・公平性総局が地方への勧告や連携の他、毎年国の行動計画を発表し普及啓発を行う。
- **クライメートシェルターや熱中症要配慮者の保護等、具体的な施策は地方自治体が行っている。**

スペイン政府ウェブサイト及びヒアリング調査による

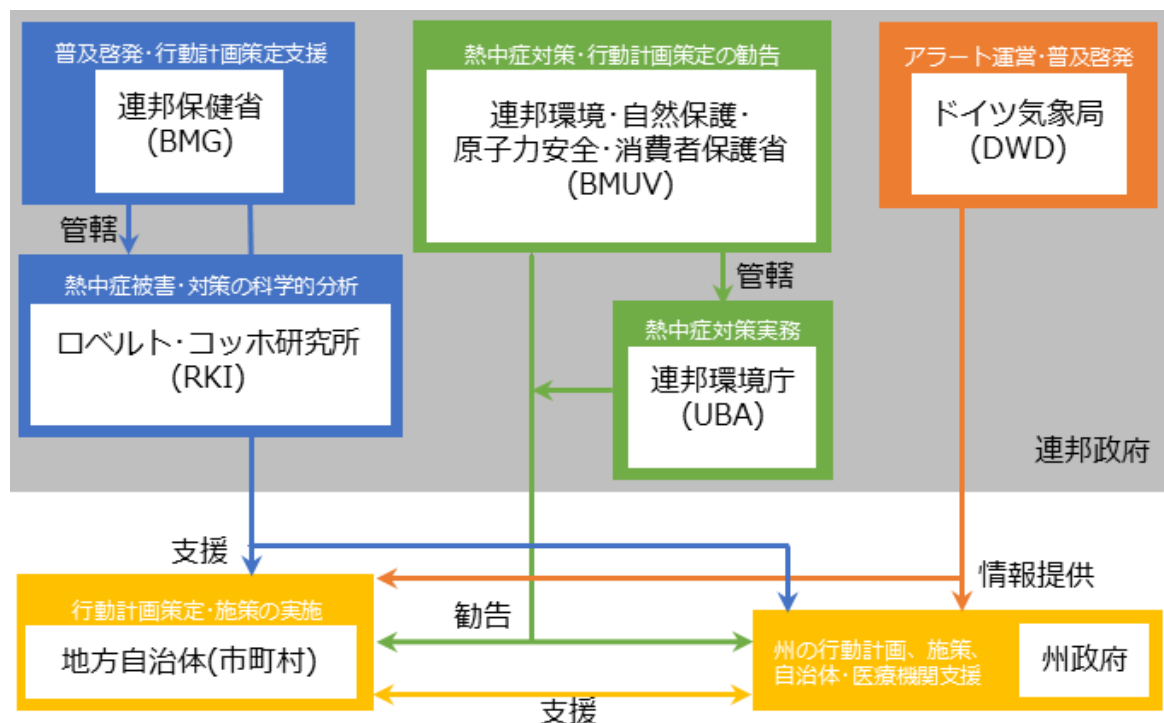
スペインにおける普及啓発

- 夏季は熱中症対策の専用ウェブページを開設し、各種情報を発信するほか、**熱波対策行動計画に関わる全ての情報を集約**している。また行動計画の一環としてメディアに熱中症対策や推奨行動に関する情報を提供。
- 高齢者向けには、**市町村単位で独居高齢者への電話や訪問等を実施**
- **医療サービスの対応プロトコルのマニュアル作成**を実施。教育面については**市民保護の観点から社会サービスに関与するスタッフに対する講習会**を実施。
- 2025年夏は、**警戒体制・アラート発令時に起こりうる事象**を小冊子にまとめ、**予診医や救急医に配布予定**。

実施体制

ドイツ

- 2003年の欧州で多数の死者を出した大規模な熱波以来、暑熱による健康被害への対策を検討している
- 現在、**ドイツ全体で熱中症対策を行うための法律等は整備されておらず**、各自治体に具体的な対策が委ねられており、連邦政府は各自治体が計画策定することへの支援等を行っている
- ドイツでは、**熱中症要配慮者と直接やり取りし、対策を促すヒートテレフォン**等の取組が行われている



ドイツにおける普及啓発

● ヒートテレフォン

アラートが発令される等、熱波で危険な環境になった際に、**高齢者に電話をかけ、暑さについて会話し注意喚起を促す**。例えば、“トイレに行く回数が増えてしまうのは残念ですが、頻繁に水分摂取をしましょう”といった形。

● バディーシステム

地域の中に近隣住民を見守る人を決め、熱中症対策等と呼びかける試み。普及率の低さや当事者意識がない人への働きかけ等が今後の課題。

自治体支援

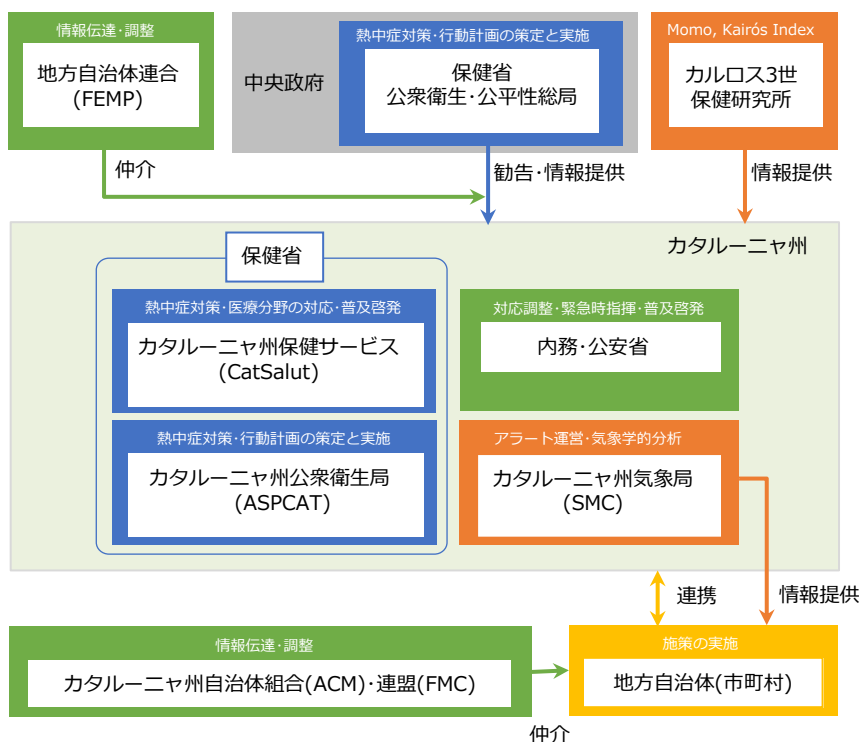
- 連邦保健省 (BMG) では、**自治体の熱波対策ポータルサイト「Hitzeservice」を作成**。熱波発生時の健康保護のための施策や、長期的な計画策定のヒント等が掲載されている。市町村連盟に対しどのようなサポートが必要か、計画策定にあたり生じている課題等の調査も実施。その上で、ガイドラインを作成。
- 保健省から委託を受け「Hitzeservice」の運営を担うコンサルティング会社 (ecolo) においてオンライン研修を実施しており、自治体や関係者に対し交流会や情報提供、ネットワーキングの機会等を設けている。

連携体制

カタルーニャ州（スペイン）

- 2004年より「**熱波の健康被害を防ぐための行動計画（POCS）**」を**毎年策定**
- 保健省機関が毎年の行動計画書（POCS）を主導し、医療福祉面から熱中症対策の中心的役割を担う他、普及啓発も推進。**クライメートシェルター**の運営や熱中症要配慮者の保護等、具体的な施策については地方自治体が行っている

熱中症対策実施体制



行動計画(POCS)参加団体

- ・ カタルーニャ州保健サービス (Servei Català de la Salut)
- ・ 社会権省 (Departament de Drets Socials)
- ・ 内務省 (Departament d'Interior)
- ・ ビジネス労働省 (Departament d'Empresa i Treball)
- ・ カタルーニャ州気象局 (Servei Meteorològic de Catalunya)
- ・ カタルーニャ州保健研究所 (Institut Català de la Salut)
- ・ バルセロナ公衆衛生局 (Agència de Salut Pública de Barcelona)
- ・ バルセロナ県議会公衆衛生サービス (Servei de Salut Pública de la Diputació de Barcelona)
- ・ カタルーニャ州自治体組合 (Associació Catalana de Municipis)
- ・ カタルーニャ州病院連合 (Unió Catalana d'Hospitals)
- ・ バルセロナ社会福祉コンソーシアム (Consorti de Serveis Socials de Barcelona)
- ・ 赤十字社 (Creu Roja)

…等、19団体が参加団体として掲載されている。

カタルーニャ州公衆衛生局(ASPCAT). Pla operatiu per prevenir els efectes de la calor sobre la salut (POCS). (オンライン) 2024年. (引用日: 2025年2月12日)

★調整役となるリーダーを定め、構造化された行動計画を策定し、技術的専門性を持つ参加機関にタスクを振り分け状況を報告してもらうことがポイント。

連携体制

バーデン=ヴュルテンブルグ州（ドイツ）

- 2017年3月発表の連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省（BMUV）の熱中症対策に係る行動計画に関する勧告を受け、**州内の自治体に対し計画策定の65%を負担する資金支援**を行っている。
- 州内の熱中症対策は、**保健局と州立環境研究所（LUBW）**がそれぞれ健康と環境面で主導し、**両者の意見交換は年2～3回以上**行われている。また、州の省庁が集まる**気候変動適応ワーキンググループ（気候変動適応WG）**を年2回以上開催しており、健康分野の主な課題として熱中症対策が取り上げられている。

熱中症対策実施体制

気候変動に関するデータの分析は州立環境研究所（LUBW）が行い、保健局ではそのデータも活用し、公共の健康サービスとして対策・行動している。

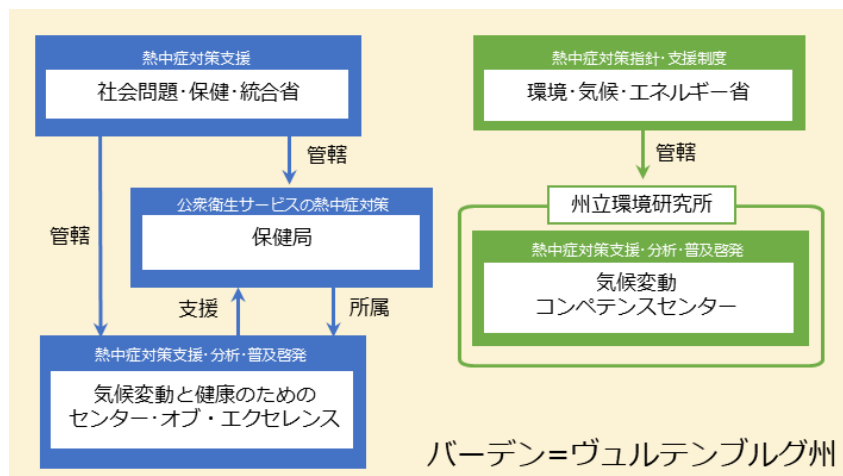
州内の自治体に向けたカウンセリング

自治体側にテーマを提案してもらい、知識を持つ専門家との橋渡しを実施（主にオンライン）

- テーマ例
 - ： 涼み処の特定やマップ作成、熱中症診療所の準備方法
- カウンセリングから実施に至った対策例
 - ： 一般市民の認知度向上のためのポストカードの情報資料の作成、
- ニュースレターサービスの導入など。

州内の助成金プログラム

- 助成金プログラム「KLIMOPASS」
 - ： 環境・気候・エネルギー省が気候変動適応法の環境面に関わる取組に出資。例えば熱波対策行動計画の策定費用の65%を負担する。
- 州の保健局が出資する助成金プログラム
 - ： 地域の公衆衛生局が実施する熱健康対策の準備のみが対象。



対策実施の課題

- ・複雑な行政と保健に関する区分があることから、問題意識の統一ができていない面がある。
- ・自治体側は多くの場合、熱波対策をインフラ投資と捉え、コストがかかると認識している。一方、州レベルではターゲットグループに働きかける情報政策を主軸に低コストな解決策を考えている。

警戒アラートの運用

スペイン

- 気象局（AEMET）が「**高温警戒アラート**」を運営し、カルロス3世保健研究所の国立疫学センター（CNE）が暑熱死亡リスクに関わるシステム「**MoMo**」を運営
- 保健省公衆衛生・公平性総局が主導する熱中症対策の専門委員会は、上記の情報を総合して警戒体制を最適化している。

高温警戒アラート

- アラートは4段階。アラート発表の閾値となる気温は気候の類似性で182に細分化された地域毎に異なる。**発表基準の見直しは5～6年に一度、過去10年分の統計に基づき行われている。**
- アラート発表時には自治州への通知の他、**2023年から**は**ホームドクターや救急部局に通知**している。

警戒レベル0： リスクなし（緑色）

警戒レベル1： 低リスク（黄色）

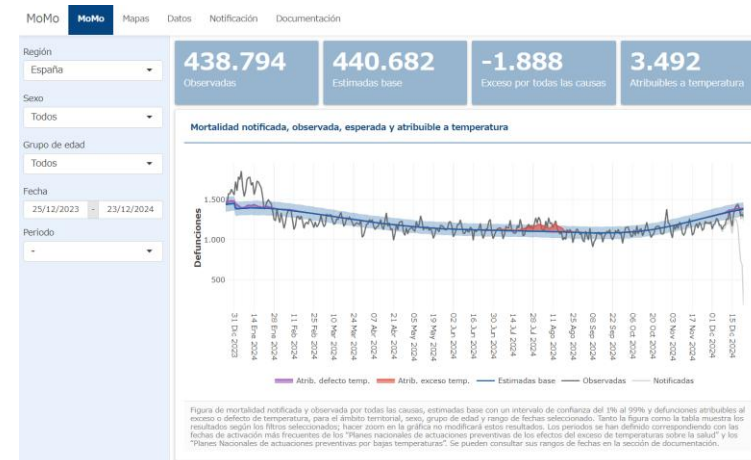
警戒レベル2： 中リスク（オレンジ色）

警戒レベル3： 高リスク（赤色）

→ アラート発表の閾値となる気温は23.9℃～40.4℃と幅がある。

MoMo（日次死亡率のモニタリング・ユニット）

- 2004年以降、過去の傾向に基づき**全ての死因による死亡者数と暑熱による超過死亡者数を推計し日々の死亡者数をモニタリング**
- 統計モデルを用いて、地域別・性別・年齢グループ別で日毎の計算が行われている。年齢グループは0～14歳、15～44歳、45～64歳、65～74歳、75～84歳、85歳以上の6グループである。
- 結果はデータの該当日の2日後に、ウェブページで公表



▲MoMoウェブサイト

カルロス3世保健研究所国立疫学センター（CNE） MoMo.（オンライン）
（引用日：2025年2月6日） https://momo.isciii.es/panel_momo/#section-momo

警戒アラートの運用

ドイツ

熱中症警戒体制

- 2005年以降、気象局（DWD）において5月から9月の間、アラートを運営

熱中症アラート

- アラートは2段階に分けられている。
- 気温・湿度・風速・放射熱の自然条件と、服装での体温調節の影響を考慮し**標準男性の体感温度を計算するモデル「Klima-Michel」の結果に基づいて発令**

警戒レベル1 強い熱の負荷	体感温度が32℃±2℃を超える場合に発令
警戒レベル2 極度の熱の負荷	午後のはじめ(14時まで)に、 体感温度が38℃を超える場合に発令

熱関連死亡者数の統計

- **ドイツにおいて熱関連死亡者数の統計**は、通年の死亡者数のデータから、冬よりも夏、夏の中でも熱波が来ると死亡者数が多くなることに着目し、それらの差分をもとに**間接的に熱関連死亡者数を推計する方法**を採用している。

高齢者への対応

- より暑熱の影響を受けやすい高齢者に対しては、**75歳の男性が時速1kmの歩行と同等の負荷の活動を行う際の体感温度を計算するモデル「Klima-Michel Senior」が用意されている。**
- 標準男性モデルの結果がレベル1かつ本モデルの結果が警戒レベル2の場合は、レベル1のアラートに追記を行い高齢者へ注意喚起実施。

独自アラートの運用

カタルーニャ州（スペイン）

熱中症警戒体制

- カタルーニャ州気象局（SMC）が暑さに対し2段階のアラートを設定し、**アラート発令時には教育機関やレクリエーション施設、高齢者施設等の活動が変更され、警報レベルが上がると労働者保護のための作業条件の調整も行われる。**
- 夜間の暑さアラート**を導入

暑さアラートと行動制限

- ・暑さを6段階で評価し、**2段階のアラートを発令**。発令基準となる気温閾値は州内の地域により異なる。

厳しい暑さの注意報（レベル1～3）

当日から予報の3日目まで気温が閾値*を超える場合に発令

非常に厳しい暑さの警報（レベル4～6）

当日から予報の3日目までの気温が閾値*を2℃以上超える場合に発令

*閾値：夏季（6月～9月）の最高または最低気温の98パーセンタイル

発令時には各自治体で推奨行動を発表。また、労働局は**企業活動の一部を制限**。屋外労働には休憩時間確保や水飲み場へのアクセスなどの細かい条件を設定。**気温や条件によっては企業活動を全て停止することもある。**

夜間の暑さアラートの導入

- ・別途、**夜間の暑さアラートを2023年に沿岸地域で試験導入、2024年には州内全域に導入を拡大**

厳しい暑さの夜の注意報（レベル1～3）

最低気温が夏季の最低気温の98パーセンタイルを超過した場合に発令

非常に厳しい暑さの夜の警報（レベル4～6）

最低気温が夏季の最低気温の98パーセンタイルを2℃以上超えた場合に発令

睡眠による十分な休息が取りにくくなる**真夏夜、熱帯夜、超熱帯夜等に関する警告**を行うことを目的としている。

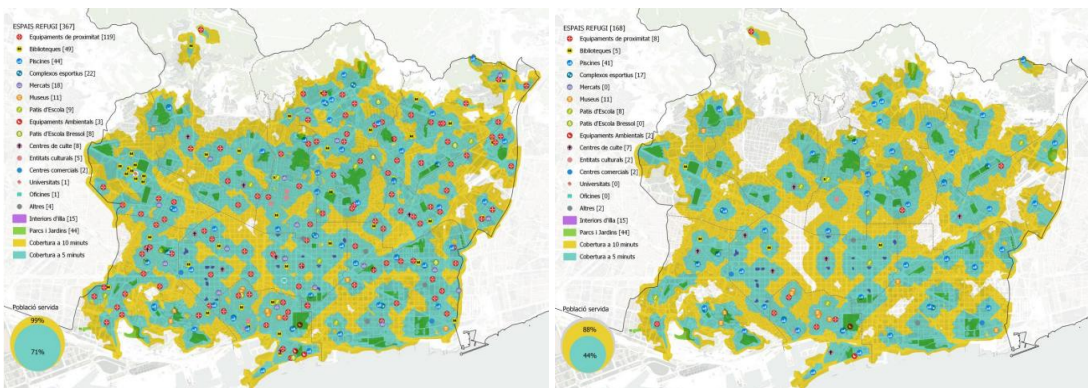
クーリングシェルターと涼み処

バルセロナ市（スペイン）

- バルセロナ市は暑さと寒さをしのぐため、2種類の**クライメートシェルター**を設置
 - ①熱中症要配慮者の保護に主眼を置いた、社会福祉サービスが運営する**24時間開放の施設**
 - ②**施設の営業時間中開放し、短時間滞在を想定した施設**（公共・商業施設、学校等）
- シェルターの主な登録要件は、快適な温度であり、飲み水、座る場所があること、バリアフリーであること。屋内施設は、室温が夏は26℃以下、冬は21℃以上であること。屋外施設は、十分な日陰（**シャドウプラン**）と座って休めるスペース、水飲み場があること
- 全てのシェルターで飲料水を持ち帰り可能な容器ごと提供し、地域情報の載った地図を配布**
アプリ等の電子媒体での公開の他に、**高齢者に考慮した紙媒体でも配布**

2030年までの導入目標

- ・2030年までに全人口が徒歩5分圏内でシェルターにアクセスできる環境を整えることを目標に設定。現在の徒歩5分圏内のカバー率は71%、徒歩10分圏内は99%
- ・バカンスシーズンの日曜日は45%と89%に低下。今後はバカンスシーズンのカバー率低下への対策や、人口の少ない地域における**マイクロシェルター**（飲食店などで1~2席用意する）の導入などを検討

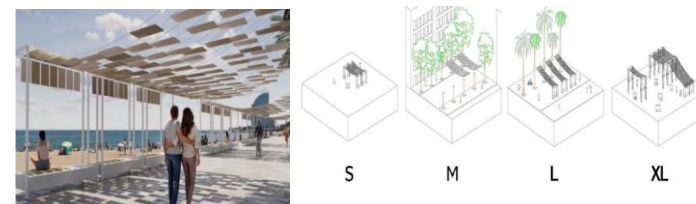


クライメートシェルターに関する市民調査

- ・2021年から市実施の年次**市民アンケート調査**に**クライメートシェルター**に関わる設問を導入
- ・**クライメートシェルターの認知度は20%未満であったが、2024年には約40%まで上昇**
クライメートシェルターの利用率は市の人口に対し、2021年に7.7%であり、2024年に13.2%に上昇した。

街中に日陰を作る取組（シャドウプラン）

- ・日照時間が長いあるいは日照りが厳しくかつ子どもや高齢者が多い地域の**公共スペースで日陰を作る取組を実施**。
- ・基本的には樹木といった自然の利用を優先し、他の場合は組立・分解が簡単な撤去可能な構造物の設置を行う。



▲日陰設置イメージ（提供：バルセロナ市）

クーリングシェルターと涼み処

ルートヴィヒスブルク郡（ドイツ）

- 市民誰もがクーリングシェルターを検索・登録できるシステム「Cool-Map」を構築。市民が登録したクーリングシェルター（屋外含む）は、簡易な事実確認ののち、問題がなければマップに掲載される施設種類ごとに分類してアイコンで図示し、視認性を高める工夫。市民からの反応は肯定的
- クーリングシェルターに対する郡からの要請事項（開館時間、室温等）は設けられていない

市民参加型の「Cool-Map」の作成

Legende

Kühle Orte im Landkreis Ludwigsburg

- Am Wasser (Bach, Fluss, See, Springbrunnen)
- Eisdiele
- Freibad
- Grünfläche mit Schatten
- Hallenbad
- Klimatisiertes Einkaufszentrum
- Kühles öffentlich zugängliches Gebäude
- Refill-Station
- Schattiger Wander- oder Spazierweg
- Sonstiger kühler Ort
- Trinkbrunnen / Quelle
- Verschattete Sitzmöglichkeiten
- Schattiger Spielplatz
- Waldspielplatz
- Wasserspielplatz

Filter: Kühle Orte

▼ Kühle Orte im Landkreis Ludwigsburg

Kategorie: ist

- Alle -

プールの、水遊び場、日陰のある遊び場・休憩場所・散歩道、飲料水を無料で補充できる場所、ショッピングモール、アイスクリーム屋 等

場所を選択すると写真が示される

郡の職員が確認をした結果、相応しくないと判断された場合は登録を解除されることも

KÜHLE ORTE IM LANDKREIS LUDWIGSBURG

Zur Erfassung "Kühle Orte"

Kühlen Ort in der Karte

Trinkbrunnen / Quelle
Trinkwasser Station Stadtwerke Ludwigsburg (SWLB) - Marktplatz

Erstellt: LRA LB GT251/GIS
Im Auftrag vom FB 50/Gesundheitsschutz
Impressum | Datenschutz | Nutzungsbedingungen

Map data © OpenStreetMap contributors, Microsoft, Facebook, Inc. and its affiliates. Powered by Esri

暑熱対策実行計画の策定

ルートヴィヒスブルク郡（ドイツ）

- 2022年7月より**熱波対策行動計画（HAP : Heat Action Plan）**を策定開始。計8回の円卓会議開催、自治体や高齢者施設への現状調査等を経て、2024年4月に**行動計画を発表**
健康影響と死亡者数の削減、well-beingの向上、医療制度崩壊の予防、熱中症要配慮者層（高齢者等）の保護の4つを目的とする
- バーデン＝ヴュルテンベルク州において、郡レベルでは初めてとなるHAPである

策定までのスケジュール

2022年	7月19日	キックオフ、第1回会議	Coolマップの作成 アラート発表時の11の行動計画の策定 アラートチェーン構築
	11月	高齢者施設調査	
	3月23日	第2回会議	
2023年	4月4日	コミュニティ健康会議でのHAP紹介	
	3-5月	自治体調査	
	5月3日	郡長へのHAP紹介	
	5月15日	社会委員会でのHAP紹介	
	5月24日	第3回会議	
	5月25日	医療従事者へのトレーニング、HAPの紹介	
	7月27日	第4回会議	
	8月	アラームの試験運用・評価	
	10月5日	第5回会議	
	11月16日	第6回会議	
	1月25日	第7回会議	
2024年	4月	第8回会議、HAPの公表	
	8月	高温アラーム発表	
	8-11月	評価	

「アラート・チェーン」を通じた情報提供

アラート発表時には下図のアラート・チェーンを通じて、市民に適切な行動をとるよう通達が行われる。



熱波時の停電への対応

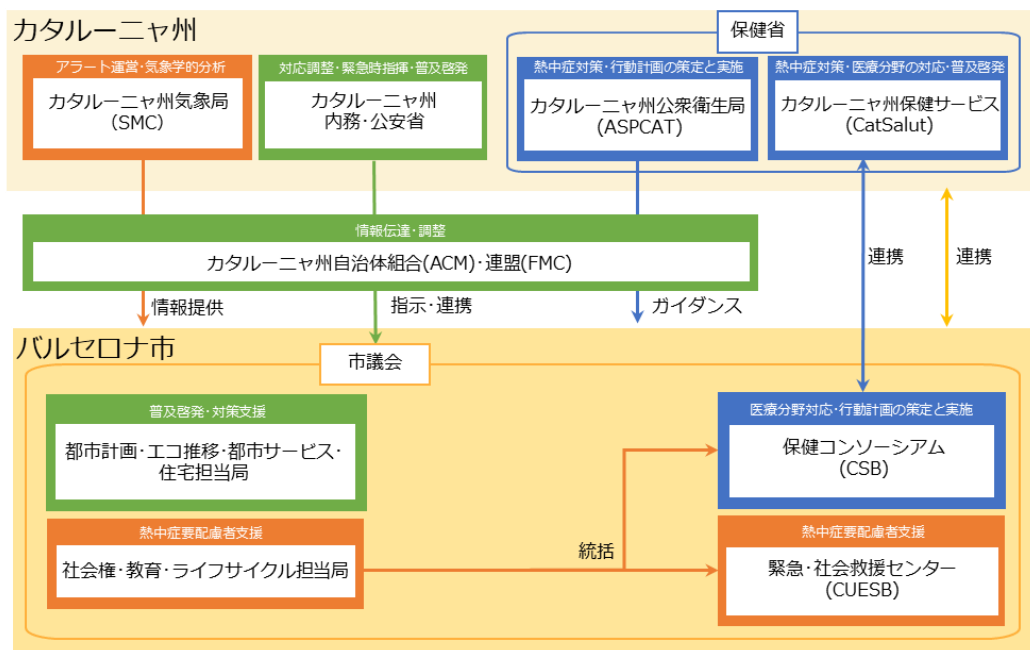
- 熱波到来と停電が同時発生した場合は、郡で所有している空調付きバス（2台）を活用して、高齢者をクーリングシェルターに移送する計画
- バスは、過去のSARS流行時に移動可能なワクチン接種施設として導入し、現在は使用されていないもの

市民への熱中症対策

バルセロナ市（スペイン）

- 熱中症対策に焦点を当てた計画として、カタルーニャ州が作成する熱中症に関する行動計画書（POCS）をもとに2024年に**市独自の行動計画書「Plan Calor」**を策定し、様々な対策を実施
- 暑さに対し、発症後の緊急対応だけでなく、症状が出る前の**予防的措置に力を入れており、巡回や電話サービスの活用、クライメートシェルターとの連携等を実施している**

熱中症対策実施体制



- バルセロナ市議会組織を意思決定機関として、熱中症対策を実施。
都市計画・エコ遷移・都市サービス・住宅担当局が熱中症の普及啓発を含む長期的な適応策を実施し、**社会権・教育・ライフサイクル担当局**は保健部門を統括している
- 高温への警戒期間は毎年6月15日から9月15日

バルセロナ緊急・社会救援センターでの熱中症対策

- バルセロナ緊急・社会救援センター（以下「CUESB」）は、搬送等の救急医療の他、火災により住宅に戻れない等の事態への対処を担う機関
 - CUESBは以下の通り**熱中症発症後の対応の他、予防的措置も実施**
 - 体調不良者を適切な機関（医療機関・クライメートシェルター）に搬送
 - **アラート*発令時、赤十字と連携して車で市内を巡回**
（*アラートの発令はカタルーニャ州に準ずる。）
- 巡回は市のホームレス対策部署から想定される居場所等が記載されたリストを受け取り、リストから把握可能な人を中心に実施。その際に**うちわ・コップ・水筒・帽子等の配布の他、クライメートシェルターの位置がわかるマップの配布や説明、水分摂取を促す**



▲[例] 配布されたうちわ、コップ

- 高齢者や支援が必要な人への住宅訪問等を行っている部署から情報提供を受け、暑さ対策が不十分な家への扇風機等の提供を実施
- テレアシスタンス（75歳以上等支援を受ける必要がある人に市が配布している受信信機器での電話対応サービス）を活用し、高齢者等に高温への警戒を呼びかけ

コラム

環境、温暖化対策、脱炭素などの部局による事例

WBGT測定データ空白域での独自調査

- 熱中症予防情報サイト上で、WBGTの測定がされていない県内自治体や地域を訪問、調査

WBGT測定データが高い（低い）地域での独自調査

- 熱中症予防情報サイト上で、WBGTの測定結果が高く（低く）表示されることが多い県内自治体や地域を訪問、調査

アメダス空白域での温度・湿度の独自調査

- 小学校等の百葉箱に温度計・湿度計を設置、データを確認しやすいようにシステム化

県内の公園や海水浴場での独自調査

- 夏季にひとが集まる地点で、WBGTの測定

高齢者宅での室内環境測定に、自治体職員OB・OGを活用

- もともと同じ自治体の職員だったOB・OGに室内環境（温度、湿度などのデータ）の他、周囲の地形・地理、築年数、日当たり（方角、窓）などの調査への協力を依頼

扇風機、ミストファン等の貸し出し

小学生・中学生向け出前講座・体験講座

- 学校まで出向き、エアコンのきいた室内、屋外の日陰、日なたなどでWBGT計を使って実測測定データをもとに、熱中症への注意喚起や対策の普及啓発を実施

コラム

環境、温暖化対策、脱炭素などの部局による事例

おとな向け出前講座・セミナー

- 気候変動や「緩和と適応」などのテーマで実施、研究所の場合には成果の発表も

庁内における連携や調整を行う会議の取りまとめ・事務局

- 熱中症はさまざまな部局にまたがるトピックであることから、庁内における連携や調整を行う会議のとりまとめや事務局業務

クーリングシェルの運営、マッピング

- のぼり、チラシやポスターなどの準備、ホームページ、SNS、広報誌、デジタルサイネージ等を通じた普及・啓発
※環境部局だけではなく、**保健・健康・福祉部局**が運営すること多い

環境イベントの開催

- 観光イベント、ファーマーズマーケット、消費者フェアやリサイクル位置など、複合的なイベントのうちのひとつのプログラムとして開催
 - ・ チラシ・リーフレットその他、ティッシュ、うちわや簡易な温度計などを配布
 - ・ 民間商業施設、スーパーマーケット等とのキャンペーン実施
 - ・ スタンプラリー
 - ・ 絵画や俳句のコンテスト
 - ・ 日傘体験

コラム

保健、健康、福祉などの部局による事例

●クーリングシェルトアの運営

- ・のぼり、チラシ・リーフレットやポスターなどの準備
ホームページ、SNS、広報紙、デジタルサイネージ等を通じた普及・啓発
- ※保健・健康・福祉部局だけではなく、**環境部局**が運営することも多い。

●庁内における連携や調整を行う会議のとりまとめ・事務局

- ・熱中症はさまざまな部局にまたがるトピックであることから、庁内における連携や調整を行う会議のとりまとめや事務局業務

●保健師による、高齢者の集まるイベント、場所での普及・啓発

- ・老人クラブ、シルバー人材センター、交流サロン、いこいの家、体操教室、健康教室…
などの場でチラシ・リーフレットの他、うちわや簡易な温度計などを配布
- ・水分・適度な塩分の補給のすすめ
- ・適度な運動のすすめ

●民生委員・児童委員、社会福祉協議会による訪（見守り・声かけ）

●ケアマネージャー、ヘルパーへの説明資材、グッズの提供

コラム

保健、健康、福祉などの部局による事例

●保健師による、母子（乳幼児など）の集まるイベント、場所での普及・啓発

- ・乳幼児健診、定期健診、子育てサロンや保育所、児童館…などの場で
チラシ・リーフレットの他、ティッシュ、うちわや簡易な温度計などを配布

●宅配サービス事業者との連携

- ・高齢者の自宅へ直接訪問する宅配サービス事業者（牛乳、乳製品、お弁当、巡回販売、郵便、保険、電気・ガス、水道検針など）による見守り、声かけ

●エアコンの新規購入・設置や修理への助成

- ・たとえば高齢者のみの世帯（※独居を含む）、障害者世帯かつ住民税非課税世帯で、かつ省エネ基準達成率●%以上、地元の業者からの購入…などの条件をつけて、購入金額の●%（最大●万円まで）助成

➡応募条件をシビアにした場合「対象者がいない」「購入費用が高額になり過ぎる」というケースが考えられ、利用が伸びないこともある。

コラム

防災や消防本部、消防署による事例

●消防車両等での広報

- ・車両へのマグネット貼りつけ、救急出動の帰路に広報といった取組

●消防訓練、救命講習会、応急手当講習時の普及・啓発

- ・リーフレットの配布
- ・展示
- ・講話：救急現場、熱中症の症状や対応など「実際に現場で起きていること」を伝える

●ホームページ、SNSや、庁舎におけるデジタルサイネージ等での普及・啓発

- ・熱中症の救急搬送状況を掲載
- ・普及・啓発動画
- ・リーフレット
- ・ポスター

●プロスポーツチーム等との連携

- ・試合中のオーロラビジョンで普及・啓発動画の放映
- ・大型商業施設等の広報ビジョンで普及・啓発動画の放映
- ・リーフレットなどの配布

●イベント開催

- ・イベントにあわせた普及・啓発

コラム

こども、家庭などの部局や教育委員会による事例

●特別警戒アラート発表時の小・中学校、特別支援学校等の休校措置

- ・ **学童保育**については、一律の判断ではなくケースバイケースとするところもある
- ・ 同一市区町村内でも、学校が立地する環境が異なり統一的な対応が難しいところもある
 - 学校間での対応・考え方の違い
 - 学校とスポーツ団体との対応・考え方の違い
 - 学校と保護者との対応・考え方の違い
- ・ 逆に、一方で市町村ごともしくは学校ごとの「**ガイドライン**」を策定し、統一的な対応や考え方を目指すところもある

●保護者へのお知らせ

- ・ 学校ホームページ、SNS、**学年・学級だより**等その他連絡手段にて普及・啓発
 - 睡眠時間がちゃんと確保できているか？
 - スマホやゲームなどで夜更かししていないか？
 - 朝食をちゃんと食べてきているか？（朝食からの水分摂取ができているか？）

●保護者向け講話

- ・ 栄養士による**食事指導**やこどもの**生活指導**
- ・ 給食センターの見学 など

コラム

こども、家庭などの部局や教育委員会による事例

●新入生などへのプレゼント

- ・小中学校へ入学した新1年生に
「マイボトル」「日傘」「クールタオル」「ランドセル背当てパッド」などの配布

●「総合的な学習の時間」を活用した、児童・生徒に対する学びの機会提供

●スポットクーラーの設置

- ・プール監視員に対し、スポットクーラーを設置する
- ・給食調理員さん、校務員さんへの保冷剤支給、スポットクーラーの設置
- ・屋外、エアコンのない場所での授業では複数の教員で担当する



救急安心センター事業 #7119

- 「救急車を呼んだほうがよいか？」 「今すぐ病院に行ったほうがよいか？」 など**判断に迷ったときに**
#7119（または地域ごとに定められた電話番号）に電話することで、救急電話相談を受けられるしくみ
- **医師や看護師などの専門家に相談**でき、アドバイスを通じて判断の手助けをしてくれる

#7119

オペレーターや自動音声により応答があります。

希望に応じ、**救急電話相談** **医療機関案内** を選択してください。

救急安心センター

救急電話相談

医師・看護師・相談員が対応

- ・ 病気やけがの状態を把握
- ・ 緊急性について判断

医療機関案内

受診可能な医療機関を案内

緊急性が
高くない症状

緊急性が
高い症状

迅速な救急出動

Emergency !



※現在治療中の病気の治療方針、医薬品の使用方法、介護、健康、育児、精神科等に関する相談は受けられません。

※相談料は無料ですが、通話料は利用者の負担になります。

総務省消防庁「救急安心センター事業（#7119）ってナニ？」

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate007.html>

コラム

緊急医療情報キット

- 高齢者や障がい者などの安全・安心を確保することを目的に、**氏名、年齢、かかりつけ医、病歴、緊急連絡先、健康保険証やお薬手帳などの情報を専用の容器に入れ、自宅（特に冷蔵庫）に保管**しておくことで万一の救急時に備えるもの。
- 自治体によっては、高齢者を担当する部署、地域包括支援センターや社会福祉協議会などで独居高齢者などの対象者に配布したり、キットを手作りするためのツールを提供しているところもある。

ボトル内部の情報記載用紙等を水分から守るため、密閉性のあるネジ蓋形式

停電時にも懐中電灯などの光を反射する「**反射シート**」や、「**蓄光シート**」が貼られていることが多い



緊急医療情報キットが冷蔵庫にあることを救急隊員に知らせるためのロゴマーク（シール）

- ① キットを保管する冷蔵庫の扉の外側
- ② 玄関ドアの内側上部
(玄関ドアの外側には貼らない)

緊急医療情報キット

ボトル内部に収める救急情報

(医療情報記録用紙)

平成 年 月 日作成
平成 年 月 日変更

救 急 情 報

ふりがな			血 液 型
本人氏名			型Rh()・不明
生年月日	(明・大・昭・平) 年 月 日	性別	男 女
住所			電話

医 療 情 報

かかりつけ病院	①	②
科目・担当医		
住 所		
電 話		
かかっている病気		
服薬内容		
特記事項 (アレルギーなど)		

救 急 連 絡 先

氏 名	①	②
続 柄		
住 所		
電 話	(日中) (夜間)	(日中) (夜間)

支援事業者	
担 当 者	
住 所	電話

救急隊員への伝言・その他

容器内の情報は、救急隊と搬送先の医療機関が、救急医療に活用することに同意します。

本人氏名 印鑑又はサイン

※ 記入方法は裏面を参照下さい。

いったん作成しても、状況が変わることもあるので
定期的に内容の見直しや更新が必要

記入の仕方、注意事項

《ご本人情報について》

生年月日 : 年については西暦、または該当する年号を○で囲み、ご記入ください。
血液型 : お調べになったことがない等、わからない場合は「不明」を○で囲んでください。

《医療情報について》

かかりつけ医療機関名欄の連絡先は、正確に間違いのないよう記入してください。
医療機関名は、2カ所記入できますが、身体状況をよく把握している医療機関を優先してご記入ください。

持病・服薬内容 :

薬剤情報提供書の写し・くすり手帳の写し・薬袋などを入れることで代えてください。

特記事項 :

特定の病院でしか対応できない特殊な疾病がある場合など、
病院との決めごとを記入してください。

《緊急連絡先について》

3人以上いる場合は、ご自身の状況を把握している方を優先してご記入ください。

緊急連絡先氏名 : ご家族以外の方でも構いません。

連絡先 : 日中と夜間の連絡電話番号を記入ください。

支援事業者 : ケアマネージャーに確認し、電話番号と担当者も必ずご記入ください。

《その他欄について》 (記入例)

- ・救急隊員に注意して欲しいこと(搬送時など)
- ・緊急連絡先について補足事項(夜間に電話をかけられるのは誰か、など)
- ・その他緊急時に役立つと思われること

《同意欄について》

内容をよく読み、同意いただいた上で、必ずご自身で苗字とお名前すべてをご記入ください。
ご本人の印鑑を押印してください。印鑑をお持ちでない方はサインをお願いいたします。

《医療機関へのお願い》

支援事業者欄は、退院等にもなうケアプランなどの変更等で、
ご本人や親族が連絡できない場合にご活用をお願いします。

※ 救急情報に変更があったときには、必ず内容を書き換えてください。
(変更した日付を右上の欄に記入してください。)

問い合わせ連絡先 :

参考となるサイト (ガイドライン、技術資料等)

発行年月日	発行元	タイトル・URL
2015年3月	中央労働災害防止協会	製造業向け熱中症予防対策のためのリスクアセスメントマニュアル https://www.jisha.or.jp/research/report/201503_02.html
2015年3月	日本救急医学会	熱中症診療ガイドライン2015 https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/heatstroke2015.pdf
2018年3月	環境省	まちなかの暑さ対策ガイドライン 平成29年度改訂版 https://www.env.go.jp/content/900400045.pdf
2019年5月	(公社)日本スポーツ協会	スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid523.html
2020年3月	環境省	= イベント主催者・施設管理者のための = 夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/gline/heatillness_guideline_full.pdf
2021年4月	厚生労働省	職場における熱中症予防対策マニュアル https://jsite.mhlw.go.jp/aichi-roudoukyoku/content/contents/000907794.pdf
2021年4月	環境省	熱中症予防対策ガイダンス https://www.env.go.jp/press/files/jp/116145.pdf
2021年4月	厚生労働省	職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000633853.pdf
2021年4月	環境省・文部科学省	学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き https://www.mext.go.jp/content/20240426-mxt_kyousei01-000015427_02.pdf
2021年6月	日本生気象学会	日常生活における熱中症予防 第2版(2021年) https://seikishou.jp/cms/wp-content/files/syousassi210603/20210625-093252.pdf

参考となるサイト (ガイドライン、技術資料等)

発行年月日	発行元	タイトル・URL
2022年4月	環境省	熱中症環境保健マニュアル2022 https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_full.pdf
2022年5月	日本生気象学会	日常生活における熱中症予防指針 Ver.4 https://seikishou.jp/cms/wp-content/uploads/20220523-v4.pdf
2023年2月	日本生気象学会	日常生活における熱中症予防 第3版(2023年) https://seikishou.jp/cms/wp-content/uploads/008ab7fdbb0b958314827de9a7b8c74c.pdf
2023年3月	環境省	まちなかの暑さ対策ガイドライン 令和4年度部分改訂版 https://www.env.go.jp/content/000120266.pdf
2023年3月	環境省	地域における熱中症対策の先進的な取組事例集 https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/model_projects/casebook_full.pdf
2024年2月	環境省	熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針 https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc01.pdf
2024年2月	環境省	指定暑熱避難施設の指定・設置に関する手引き https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc02.pdf
2024年2月	環境省	指定暑熱避難施設の運営に関する事例 https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc03.pdf
2024年3月	環境省	熱中症対策普及団体の指定に関する手引き https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc04.pdf
2024年3月	環境省	指定暑熱避難施設に係る協定書の例 https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240304_doc05.pdf

参考となるサイト (ガイドライン、技術資料等)

発行年月日	発行元	タイトル・URL
2024年3月	環境省	クーリングシェルター・マークのダウンロード https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_pict01_50x50mm_300dpi.jpg
2024年3月	環境省	クーリングシェルター・マーク【例】のダウンロード https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_pict03_50x50mm_300dpi.jpg
2024年3月	環境省	ロゴマークのダウンロード https://www.wbgt.env.go.jp/img/cooling_shelter_logo_1280px_300dpi.jpg
2024年3月	環境省	クーリングシェルター・マークマニュアル https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240308_doc06.pdf
2024年3月	環境省	地域における熱中症対策の先進的な取組事例集 https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/model_projects/r05_casebook_full.pdf
2024年4月	環境省・文部科学省	学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き(令和6年4月 追補版) https://www.mext.go.jp/content/20240426-mxt_kyousei01-000015427_03.pdf
2024年7月	日本救急医学会	熱中症診療ガイドライン2024 https://www.jaam.jp/info/2024/files/20240725_2024.pdf
2024年9月	環境省	ごみ処理作業時等における熱中症対策事例集 https://www.env.go.jp/content/000257712.pdf
2025年3月	独立行政法人 環境再生保全機構	地域における熱中症対策の先進的な取組事例集 https://www.erca.go.jp/heatstroke/about/case.html
2025年6月	(公社)日本スポーツ協会	スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック(第6版) https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/heatstroke/heatstroke_6.pdf
2025年7月	環境省	熱中症環境保健マニュアル ～総論～ 2025年7月版 https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_ov_full_high.pdf